

豊中市 健康づくり・食育推進計画 年次報告書

令和 6 年度(2024 年度)版

豊中市

Toyonaka City

■本報告書について

本市では、平成 25 年(2013 年)に「豊中市健康づくり計画」、平成 30 年(2018 年)に「第 3 期豊中市食育推進計画」を策定し、健康づくりや食育を推進してきました。

この 2 つの計画は、ともに令和 5 年度(2023 年度)に計画期間が終了し、令和 6 年度(2023 年度)からは「豊中市健康づくり・食育推進計画」として、より効果的かつ実効性のある計画として展開しています。

すべての市民が住み慣れた地域で、生涯いきいきと心身ともに健康で豊かに暮らすことができるよう、「みんなでつくる健康、すこやかに過ごせるまち とよなか」を本計画の基本理念とし、すべての世代にわたる健康づくりと食育の取組みを進めるとともに、社会全体が相互に支えあいながら、健康づくりを実践しやすい環境づくりに努めることとしています。そして、健康づくり・食育の取組みを進めることができては健康寿命の延伸につながっていくという考え方から、計画全体を支える目標を「健康寿命の延伸」とし、7つの分野別(栄養・食生活、身体活動、運動、たばこ、アルコール・薬物、歯や口の健康、疾病予防・健康管理、こころの健康・つながり)別に取組みを進めています。

本計画の進捗管理として年度ごとの事業進捗状況の確認をするとしており、本書は健康づくり・食育に関する令和 6 年度(2024 年度)の取り組みをまとめたものです。

目次

1. 健康づくり・食育推進計画 取組分野一覧	4
2. 数値目標一覧	5
3. 進捗状況	8
4. 分野別 主な取組みの実施状況	9
5. 各事業の進行状況(事業一覧)	11

1. 健康づくり・食育推進計画 取組分野一覧

基本理念	みんなでつくる健康、すこやかに過ごせるまち とよなか	
基本目標	健康寿命の延伸	
基本方針	(1)誰ひとり取り残さない健康づくり (2)生活習慣病の発症・重症化予防と健康状態の改善	
分野別取組み	分野とめざす姿	行政等の取組みテーマ
	1. 栄養・食生活 ▶ 食を楽しみ、大切にし、すこやかな食生活を送る	a.次世代の基本的な食習慣の形成 b.心身の健康につながる食生活 c.安全・安心な食 d.持続可能な食
	2. 身体活動・運動 ▶ いつでも・だれでも・どこでも、ライフスタイルにあった運動に取り組み、継続できる	a.日常生活で体を動かしたり、習慣的に運動・スポーツをする人を増やす b.運動やスポーツを習慣的に行う子どもを増やす c.運動に親しむための環境づくり・歩きたくなるまちづくり
	3. たばこ ▶ たばこの害について正しく知り、やめたいときに相談でき、望まない煙を吸わない・吸わせない	a.喫煙をやめたい人がやめられる、周囲の人に吸わせない b.特に健康への影響が高い人(20歳未満、妊娠婦など)が喫煙をしない c.受動喫煙のないまちづくり
	4. アルコール・薬物 ▶ アルコールの害について正しく知り、適切な飲酒を心がける ▶ くすりの使用について正しく知る	a.生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人を減らす b.特に健康への影響が高い人(20歳未満、妊娠婦など)が飲酒をしない c.薬物乱用、くすりの不適切な使用をなくす
	5. 歯や口の健康 ▶ 歯や口の健康について正しく知って、セルフケア ▶ 歯科健診で健口(けんこう)を維持する	a.むし歯のない子どもを増やす b.歯周病を有する人を減らす c.口の機能を正しく獲得し保持できる人を増やす d.かかりつけ歯科医をもち、定期的な歯科健診を受ける人を増やす
	6. 疾病予防・健康管理 ▶ 自分で健康管理する(知る・受診する) ▶ いきいきとした生活を送るための行動をとる ▶ すこやかに成長する・育てる	a.けんしんを受け、自分の健康状態について把握している人を増やす b.生活習慣病を発症しない・重症化させない c.生活機能の維持・向上 d.地域で適切に受診する人を増やす e.感染症に備える f.次世代(妊娠・出産・子ども)の健康づくり
	7. こころの健康・つながり ▶ 地域や様々な場所(場面)で人とつながる ▶ 自分に合った方法でこころの健康を保つ ▶ 心身の不調に気づいたら、相談する・寄り添う	a.社会参加や居場所があることで人とつながる b.こころの不調への対応 c.女性特有の悩みや健康課題への対応

本計画では、

7つの分野別に取組みを進めます。ライフコースに合わせた取組みとして、世代【次世代(妊娠・出産、子ども:おおむね15歳まで)、就労世代(おおむね16~64歳)、高齢世代(65歳以上)】を大きく3つに分けてとらえ、特に、子ども・女性・高齢者については重点的に取り組みます。

2. 数値目標一覧

※幼年期:0～5歳、少年期:6～15歳とする。

指標	現状値 (令和4年度)	目標値 (令和16年度)
基本目標		
健康寿命の延伸(平均寿命と健康寿命の差の縮小)	男性1.9歳 女性4.0年 (令和2年度)	縮小

1 栄養・食生活

肥満の子どもの減少	少年期	1.6%	減少
肥満者(BMI25以上)の減少	20～60歳代男性	27.9%	25%以下
	40～60歳代女性	13.6%	12%以下
若い女性のやせ(BMI18.5未満)の減少	20～30歳代女性	16.9%	15%以下
低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者の減少	65歳以上	25.5%	23%以下
朝食を食べる頻度が週に2～3回以下の人の減少	幼年期	0.5%	減少
	少年期	5.3%	減少
	16～39歳	25.5%	23%以下
塩分を控えた食事を心がけている人の増加	16～39歳	55.0%	61%以上
	40～64歳	71.3%	75%以上
主食・主菜・副菜がそろった食事を1日2回以上とっている人の増加	16～39歳	42.9%	47%以上
	40～64歳	49.5%	54%以上
	65歳以上	68.9%	増加
食育に関心を持っている人の増加	幼年期の保護者	88.7%	90%以上
	少年期の保護者	90.6%	増加
	16歳以上	71.9%	79%以上
災害時に活用できる保存食や飲料をまったく常備していない人の減少	16歳以上	14.2%	13%以下
食べ残しを減らす努力をいつもしている人の増加	16歳以上	67.3% (参考値)	74%以上

2 身体活動・運動

定期的に運動している人の増加(1日30分以上を週2回以上、1年以上継続)	16～64歳	20.7%	23%以上
	65歳以上	23.2%	25%以上
運動やスポーツを習慣的に行っていない子どもの減少(1週間の総運動時間(体育授業を除く)が60分未満)	小学5年生男子	10.7%	減少
	小学5年生女子	15.5%	
	中学2年生男子	6.5%	
	中学2年生女子	16.0%	

3 たばこ

20歳以上の喫煙率の減少	11.4%	8%以下
妊娠中に喫煙している人をなくす	1.1%	0%
受動喫煙の機会を有する人の減少	42.2%	38%以下

指標	現状値 (令和4年度)	目標値 (令和16年度)
4 アルコール・薬物		
生活習慣病のリスクを高める量(一日当たりの純アルコール摂取量)を飲酒している人の減少	男性(40g以上)	9.1%
	女性(20g以上)	9.5%
妊娠中に飲酒している人をなくす	0.5%	0%

5 歯や口の健康	3歳児	91.0%	増加
むし歯のない子どもの増加	12歳児	88.9%	90%以上
40歳以上で歯周病の症状を有する人の減少		35.6%	32%以下
50歳以上における咀しゃく良好者の増加		70.6%	78%以上
歯間ブラシ・デンタルフロスを使用している人の増加	16～64歳	72.9%	80%以上
	65歳以上	64.1%	71%以上
かかりつけ歯科医をもっている人の増加	幼年期	54.0%	59%以上
	少年期	76.8%	84%以上
	16～64歳	47.7%	52%以上
	65歳以上	65.4%	72%以上
定期的な歯科健診を受けている人の増加	幼年期	59.8%	66%以上
	16～64歳	58.3%	64%以上
	65歳以上	62.7%	69%以上

6 疾病予防・健康管理	60.7%	65%以上
内科健診・人間ドック受診率の増加	60.7%	65%以上
がん検診受診率の増加	胃がん 40～69歳	42.8%
	肺がん 40～69歳	36.2%
	大腸がん 40～69歳	42.6%
	子宮がん 20～69歳 女性	40.4%
	乳がん 40～69歳 女性	48.4%
骨粗しょう症検査受診率の増加	17.7%	増加
フレイルの認知度の増加	24.8% (令和3年度参考値)	35%以上
かかりつけ医を持っている人の増加	幼年期	90.3%
	少年期	76.8%
	16～64歳	39.5%
	65歳以上	87.3%
かかりつけ薬局を持っている人の増加	幼年期	40.2%
	少年期	23.7%
	16～64歳	18.3%
	65歳以上	47.5%
妊娠11週以下の妊娠届出率の増加	97.6%	100%

指標	現状値 (令和4年度)	目標値 (令和16年度)
乳幼児健康診査受診率の増加	4か月	97.0%
	1歳6か月	98.1%
	3歳6か月	95.1%
妊娠・出産に満足している人の増加	80.2%	増加

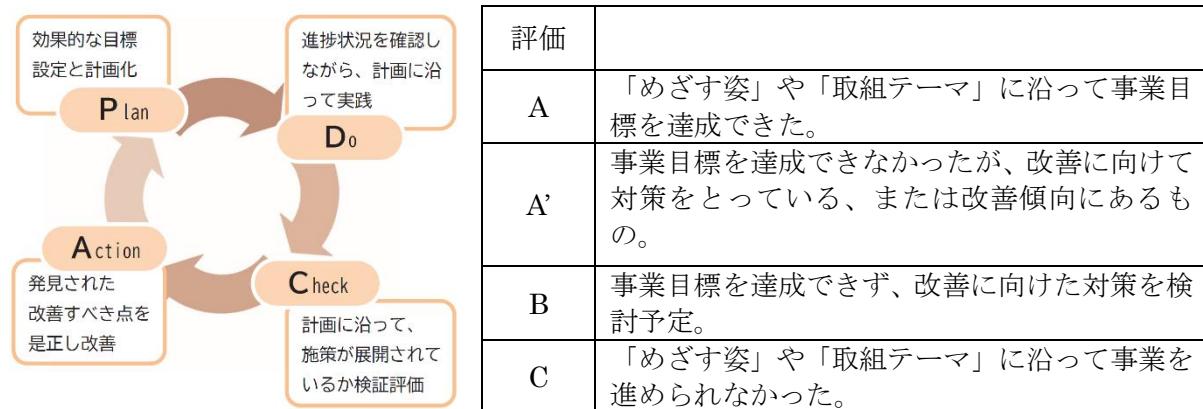
7 こころの健康・つながり

就業や地域活動など、何らかの社会活動をしている高齢者	65歳以上男性	42.7%	47%以上
	65歳以上女性	38.8%	43%以上
過去1か月にストレスにより心身の不調があった人の減少		11.0%	減少
睡眠が十分とれていると感じる人の増加	20～59歳	71.2%	75%以上
	60歳以上	81.3%	89%以上
悩みやストレスについて、相談先がある人の増加		87.4%	増加
産後1か月時点での産後うつのハイリスク者(EPDS 9点以上)の減少		8.5%	減少

3. 進捗状況

計画の推進にあたり、Plan（計画）・Do（実施）・Check（評価・検証）・Action（改善）の一連の流れによるPDCAサイクルによる進行管理を実施しています。

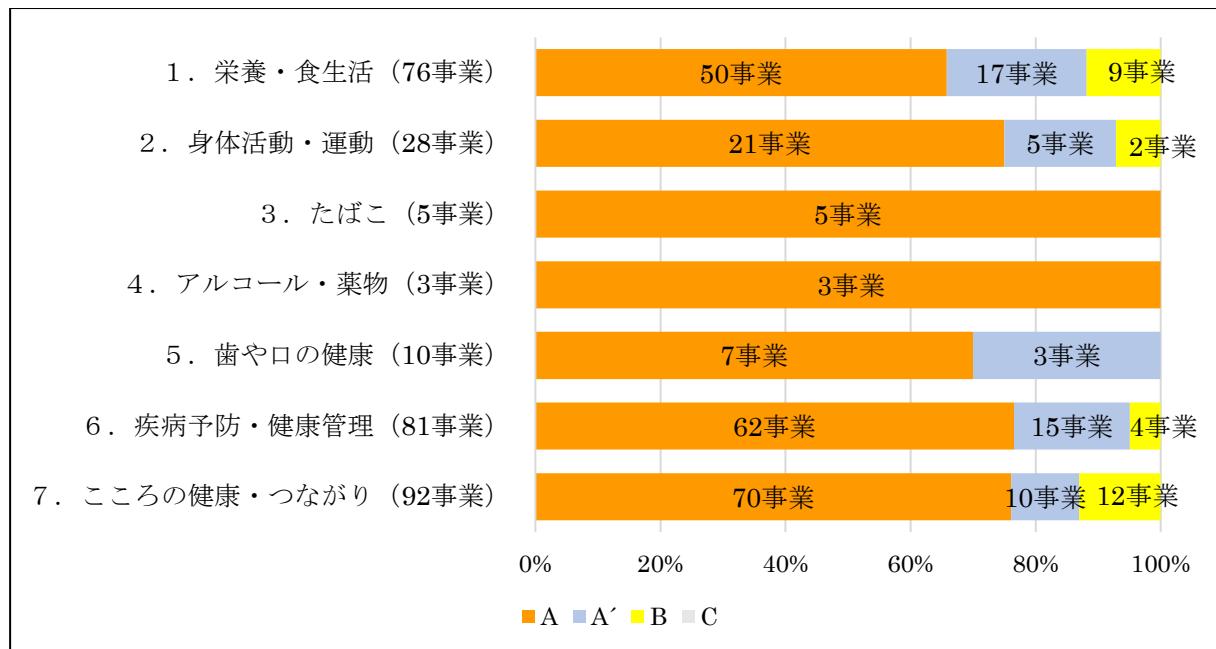
事業評価進捗状況については、各所管で事業評価指標と目標値を定め、実績や取組内容から評価をしています。評価はA、A'、B、Cの4段階です。



◆事業評価結果（全295事業）

A : 74% (218事業)	A' : 17% (50事業)	B : 9% (27事業)	C : 0% (0事業)
---------------------------	---------------------------	-------------------------	------------------------

◆分野別内訳



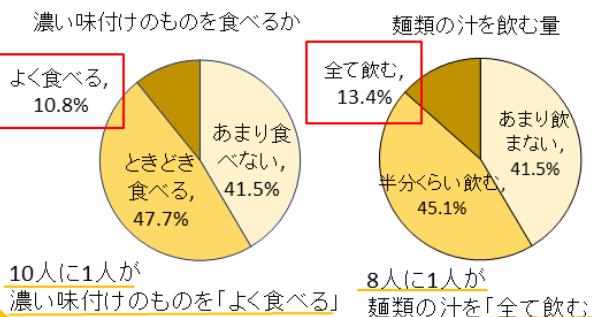
➡ C評価の事業はなく、各事業計画の趣旨にそった形で実施できた。

4. 分野別 主な取組みの実施状況

健康を支える食育推進事業 塩分と健康に関するアンケート (健康推進課)

市民の皆様がどんなものから塩分をとっておられるのかを把握することと、アンケート回答を通じて減塩意識を高めていただくことを目的とした電子アンケートを実施しました。

(令和7年2月3日～2月28日実施。総回答数5,750件)



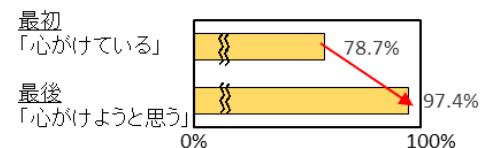
【取組分野】
栄養・食生活

拡充

【指標項目】

- ▶ 塩分を控えた食事を心がけている人の増加

アンケートの最初と最後での「塩分を控えた食事についての心がけ」の変化



アンケートの最後に「今後塩分を控えた食事を心がけようと思う(いつも+時々)」と答えた人は、9割以上になりました。

スポーツの日(体育の日)の事業 (スポーツ振興課)

スポーツの日に豊島体育館にて新体力テストを実施しました。老若男女140名の参加があり、多くの方がご自身の記録をみて喜んだり、悔しがったりしていました。スポーツの日の事業を通じて、運動を習慣的に行う市民が増えることを期待します。



反復横跳び



長座体前屈



立ち幅跳び

【取組分野】
身体活動・運動

継続

【指標項目】

- ▶ 定期的に運動している人の増加
- ▶ 運動やスポーツを習慣的に行っていない子どもの減少

被保護者健康管理支援事業 (福祉事務所)

「(第3期)豊中市医療扶助の適正な実施に関する方針」に基づき、生活保護制度を利用している市民の各ライフコースに合わせた健康管理事業を展開しています。

令和6年度から特に生活習慣を獲得する世代であるこども世代からの保健指導を充実させています。

成人期においてはけんしんの受診勧奨や健診受診後の保健指導を行っています。

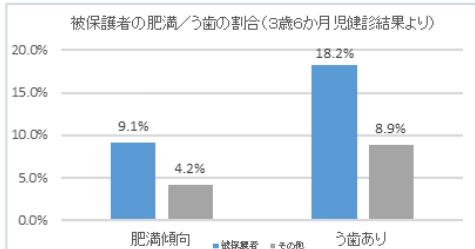
また75歳以上の高齢者に対しては対象者全数にフレイルチェックを実施する等、「誰ひとり取り残さない健康づくり」をめざし生活保護制度利用者の健康の保持増進に向けて取り組んでいます。

【取組分野】
疾病予防・健康管理

拡充

【指標項目】

- ▶肥満の子どもの減少
- ▶虫歯のない子どもの増加
- ▶内科健診・人間ドック受診率の増加
- ▶がん検診受診率の増加
- ▶フレイル認知度の増加



(第3期)豊中市医療扶助の適正な実施に関する方針
<https://www.city.toyonaka.osaka.jp/kenko/seihou/ryouhujyotekisei.html>

とよなかここサポプロジェクト (医療支援課)

様々な課題を抱える市民に気づき、適切に関わり、専門性の有無にかかわらず、それぞれの立場でできることから進んで行動を起こしていくことができるよう、「とよなかここサポプロジェクト」を立ち上げ、とよなかこころのサポーターを養成しています。

研修実施の様子

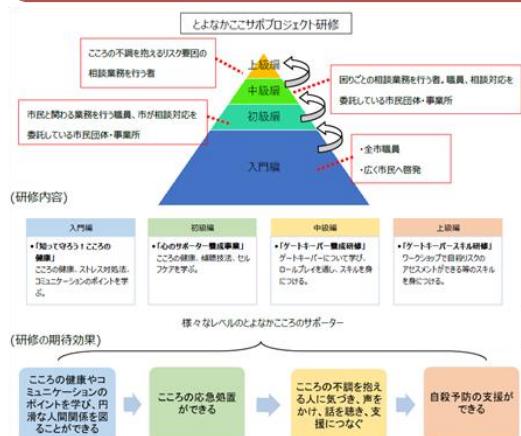


【取組分野】
こころの健康・つながり

継続

【指標項目】

- ▶「悩みやストレスについて、相談先がある人」の増加



5. 各事業の進行状況(事業一覧)

※所管名は令和6年度当時の名称

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代	再掲	関連する取組み分野		
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	こども	女性
1	1. 栄養・食生活	1-a. 次世代の基本的な食習慣の形成	「食事バランスガイド」の啓発	おやこ保健課	食育講座などにより食事バランスガイドの啓発を行っています。	—	—	全実施回数 85 回、全参加者数 703 人（オンライン開催含む）	No2、3、4 の事業で、栄養士による正しい知識について普及啓発を行いました。	A	No2、3、4 の事業で啓発に取り組んでいる内容のため、本取組みを独立させての記載を終了しました。	完了・廃止	●	●	●	●	
2	1. 栄養・食生活	1-a. 次世代の基本的な食習慣の形成	マタニティーカッキング	おやこ保健課	妊娠中の食事と離乳食について、簡単な調理実習を実施しています。	参加者数	—	来所型の講座を再開し、オンラインと併用。 実施回数 6 回 参加者数 41 人（オンライン開催含む）	栄養士による妊娠期の食事と離乳食についての講話と調理体験の実施により正しい知識の習得、個別相談を行いました。	A	調理実習を再開して通年実施したのは R6 年度からのため、R7 年度も実施します。R7 度から中部の新調理実習室が使用できるようになりました。	継続	●		●	●	
3	1. 栄養・食生活	1-a. 次世代の基本的な食習慣の形成	離乳食講習会	おやこ保健課	離乳食に関する知識・情報を提供します。	参加者数	—	ごっくんクラス ・実施回数 30 回 参加者数 375 人 かみかみクラス ・実施回数 30 回 参加者数 196 人（オンライン開催含む）	栄養士による離乳食についての講話と体験の実施により正しい知識の習得、個別相談を行いました。	A	ネット等の情報が錯綜し混乱している方が多い。正しい知識を知るためにも相談場所としての確保のためにも継続して実施します。	継続	●		●		
4	1. 栄養・食生活	1-a. 次世代の基本的な食習慣の形成	幼児食講座	おやこ保健課	幼児食に関する知識・情報を提供しています。	参加者数	—	来所型の講座を再開し、オンラインと併用。 実施回数 19 回 参加者数 91 人（オンライン開催含む）	栄養士による幼児食についての講話と体験の実施により正しい知識の習得、個別相談を行いました。	A	ネット等の情報が錯綜し混乱している方が多い。正しい知識を知るためにも相談場所としての確保のためにも継続して実施します。	継続	●		●		
5	1. 栄養・食生活	1-a. 次世代の基本的な食習慣の形成	給食（児童発達支援センター）	おやこ保健課	通所事業を利用する児童がおいしく安全に、楽しく食事をすることで心身両面の発育を促します。子どもの摂食機能にあった給食を提供します。個々に適した食形態への加工方法、食事介助について、保護者に体験していただいています。	—	—	毎日実施	給食を実施	A	引き続き安定した給食事業を実施していきます。	継続	●		●	7-a	
6	1. 栄養・食生活	1-a. 次世代の基本的な食習慣の形成	給食だよりの配布（児童発達支援センター）	おやこ保健課	給食予定献立、食育に関する情報を掲載した給食だよりを配布しています。	—	—	月 1 回配布	給食だよりを配布	A	引き続き事業を実施していきます。	継続	●		●		
7	1. 栄養・食生活	1-a. 次世代の基本的な食習慣の形成	レシピの発行（児童発達支援センター）	おやこ保健課	給食の中から、家庭で作りやすいようにアレンジしたレシピを発行しています。	—	—	随時実施	レシピを発行	A	引き続き事業を実施していきます。	継続	●		●		

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲		関連する取組み分野	
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	こども	女性	
8	1. 栄養・食生活	1-a. 次世代の基本的な食習慣の形成	摂食指導、栄養指導（児童発達支援センター）	おやこ保健課	①個々の摂食機能、食事の好みに合わせた食べ方、食べさせ方にについて、保護者に指導しています。 ②食に関する保護者からの相談に対応しています。 ③保護者向けの食に関する講座を開催しています。	—	—	随時実施	摂食・栄養に関する指導や講座を実施	A	引き続き事業を実施していきます。	継続	●	●				
9	1. 栄養・食生活	1-a. 次世代の基本的な食習慣の形成	菜園活動、調理体験（児童発達支援センター）	おやこ保健課	①所内にある畑で野菜等を栽培、収穫しています。 ②所内でとれた作物や、給食の材料等を使って調理体験をしています。	—	—	随時実施	菜園活動・調理体験を実施	A	引き続き事業を実施していきます。	継続	●	●		7-a		
10	1. 栄養・食生活	1-a. 次世代の基本的な食習慣の形成	はぐくみ教室	市立豊中病院栄養管理部	産科主体の「はぐくみ教室」の中で、「妊娠前からはじめる妊産婦のための食生活指針」に基づき妊娠中の栄養・食事について指導を実施しています。	—	—	—	「妊娠中の栄養・食事」についての情報提供をWEB媒体で実施しました。	A	引き続きWEB媒体での情報提供を実施していきます。	継続	●	●	●	●		
11	1. 栄養・食生活	1-a. 次世代の基本的な食習慣の形成	子育てに関する講座等の開催	こども事業課	地域子育て支援センターでは親子・同年齢の子どもと一緒におやつを作り、作る楽しさを実感し、家庭でも親子のふれあう機会として知らせる「おやつ講座」を行っています。	実施回数	16回	16回	手作りおやつ講座を実施し、地域の親子におやつを手作りして食べることの楽しさや、食育の大切さを感じてもらえるようにしました。 園の技能職員が専門知識をもとに、参加者からの相談を受ける機会になりました。	A	今後も継続していきます。	継続	●	●				
12	1. 栄養・食生活	1-a. 次世代の基本的な食習慣の形成	研修・会議関係事業	こども事業課	豊中市の教育・保育の内容充実・向上のために研修会を行います。研修では、食育・運動等をテーマとしたものも開催します。	実施回数	2回	2回	運動遊び、子どもの発達や食育をテーマにした就学前施設職員向けの研修を実施しました。	A	今後も継続していきます。	継続	●	●				
13	1. 栄養・食生活	1-a. 次世代の基本的な食習慣の形成	食育目標の作成	こども事業課	「豊中市立幼保連携型認定こども園全体計画」の「食育計画」に基づき、各公立こども園の食育目標を作成し、食育を進めます。	実施施設数	24施設	24施設	各園の実態に即した目標を立て、年間を通じて食育を取り組みました。	A	今後も継続していきます。	継続	●	●	●			

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲		関連する取組み分野
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	こども	女性
14	1. 栄養・食生活	1-a. 次世代の基本的な食習慣の形成	赤ちゃんサークル「びよびよ」での離乳食講座	公立こども園	こども園給食をもとに、各園の技能職員が離乳食の講習を行っています。	実施回数	16回	16回	園の給食をもとに、保護者の離乳食を進めるにあたっての悩みなどを一緒に考える機会となりました。	A	今後も継続していきます。	継続	●		●		
15	1. 栄養・食生活	1-a. 次世代の基本的な食習慣の形成	給食（公立こども園）	公立こども園	①おいしく、安全に、楽しく食事をすることで、心身両面の発育を促しています。 ②主食・主菜・副菜の揃った食事を提供しています。 ③季節の行事食を提供しています。	—	—	毎日実施	安全でバランスのとれた給食を提供し、様々な食材を食べる機会を提供しました。七夕、冬至、七草がゆ、鏡開き、節分、ひな祭りの行事食を提供しました。	A	今後も継続していきます。	継続	●		●		
16	1. 栄養・食生活	1-a. 次世代の基本的な食習慣の形成	食に関する情報発信「給食の献立表」「給食メニューのレシピ」「食育だより」等の配布、給食の展示	公立こども園 こども事業課	①給食の予定献立表やレシピ、食べ物に関する情報など保護者に配付しています。 ②当日の給食を展示し、お迎え時に保護者が見られるようにしています。	—	—	随時配布	給食予定献立表の中に各園での食に関する情報（食材紹介や季節の行事など）を記載し、当日の給食を展示しました。給食で人気のあるレシピを自由に持ち帰れるようにしました。	A	今後も継続していきます。	継続	●		●		
17	1. 栄養・食生活	1-a. 次世代の基本的な食習慣の形成	給食・弁当時の指導	公立こども園	①食前食後のあいさつを通して食事への感謝や食べ物を大事にすることを指導しています。 ②正しい箸の持ち方等、食事マナーを指導しています。 ③給食の準備や片付けを通して、自立に向けた支援をしています。 ④嫌いなものでも一口食べてみることを促し、食べられたという体験をすること等により、偏食改善に繋げています。 ⑤献立に使われた食材について話題にしています。	—	—	毎日実施	食事前後のあいさつを通して、食べ物への感謝、食べ物を作ってくれる人への感謝、食べられることへの感謝を指導しました。給食の食材について話題にすること、配膳に関わることで食への興味を引き出すようにしました。 また、箸の使い方や食前の手洗い、食後の歯磨きなど食に係わる場面での生活指導を実施しました。	A	今後も継続していきます。	継続	●		●		

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲		関連する取組み分野	
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	子ども	女性	
18	1. 栄養・食生活	1-a. 次世代の基本的な食習慣の形成	保育、教育の中での食育	公立こども園	①食に関する絵本や教材により、食品や栄養素などについて学んでいます。 ②クッキングや給食材料の下処理（玉ねぎの皮むき、さやえんどうのさやむき）などで実際に食品に触れ、調理する体験をします。	—	—	随時実施	食に関する絵本や3つの食品群のポスターなどにより栄養素について知る機会を設けました。給食に使用する野菜の皮むき・すじ取り・こままで・和え物を仕上げる・おにぎりをにぎる・おやつ作りなどを経験したり、食材を見る・触る（特に季節の野菜）、厨房の見学等を楽しむことで、食への興味を持てるようにしました。	A	今後も継続していきます。	継続	●		●			
19	1. 栄養・食生活	1-a. 次世代の基本的な食習慣の形成	保育、教育の中で行う菜園活動	公立こども園	教育・保育の一環として菜園活動を行っています。野菜くず・落ち葉を活用した堆肥を使用し、ごみの減量、食の循環に取り組んでいる園もあります。	—	—	随時実施	季節の野菜や果物、稻の栽培を年間計画して取り組みました。落ち葉や給食の残さいを畑の肥料として利用し、収穫したものを給食の食材やクッキングに使用しました。	A	今後も継続していきます。	継続	●		●	1-d		
20	1. 栄養・食生活	1-a. 次世代の基本的な食習慣の形成	学校における「食に関する指導の全体計画」に基づく食育の推進	学校給食課	各校の定める「食に関する指導の全体計画」に基づき、各教科や給食の時間における食に関する指導など学校教育全体を通して、食育の充実を推進します。	—	—	食育推進を進めるにあたり、各校の食に関する指導に係る全体計画作成の参考としてもらえるよう、「豊中市の小・中・義務教育学校における食育の基本的な考え方」を策定。令和6年度より各校の全体計画を提出してもらうこととしました。また、大阪府教育庁等から周知される食育に関する内容について各校へ周知を行いました。	③と同様	A'	「食に関する指導の全体計画」については、自校の実状を踏まえて定期的に見直し、作成してもらえるよう、新たに年度当初に提出を依頼します。また、具体的な計画を作成するための情報提供や支援を行います。食育に関する内容については引き続き周知を行います。	継続	●		●	1-b 1-c 1-d		
21	1. 栄養・食生活	1-a. 次世代の基本的な食習慣の形成	小学校・中学校給食運営	学校給食課	市内の小学校・義務教育学校・中学校に学校給食を提供します。	—	—	市内の小学校・義務教育学校・中学校に学校給食を提供しました。	③と同様	A	給食食材費高騰の影響があるが、引き続き公費も活用しながら学校給食の質と量を保持、栄養バランスの取れた給食の提供を目指します。	継続	●		●	1-b 1-c 1-d		
22	1. 栄養・食生活	1-a. 次世代の基本的な食習慣の形成	学校給食週間	学校給食課	「全国学校給食週間」と定められた1月24日～30日に、各地の郷土料理や世界の料理などを取り入れた特別の献立を出すことにより、改めて食に感謝する気持ちや食の大切さを考える取組みを行っています。	—	—	小学校・義務教育学校（前期課程）→1月21日～24日の4日間 中学校・義務教育学校（後期課程）→1月24日、1月27～29日の4日間で特別メニューを提供。	「全国学校給食週間」にちなみ、豊中市立学校55校にて、特別メニューを提供しました。大阪・関西万博開催にちなみ、大阪の郷土料理や世界の国の料理としてカナダ・スウェーデン料理を提供しました。	A	R6年度は学校給食週間メニューの提供日が小学校と中学校でそれが生じたため、R7年度は全国学校給食週間の中で、小学校・中学校で実施日を出来るだけ合わせて提供します。	継続	●		●	1-d		

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲	関連する取組み分野	
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	こども	女性
23	1. 栄養・食生活	1-a. 次世代の基本的な食習慣の形成	給食の献立表等の配信・発行	学校給食課	市ホームページへ献立表や食育だより、食育イベント等の報告、お弁当づくり冊子等を掲載しています。また、学校給食課公式インスタグラムにおいて、小・中学校の日々の献立や調理の様子、給食メニューのレシピ紹介等を画像や動画で配信しています。	—	—	市ホームページへ献立表や食育だより、食育イベント等の報告、お弁当づくり冊子等を掲載しました。学校給食課公式インスタグラムにおいて、小・中学校の日々の献立や調理の様子だけでなく、毎月食育の日（毎月19日）にちなんだ食育の情報提供を開始、栄養教諭等による食育活動の発信や、走井学校給食センター職員「キュウショクレンジャー」による給食にまつわる投稿を実施しました。	③と同様	A'	ホームページをより見やすくするために内容を精査し、学校給食課公式インスタグラム等のSNSを活用した学校給食の情報発信を進めます。	継続	●	●	●	●	1-b 1-c 1-d
24	1. 栄養・食生活	1-a. 次世代の基本的な食習慣の形成	教室向け給食だより等の発行	学校給食課	毎月、教室向けに給食だより「もぐもぐ」（小学校・義務教育学校（前期課程））、食育メモ（小学校・義務教育学校（前期課程））一食育だより（中学校・義務教育学校（後期課程））、献立カレンダー（栄養・食品に関する説明入り）を作成し、食育動画を配信しています。	—	—	小学校・義務教育学校（前期課程）：給食だより「もぐもぐ」・こんだてカレンダー→月回各クラスに1枚ずつ配布しました。食育メモの配布、食育動画の配信を月1回以上実施しました。 中学校・義務教育学校（後期課程）：食育だより、献立カレンダー→月回各クラスに1枚ずつ配布しました。食育メモの配布、食育動画の配信を月1回以上実施しました。	③と同様	A'	今年度も引き続き実施します。	継続	●	●	●	●	1-b 1-c 1-d
25	1. 栄養・食生活	1-a. 次世代の基本的な食習慣の形成	一年生給食開始事前指導	学校給食課	新1年生の給食開始に伴い、栄養士・調理員及び学校給食従事員が、児童の給食への関心を高めるために学校を訪問し、配膳作業の補助を行っています。	回数	—	1年生給食開始後の5日間、24の小学校で、延べ202名の補助業務を行いました。入れない学校やクラス、また学校対応もありました。	給食従事員が担任の指示により、補助業務を行っています。	B	補助に入れる人員の確保が難しいです。新任の担任（学校給食の対応が初めて）など、補助がどうしても必要なクラスにのみと縮小を検討しています。	縮小	●	●	●	●	
26	1. 栄養・食生活	1-a. 次世代の基本的な食習慣の形成	学校給食センター職員による学校訪問	学校給食課	学校給食センター職員が市内の公立小学校・義務教育学校（前期課程）を訪問し、児童を対象に給食の話をすることで、交流を図っています。	回数	—	希望する学校26校81クラスへ伺い、児童と給食の時間を共有し理解を深めてもらいました。	③と同様	A'	希望する学校にのみ訪問してきたが、今後は訪問する学校を絞り、事業効果（残菜率の減少）などが見える形で検証できるように進めていきたいです。	縮小	●	●	●	●	
27	1. 栄養・食生活	1-a. 次世代の基本的な食習慣の形成	児童の社会見学の受け入れ	学校給食課	学校調理員、栄養教諭等との交流を深め、給食ができるまでを見学することで関心を高めています。	回数	—	こども園（5園）から232名、小学校（5校）から457名が社会見学で来館されました。	調理員が調理の説明をし、体験コーナーでは釜や手洗いの体験。栄養教諭等はプロジェクトを使い学校給食の説明を行っています。	A'	次年度も継続して受け入れたいです。	継続	●	●	●	●	

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲		関連する取組み分野	
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	子ども	女性	
28	1. 栄養・食生活	1-a. 次世代の基本的な食習慣の形成	給食センター食育イベント	学校給食課	少年期の子どもと保護者に給食センターでレツツクッキング、センター探検ツアーを行い、給食の大切さや理解を深めています。	人数	—	・レツツクッキング 3日間開催：29組・65名参加 ・レツツ探検 3日間で6回開催：143組・349名参加	学校給食の実施がない夏季休業期間中に実施しました。 ・レツツクッキング 調理員と児童・保護者が一緒に給食メニューを作りました。 ・レツツ探検 普段入ることができない調理場に入って、機械を間近に見、道具に実際に触れる体験	A	次年度、走井学校給食センターは施設工事(LEDに交換)のため開催中止します。原田南学校給食センターでのみレツツ探検を開催します。	縮小	●	●	●	●	●	
29	1. 栄養・食生活	1-a. 次世代の基本的な食習慣の形成	給食の試食会の実施	学校給食課 各小学校PTA	保護者等による給食の試食と、栄養教諭等による講話を実施しています。	回数	—	各小学校でPTA主催の試食会を21校行いました。 中学校では10校(12回)実施しました。	学校で、保護者に学校給食を喫食してもらい、豊中市の学校給食についての説明を行うことで、給食への理解を深めました。	A'	次年度も継続して対応ていきたいです。	継続	●	●	●	●	●	
30	1. 栄養・食生活	1-a. 次世代の基本的な食習慣の形成	給食センターの見学の受け入れ(市民向け)	学校給食課	給食センターの様子を見学し、学校給食への理解を深めています。	回数	—	給食センターで、PTA主催の試食会を12回行いました。また、市民及び他市からの視察も含め、12回施設見学を行いました。	給食センターの見学通路で、調理員が調理についての説明を行います。体験コーナーにある釜に触れたり、手洗い体験を行います。また、栄養教諭等がプロジェクトを使い学校給食の説明を行っています。	A'	次年度も継続して対応ていきたいです。	継続	●	●	●	●	●	
31	1. 栄養・食生活	1-a. 次世代の基本的な食習慣の形成	くらしの教員セミナー	くらし支援課	小中学校技術家庭科教員対象の消費者問題啓発講座(年2~3回)を実施しています。	—	—	15人	学校における子どもの消費者教育の推進を図るために、小・中学校の技術・家庭科の教員を対象に、「しっかり学ぼう！ネットと契約」をテーマに詳しく学習しました。	A	小・中学校の先生の集まる機会が少なく、もっと多くの先生方に参加していただきたいが、伝えるすべがないです。対応策として、毎月行われる認定研究会で呼びかけを行います。	継続	●			●		
32	1. 栄養・食生活	1-a. 次世代の基本的な食習慣の形成	くらしのノート事業	くらし支援課	消費者教育資料集(技術・家庭科副読本)「くらしのノート」を作成し、学校現場で活用してもらい、消費者教育を推進しています。小学生用では健康な食生活について啓発しています。	—	—	小学生：4200冊 中学生：4400冊	消費者教育資料集(技術・家庭科副読本)「くらしのノート」を作成し、学校現場で活用を推進しました。豊中市健康づくり・食育推進計画に関する記述があります。	A	デジタル化が推進されていることを承知しているが、現場の先生が使用するにあたって紙の方が扱いやすいため、電子化に踏み切れていません。また、闇バイトの発生などの社会状況に応じて掲載内容をその都度変更していきたいです。	継続	●			●		

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲	関連する取組み分野	
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	子ども	女性
33	1. 栄養・食生活	1-a. 次世代の基本的な食習慣の形成	関連資料提供、読書振興	読書振興課・図書館	食育に関する図書や資料・情報の収集・提供や、出前講座やイベントなどでテーマや参加者層に応じて関連図書の紹介や貸出を行っています。また「とよなか食育プラスワンシート」の活用や、食育関連資料の展示・貸出を行う場合があります。	—	—	実施あり	千里図書館では乳幼児向け出前講座に離乳食の本を、庄内図書館では図書館の行事や子育てサロンで保護者向けに離乳食・幼児食の本を紹介しました。また庄内図書館では、公民館や子育て支援センターから講座での関連本やイベントでの絵本貸出を依頼された際、それだけではなく、参加されている保護者に手に取ってもらえるよう離乳食・幼児食の本も一緒に貸出しました。さらに、東豊中・高川図書館では特集展示棚で食育の本を、野畠図書館では野菜料理の本を展示・貸出しました。また各館で「とよなか食育プラスワンシート」の活用や、「食育コラボ みんなでは・は・は」参加者へ食育関連本の展示貸出を行いました。	A	次年度も図書館での食育に関する関連資料の提供などを通じて、食育への関心を深めていくとともに、図書館の利用促進を図っていきたいです。	継続	●	●	●	●	1-d
34	1. 栄養・食生活	1-b. 心身の健康につながる食生活	健康を支える食育推進事業	健康推進課	バランスのよい塩分控えめの食事など、健康につながる食生活についての普及啓発を実施します。	①参加者数 ②回答件数	①野菜摂取量測定イベント ・野菜摂取量測定会 9回、1,806人 ②塩分と健康に関するアンケート 2,000件	①野菜摂取量測定イベント ・野菜摂取量測定会 9回、1,806人 ②塩分と健康に関するアンケート 2,000件	①市内スーパー、商業施設やイベントの1ブースなどで、野菜摂取量測定と栄養士によるアドバイスを行いました。 ②塩分を何からとっているのかの現状把握と減塩の啓発を兼ねたアンケートを実施しました。	A	①参加者アンケートの結果より、測定体験後に野菜をどう考えた人が多かったことから、次年度はより多くの人の行動変容を促すため、別の会場も加えて実施します。 ②アンケートで得た現状をふまえた上での減塩啓発を実施します。	拡充	●	●	●	●	1-a 1-c 1-d
35	1. 栄養・食生活	1-b. 心身の健康につながる食生活	フレイル栄養相談会	健康推進課	フレイル予防のための食生活についての相談会を実施します。	人数	140人	141人	①後期高齢者医療健康診査及び通いの場の質問票でのハイリスク者、②18歳以上に対し、体組成測定、フレイルチェック、野菜摂取量測定、SATシステムによる食事診断の結果を基に栄養相談を行いました。	A	相談会参加者への効果を評価できていないため、次年度は低栄養傾向の見られる方に対して参加3ヶ月後にアンケートを実施予定です。	継続	●	●	●	●	

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲	関連する取組み分野		
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	子ども	女性	
36	1. 栄養・食生活	1-b. 心身の健康につながる食生活	「食育月間」「食育の日」の啓発	健康推進課	毎年6月を食育月間、毎月19日を食育の日として啓発を行っています。	回数	2回	2回	豊中市保健所での掲示と豊中市保健所公式X(旧ツイッター)での啓発をそれぞれ1回ずつ実施しました。	A	食育への関心を高める一つの機会として、引き続き啓発を続けていく予定です。	継続	●	●	●			1-a 1-c 1-d
37	1. 栄養・食生活	1-b. 心身の健康につながる食生活	特定給食施設等への個別指導	健康推進課	市内にある特定給食施設やそれに準ずる施設で提供される食事が健康につながるものであるよう、電話や訪問等での指導を実施します。	①巡回指導施設数 ②情報提供メール配信数	①33施設 ②2回	①33施設 ②6回	・施設に訪問しての巡回指導33施設、電話指導18件、面接指導1件を行いました。 ・メールアドレスを把握している施設への情報提供を実施しました。(R7.3.31現在、221施設) ・健康的な食生活啓発支援として、一部施設に朝食摂取啓発ポスターを送付しました。	A	給食施設での取組みは健康につながる食環境整備として重要と考えるため、引き続き指導を実施します。	継続	●	●	●			1-a 1-c
38	1. 栄養・食生活	1-b. 心身の健康につながる食生活	特定給食施設等への集団指導	健康推進課	市内にある特定給食施設やそれに準ずる施設のスタッフ(施設管理者・管理栄養士/栄養士・調理師等)を対象に、研修会を実施しています。	件数	2回	2回	①食中毒の予防をテーマに研修会を実施しました。 会場参加、27施設 後日配信(申込数)39施設 ②大阪府政令中核市と合同で災害時の給食をテーマに研修会を実施しました(オンデマンド配信)。 申込数41施設	A	引き続き、研修会等を通じて市内施設の資質向上を促していきます。	継続	●	●	●			1-a 1-c
39	1. 栄養・食生活	1-b. 心身の健康につながる食生活	「減塩協力店」の普及啓発	健康推進課	「減塩協力店」の普及啓発を行っています。 「貰ってきた惣菜やお弁当、外食で注文した料理がもともと塩分ひかえめで作られていた」など、自然と減塩につながる環境づくりを推進しています。	店舗数	61店舗	60店舗(閉店により1店舗減)	・豊中市保健所公式X(旧ツイッター)で7回減塩協力店の紹介と減塩の周知啓発を行いました。 ・登録店舗60店のうち1メニュー食塩相当量3g未満提供店数が1店増の8店となりました。	A'	引き続き、豊中市保健所公式X(旧ツイッター)での発信をします。店舗の営業時間などの変更にこちらの情報が追いついていなかったことを改善するため、次年度からは年に1回郵送にて既存店舗の情報を確認する予定です。	継続	●	●	●			1-a
40	1. 栄養・食生活	1-b. 心身の健康につながる食生活	「うちのお店も健康づくり応援団の店」の普及・啓発を行っています。 野菜たっぷりや、エネルギー控えめ等のヘルシーメニューの提供や、「ヘルシーオーダー」の実施等を推進しています。	健康推進課	「うちのお店も健康づくり応援団の店」の普及・啓発を行っています。 野菜たっぷりや、エネルギー控えめ等のヘルシーメニューの提供や、「ヘルシーオーダー」の実施等を推進しています。	—	—	—	令和6年度の事業終了を受けて、対象の店舗に対し、減塩協力店や大阪府下の取組であるV.O.Sメニューの案内を発送しました。	A	本事業は令和6年度で廃止します。 食環境整備については引き続き野菜の摂取を促す、減塩の意識を持つもらうなど普及啓発を進めています。	完了・廃止	●	●	●			1-a

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲		関連する取組み分野	
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	子ども	女性	
41	1. 栄養・食生活	1-c. 安全・安心な食	インデックス付コンパクトサイズの『防災ガイド』の作成	危機管理課 健康推進課	自宅だけではなく、近所・遠方にいるときでも一定の災害対応が実施できるよう、「自助」をベースに災害対応をまとめた持ち歩き可能な啓発印刷物を作成し、配布しています。 災害への備えなどをまとめた「準備編」、災害発生時の対応をまとめた「災害対応編」を掲載しています。	配布数及び地域団体に対する周知回数	配布数：50枚 周知数：20回	前年度の出前講座が22回あったので、防災ガイドの周知については達成できました。 配布については、令和6年度に入る前に冊子の在庫が切れてしまい 配布することができませんでした。	・出前講座での防災ガイド周知	A+	出前講座での市民に対する周知は十分行えました。また、防災ガイドの配布は実施できなかったが、令和7年度に増刷を予定しているため、令和7年度は配布することができます。	継続	●	●	●			
42	1. 栄養・食生活	1-c. 安全・安心な食	災害時に備えた食品の備蓄	公立こども園 こども事業課	災害時に備え、こども園にレトルトカレー、レトルト粥、液体ミルクを備蓄し、賞味期限の切れる前にこども園の給食に提供することで、防災教育を行っています。	—	—	9月、2月に実施	レトルトカレー、レトルト粥は9月にこども園防災の日の献立として提供しました。液体ミルクは9月、2月に通常献立に使用し提供しました。	A	今後も継続していきます。	継続	●		●			
43	1. 栄養・食生活	1-c. 安全・安心な食	食品表示に関する指導等	健康推進課	栄養成分表示や広告などの「誇大広告の禁止」などに関して市民に適切な情報の提供を行ったり、食品業者や広告業者などに対する相談や指導を行っています。	指導数	—	23件	食品業者や広告業者などに対する相談を行いました。	A	引き続き相談に応じています。	継続	●	●	●			1-a 1-b
44	1. 栄養・食生活	1-c. 安全・安心な食	食品衛生事業	健康危機対策課	市民や食品関連事業者に対し、食品衛生に関する知識を啓発し、食中毒予防対策に取り組むなど、安全な食生活の確保を図ります。	参加人数	500人	講習会参加人数：946人 (うち・消費者向け：597人 ・事業者向け：349人)	市民・事業者に対し、講習会や市の広報・ホームページ・SNS等により、食中毒予防や食品衛生に関する知識の普及・啓発を行いました。	A	今後も継続して実施していく予定です。	継続	●	●	●	●	●	
45	1. 栄養・食生活	1-c. 安全・安心な食	生活関連物資課題調査	くらし支援課	(特定非営利活動法人とよなが ESD ネットワークに委託) 豊中市内主要販賣施設の食料品等の生活関連物資の表示等に関する調査を実施し、これに基づいて得た適正な情報を市民に提供することにより、市民の生活関連物資に対する信頼性を確保し、適切な商品選択に役立てるとともに、事業者にも適正な表示に基づく安全な商品の提供を促すなど、消費生活の一助になることを目的とします。	—	—	延べ40人参加	生活関連物資に記載されているフェアトレードのマーク等の表示についての確認や内容量の調査を行いました。また物の売り買いを体験することで経済について考えるきっかけとなりました。	A	事業開始当初から委託してきた団体が受託できなくなり、事業の実施方法を変更して別団体で実施してきたが、当初目的は達成したことから本計画では完了廃止とします。今後は別目的での事業実施とします。	完了・廃止	●	●	●			

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲	関連する取組み分野		
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	こども	女性	
46	1. 栄養・食生活	1-c. 安全・安心な食	消費者啓発講座・セミナー	くらし支援課	①消費生活セミナー：消費生活の基礎知識を学ぶ講座 ②消費者月間行事：消費者月間の5月に消費者庁の統一テーマに沿って行う啓発事業として消費生活に関する講座を開催しています。 ③学校における啓発講座：食品表示や食に関する講座を実施し、健康な食生活の啓発をしています。	人数	①ー ②ー ③1,000人	①消費生活セミナー：2回、87人（うち食育関係なし） ②消費者月間行事：862人 ③学校における啓発事業：36回（1クラス1回でカウント）、1128人（うち食育に関するもの17回、460人）	①くらしの中の身近な話題を通して、消費者問題等について学習しました。 ②令和6年度は、「デジタルで時代に求められる消費者力とは」をメインテーマに行いました。 ③学校における子どもの消費者教育の推進及び、消費者被害を未然に防ぐために学校現場へ出向き講座を実施しています。今年度は、昨年度に比べ、食に関する講座の申し込みが多かったです。	A	5月の消費者月間に合わせてセミナーなどを行っているが、認知度がないことから、その周知が必要です。また、学校における啓発に対して、コロナ後の学校行事の増加に伴い、申し込み数が少なかつたため、こちらも周知している、数を増やすための工夫を考えていきたいです。	継続	●	●	●			
47	1. 栄養・食生活	1-c. 安全・安心な食	消費生活情報の広報	くらし支援課	消費生活情報誌「くらしの情報」を発行し、くらしかん及び市内公共施設で配布しています。 食品表示や食に関する記事を掲載し、健康な食生活の啓発をしています。	—	—	A4判 3,000部発行／2回 PDF判 発行／1回 点字版 B5判 12部発行／3回	消費者への啓発として、詐欺防止のための情報を掲載しています。また、登録グループの紹介も行っており、認知度の向上を進めています。 食に関するものとして、Sマーク（標準営業約款制度）を紹介し、消費者が安心してお店を選べる目印があることを掲載しました。	A	若い世代への情報提供が難しく中々手に取ってもらえない。そのため、幅広い年齢層に伝えられる手段が必要です。また、印刷代のコストがかかることから電子化によることも一つの手段であり、若者にも情報が届く可能性が高くなると考えられます。	継続		●	●			
48	1. 栄養・食生活	1-c. 安心・安心な食	水道出前教室	上下水道局 経営部 経営企画課	小学4年生を対象に、水道への関心を深め、水道水が安全な飲み物であると理解してもらうことをねらいとして、実験器具の貸出及び学習資料の提供を行い、視聴覚教材（局作成YouTube動画）の活用で教員の指導のもと、実験を実施します。	校数	40校	22校	実験器具の貸出及び学習資料の提供を行い、視聴覚教材（局作成YouTube動画）の活用で教員の指導のもと、実験を実施します。	A	関係各所と連携をはかり、事業参加校を増やします。	継続	●		●	1-a		
49	1. 栄養・食生活	1-d. 持続可能な食	生活情報ひろば事業	くらし支援課	くらしかん1階の「生活情報ひろば」において、くらしかん登録グループ主体による消費者啓発講座・展示等の中で、食に関する講座・展示を開催しています。 食に関するパネル展示や講座を実施し、健康な食生活を啓発しています。	—	—	パネル展：12回（うち食育関係2回） 地産地消：12回 講座：5回	パネル展：「地産地消の推進と大阪産農産物」や「食の安全・安心」に関連した展示を行いました。 地産地消：豊中産・豊能郡高山産の野菜やとよっぴーを入れた有機物の畑で育てた季節の野菜などが出されました。 講座：ベトナム料理やインドネシア料理などの海外の料理のお話に加えて、実食してもらいました。	A	パネル展：課題として、幅広い世代への周知ができていないことがある。SNSなどを活用し幅広い世代に周知するよう取り組んでいきたいです。 地産地消：グループの高齢化による担い手不足。こちらも若者が担い手となってほしいが、現状は厳しいです。 講座：グループの高齢化による担い手不足が原因で講座の減少につながっています。 若い世代に周知し、担い手の確保がいります。	縮小	●	●	●			

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲	関連する取組み分野		
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	子ども	女性	
50	1. 栄養・食生活	1-d. 持続可能な食	料理教室（再掲：生活情報ひろば事業）	くらし支援課	とよなか消費者協会に委託し、豊中商工会議所・豊中市小売商業団体連合会事務局の協力を得て、料理講習会を開催しています。	—	—	魚屋さんが教える魚のさばき方：参加人数 34人 無添加のみ作り：参加人数 68人 ペルーの家庭料理とお話：参加人数 18人 インドネシア料理へようこそ：参加人数 23人 ベトナムの家庭料理とお話：参加人数 21人	海外の料理に触れることができる料理講演会は昨年度に比べて多く実施することができました。	A	今年度でとよなか消費者協会が解散されるということで、今年度で廃止となります。若者の参画がなく継続的に行いたいがそのすべがないのが課題です。	完了・廃止	●	●	●			
51	1. 栄養・食生活	1-d. 持続可能な食	くらしかん祭り	くらし支援課	消費者問題等に取り組むくらしかん登録グループの実践活動の発表の場としてくらしかん登録グループとともにくらしかん祭りを実施しており、グループ間交流や市民との情報交流を図っています。食や栄養に関するブースを設置し、健康な食生活の啓発をします。	人数	500人	507人	実行委員会に参画している「くらしかん登録グループ」の主体性を尊重し、それぞれの活動目的を發揮できるように応援するとともに消費者学習を実践する場として、市民主体のまちづくりの実現を進めるために開催しています。食に関して、フェアトレードについて学べる催しや地産地消を行いました。	A	登録グループと連携してこれまで開催してきたが、メンバーの高齢化に伴い、参加者の減少が懸念されます。地域を取り込んで、若者を取り入れ、幅広い世代が楽しめるものにしていきたいです。	継続	●	●	●			
52	1. 栄養・食生活	1-d. 持続可能な食	消費者活動支援業務	くらし支援課	消費者団体について、登録制を実施し、定例会の運営や事業（リユースバザー・くらしかん祭り・講座等）を市と協働で行うことにより、活動の促進支援を図っています。また、使用申込を一般申込の3か月前から6か月前に優遇し、また「生活情報ひろば」を活動・交流の場として提供して活動の支援を行っています。	—	—	登録グループ 8団体	毎月最終金曜日に登録グループとの定例会の実施しました。リユースバザーを 10 回開催しました。参加者数は 675 人。	A'	高齢化に伴い、登録グループの方々の活動が制限されているため、若者による協力が必要だが、参加がないため次につながりません。若者の参加に向けて取り組む必要があるが、ほとんどの方が働きにでていることから難しいです。	継続	●	●				
53	1. 栄養・食生活	1-d. 持続可能な食	市民による環境活動への支援（豊中アジエンダ21の普及・促進）	ゼロカーボンシティ推進課	「とよなか市民環境会議」の共同事務局である「NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21」とともに、ネットワーク組織としての活動、ならびに構成団体である市民団体・事業者が主体的に取り組む環境活動の促進を支援します。	構成団体数	増加（令和5年度：129団体）	129団体	とよなか市民環境会議の役員会・総会を開催しました。また、とよなかエコ市民賞を実施し、2団体を表彰しました。	B	近年、市民環境会議へ新規に加入する団体がなく、会議体の活性化が課題です。ネットワーク組織としての活動、ならびに構成団体である市民団体・事業者が主体的に取り組む環境活動の促進を支援します。	継続	●	●	●			

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲		関連する取組み分野
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	子ども	女性
54	1. 栄養・食生活	1-d. 持続可能な食	とよなか市民環境展	ゼロカーボンシティ推進課 NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21	豊中市（ゼロカーボンシティ推進課）・豊中市教育委員会・とよなか市民環境会議・公益財団法人豊中市スポーツ振興事業団と共に、市民、事業者、行政の環境問題解決に向けての取組みの発表・交流の場。概ね、11月第3もしくは第4週に実施しています。	来場者数	増加（令和5年度：2,391人）	3,003人	とよなか市民環境展 2024 テーマ「Join us ! 地球のこと豊中のこと考えよう」のもと、市民、事業者、行政が現状の環境問題解決に向けた取組みの発表や交流の場を提供しました。	A	環境問題に关心が低い層を巻き込むため、新たな出展者を募る手法の検討や子育て世代や若年層の環境保全活動への関心の向上につながるよう、更なる発展をめざします。	継続	●	●	●		
55	1. 栄養・食生活	1-d. 持続可能な食	フードドライブの実施	減量計画課	家庭で余っている食べ物を学校や職場などに持ち寄り、それらをまとめて地域の福祉団体や施設、フードバンクなどに寄付する活動。各種イベント等にて実施しています。	開催回数	7回	9回	市内地域イベント等において9回実施し、合計 248.5 kg の食品が提供されました。また、事業者との協働実施として、(株)ダイエー市内4店舗、生活協同組合コープこうべ市内3店舗、(株)光洋市内4店舗でフードドライブを実施しました。合わせて総重量約 6863.5 kg の食品が集まり、そのすべてが豊中市社会福祉協議会に提供されました。	A	市内から出る食品ロス量（推計値）は減少しつつありますが、市民・事業者により食べ物の大切さを認識してもらい、さらなるごみ減量を図るために、引き続き効率的・効果的にフードドライブを実施していく必要があります。また、地域におけるフードドライブの活性化に向け、周知啓発を行っていきます。	継続	●	●	●		
56	1. 栄養・食生活	1-d. 持続可能な食	とよなか食品ロス・ゼロハンドブックの活用	減量計画課	市民の「もったいない」の意識を高め、食品ロスを削減するために、食べ残しや手つかずで捨てられる食品等の食品ロス実態や食の大切さを情報提供するとともに、ごみとなるべく出さない調理法や買い物など食品ロスの削減に関する実践事例・アイデアについて分かりやすく解説し、実践行動に移していただくために作成。周知啓発に活用しています。	認定こども園等年長児保護者への配布人數	認定こども園等年長児全児童数	3,418人	4000 冊作成し、市内認定こども園等の年長児全児童の保護者に配布するとともに、イベント時等にも配布しました。	A	市内から出る食品ロス量（推計値）は減少しつつありますが、市民に、より食べ物の大切さを認識してもらい、さらなるごみ減量を図るために、環境学習の一環として小学校入学直前の年長児及びその保護者をターゲットとした周知啓発を継続して行っています。	継続	●	●	●		1-c
57	1. 栄養・食生活	1-d. 持続可能な食	生ごみ・剪定枝堆肥化事業	公園みどり推進課	循環型社会を推進するため、堆肥「とよっぴー」を使った資源循環啓発を行っています。その取組みの一つとして、農体験学習を実施しており、健康づくりに寄与しています。	—	—	No. 64 に記載	No. 64 に記載	No. 64 に記載	No. 64 に記載	No. 64 に記載	●	●	●		

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲		関連する取組み分野	
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	こども	女性	
58	1. 栄養・食生活	1-d. 持続可能な食	生ごみ・剪定枝堆肥の配布・頒布	公園みど推進課、NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21・花と緑のネットワークとよなか	学校給食センターから出る調理くずや給食の食べ残しなどに公園や街路樹の剪定枝をチップ化したものを混じ、堆肥化しています。できあがった堆肥「とよっぴー」は、アジェンダ21・花と緑のネットワークとよなかにより、土壌改良材として、学校・こども園、市内等の農家ほか、各種イベントなどで配布・頒布しています。	—	—	85t	堆肥「とよっぴー」を配布しました。	A	継続して配布していきます。	継続	●	●	●			
59	1. 栄養・食生活	1-d. 持続可能な食	緑と食品のリサイクルプラザ見学対応	公園みど推進課、NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21・花と緑のネットワークとよなか	学校給食センターから出る調理くずや給食の食べ残しなどに公園や街路樹の剪定枝をチップ化したものを混じ、堆肥「とよっぴー」を製造する施設の見学者に対して、有機性資源循環の仕組みと食の重要性の啓発を行っています。	見学者数	500人	344人	リサイクルプラザの施設見学に對応しました。	B	今後は参加者数が増えるように周知・啓発を行っていきます。	継続	●	●	●			
60	1. 栄養・食生活	1-d. 持続可能な食	堆肥化講習会	公園みど推進課、NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21・花と緑のネットワークとよなか	家庭向け堆肥づくり講習会を行うことにより、生ごみの発生抑制・再資源化及び家庭菜園での堆肥活用を推進しています。	参加者数	200人	93人	堆肥化講座を実施しました。	B	今後は参加者数が増えるように周知・啓発を行っていきます。	継続	●	●	●			
61	1. 栄養・食生活	1-d. 持続可能な食	栽培講習会	公園みど推進課、NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21・花と緑のネットワークとよなか	有機性資源を活用した上手な野菜づくりの講習会を開催しています。	参加者数	200人	252人	栽培講習会を実施しました。	A	継続して実施していきます。	継続	●	●	●			

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲		関連する取組み分野	
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	子ども	女性	
62	1. 栄養・食生活	1-d. 持続可能な食	講座型環境学習	公園みど推進課、NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21・花と緑のネットワークとよなか	生ごみの発生抑制や資源循環を推進するため、米づくり・食品ごみ・地産地消等をテーマに講座を実施しています。	参加者数	4,000人 (No.63.64と併せて)	1回 17人	講座型環境学習を実施しました。	B	継続して実施していきます。	継続	●	●	●			
63	1. 栄養・食生活	1-d. 持続可能な食	食育フォーラム	公園みど推進課、NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21・花と緑のネットワークとよなか	栄養など食事の内容だけではなく、どこでどう作られたかも含めて食べ物に関する正しい知識を得るための講座を実施しています。	—	—	1回 17人	食育フォーラムを実施しました。	A'	継続して実施していきます。	継続	●	●	●			
64	1. 栄養・食生活	1-d. 持続可能な食	農体験学習	公園みど推進課、NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21・花と緑のネットワークとよなか	①希望する小学校等に出向いて、主に4年生・5年生を対象に、野菜の植え付け・収穫、お米づくりなどの農体験学習を実施しています。 ②親子や児童・生徒等に対して、「とよっぴー農園」において、野菜の植え付け・収穫等の農体験学習を実施しています。	参加者数	4,000人 (No.62.63と併せて)	45回 685人	農体験学習を実施しました。	B	継続して実施していきます。	継続	●	●	●	●		
65	1. 栄養・食生活	1-d. 持続可能な食	とよっぴーフェスタ	公園みど推進課、NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21・花と緑のネットワークとよなか	「とよっぴー」で育てた野菜を使った学校給食の試食や農園でのいも掘り体験など、食と農及び資源循環について楽しく学べる様々なイベントを実施しています。	来場者数	1,000人	583人	とよっぴーフェスタを実施しました。	A'	今後は参加者数が増えるように周知・啓発を行っていきます。	継続	●	●	●	●		

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲		関連する取組み分野		
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	子ども	女性		
66	1. 栄養・食生活	1-d. 持続可能な食	とよっぴー展	公園みど推進課、NPO法人とよなかも民環境会議アジェンダ21・花と緑のネットワークとよなかも	堆肥「とよっぴー」の製造に関するパネル展示や粉砕機等の農機具、給食の食べ残しなどのパンの実物展示等をしています。	来場者数	300人	233人	とよっぴー展を実施しました。	A+	今後は参加者数が増えるように周知・啓発を行っていきます。	継続	●	●	●				
67	1. 栄養・食生活	1-d. 持続可能な食	生ごみ堆肥化容器等助成	公園みど推進課、NPO法人とよなかも民環境会議アジェンダ21・花と緑のネットワークとよなかも	家庭での生ごみの堆肥化活動を支援するため、堆肥化資材の提供や容器等の購入費の助成をしています。	—	—	ダンボール資材：48人 密閉バケツ：1人 コンポスト：2人	生ごみ堆肥化容器等の助成をしました。	A+	継続して実施していきます。	継続	●	●	●				
68	1. 栄養・食生活	1-d. 持続可能な食	堆肥「とよっぴー」使用野菜等の学校等給食提供	公園みど推進課、NPO法人とよなかも民環境会議アジェンダ21・花と緑のネットワークとよなかも	豊中市内の農家の協力をいただき、市で製造した堆肥「とよっぴー」を使って育てた米や野菜を小学校等の給食に提供することで、資源循環の啓発及び地産地消の取組みを推進しています。	—	—	69回 4種類	とよっぴーを使った野菜などを学校給食に使用しました。	A+	継続して実施していきます。	継続	●			●			
69	1. 栄養・食生活	1-d. 持続可能な食	絵本「きょうのきゅうしょくにかな」の活用	家庭ごみ事業課	小学校給食の食べ残しを減らし、食べ物を大切にして欲しいという願いをこめて職員が作成しました。 なぜ食べ物を残すとダメなのかを、身近な野菜や子どもたちを登場させることで、感情移入しやすく、言葉は全てひらがなを使用しているので理解しやすい内容になっています。	すべての公立こども園	すべての公立こども園	すべての公立こども園(24園)に環境学習の案内を送付。令和6年度は18園で実施することができましたが、すべてのこども園で環境学習を実施することを目標にしています。	【室内編】では絵本「きょうのきゅうしょくな～にかな」を活用した学習を行います。 【屋外編】ではごみ収集車の乗車体験や収集体験などを実施しています。	A+	幼少期の環境学習は、食に関する内容を理解してもらえる最適な時期だと考えています。食べ残しをしないことが、食品ロス削減に繋がるという内容をよりわかり易く伝えて行けるよう今後も取組んで行きます。	継続	●				●		
70	1. 栄養・食生活	1-d. 持続可能な食	とよっぴー(生ごみ・剪定枝堆肥)で作った市内農作物を給食食材として使用する「食のリサイクル」の取組み	学校給食課	とよっぴー(給食から出る生ごみ・剪定枝堆肥)で作った市内農作物を給食で使用しています。	—	—	豊中市立小学校・義務教育学校(前期課程)39校の給食で市内農産物を使用した給食提供を行いました。	③と同様	B	次年度も継続して使用します。	継続	●			●			

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲	関連する取組み分野			
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	こども	女性		
71	1. 栄養・食生活	1-d. 持続可能な食	コラボ朝市	地域連携課 産業振興課	市内農業者の協力を得て、豊中市産野菜等の直売会を毎月第3水曜日に開催しています。	人数	1,000人	1,336人	市内農業者の協力を得て、地産地消を通して、市民交流の場づくりと千里地域の賑わいづくりに向けた取り組みの一つとして、豊中市産野菜等の直売会を毎月第3水曜日に開催しました。	A	既に昨年度よりも来場者は多くなっており、徐々に参加者数が増えていると感じます。そのこと自体は良いことだが、野菜が15分程度でかなり少なくなってしまうことは課題です。	継続	●	●	●				
72	1. 栄養・食生活	1-d. 持続可能な食	地産地消推進事業補助事業	産業振興課	安心・安全な豊中産農産物の提供による地産地消を推進します。 学校給食等に豊中産野菜の出荷、豊中産野菜の直売会を実施します。	地産地消協力者人数	65人 3団体	延べ74人 3団体	学校給食等に豊中産野菜の出荷、豊中産野菜の直売会を実施しました。	A	—	継続	●	●	●				
73	1. 栄養・食生活	1-d. 持続可能な食	農業祭	産業振興課	市民の農業に対する理解と認識を深めるとともに地産地消を広くPRします。	来場者数	3,000人	3,401人	令和6年11月23日 豊島公園多目的広場で第45回豊中市農業祭を開催しました。	A	—	継続	●	●	●				
74	1. 栄養・食生活	1-d. 持続可能な食	市民農園	産業振興課	市民が土に親しみ余暇を楽しむ場を提供します。 土に触れ花や野菜を育てることでこころの健康にもつながります。	利用者の満足度	75%	69%	19農園 735区画で実施	B	市民農園は定員を超える申し込みがあり、市民の利用ニーズは高いが、農園開設者の高齢化等の理由で、市民農園は減少傾向にあります。市民農園の開設者側への運営支援を行い、区画数の充足と、利用者の満足度の向上を目指す取り組みを進めています。	継続	●	●	●			7-a	
75	1. 栄養・食生活	1-d. 持続可能な食	市民農業体験	産業振興課	市民にさつまいもやたまねぎを栽培する機会を提供することにより、豊中での「農のある暮らし」を実感してもらい、農業への理解を深めるとともに、都市農業・食育の啓発をはかっています。	参加人数	120人	138人	・5月から10月 さつまいも栽培体験（20世帯 79人） ・11月から3月 たまねぎ栽培体験（20世帯 59人）	A	より多くの方に参加してもらえる機会を増やせるよう、開催場所や開催内容を見直し充実を図っていきます。	継続	●	●	●				
76	1. 栄養・食生活	1-d. 持続可能な食	豊中市農業経営者協議会との協働による都市農業の振興	産業振興課	①部会ごとに事業を実施しています。 ○指導者部会－協議会の基本事項等について協議。 ○研究部会－豊中まつり、農業祭において新鮮野菜を安価で販売。市民農園技術指導、栽培講習会等を実施。 ②上記事業を実施している協議会との連携・協働による地産地消の推進、都市農業・食育の啓発を行っています。	活動回数	10回	18回	・学校給食副食用野菜の出荷 16農家 ・市民農園の技術指導 令和6年4月21日（日）9農園で実施 ・農業祭、ふれあい緑地フェスティバル、定期開催朝市9か所における豊中市産野菜の直売 ・農業先進地技術交換会 令和6年12月3日（火）実施 行先：岩津ねぎ栽培地 兵庫県朝来市（参加者39名）	A	協力農家を増やし、より活発に活動していくことが課題です。協議会とのより密な連携をめざします。	継続	●	●	●				

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲		関連する取組み分野
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	子ども	女性
77	2. 身体活動・運動	2-a. 日常生活で体を動かしたり、習慣的に運動・スポーツをする人を増やす	スポーツの日（体育の日）の事業	スポーツ振興課	スポーツの日（体育の日）の事業において、健康啓発等を実施しています。	参加人数	55人	140人	市民140名が参加し、新体力テストを行いました。	A	参加のきっかけを整理し、引き続き参加人数の確保に努めます。	継続	●	●	●		
78	2. 身体活動・運動	2-a. 日常生活で体を動かしたり、習慣的に運動・スポーツをする人を増やす	生涯スポーツ振興事業	スポーツ振興課	市民大会・後援事業の支援・生涯スポーツ推進事業などを通して生涯スポーツの振興を図ります。また、だれでもどこでもできるラジオ体操とウォーキングの普及に努めます。	市民大会の参加人数	11,300人	11,499人	年間を通じて、市民大会、指導者・審判養成講習会、生涯スポーツ推進事業等の各種事業を実施しました。	A	幅広く市民に参加してもらえるよう、引き続き広報誌・市HP等での周知を行います。	継続	●	●	●		
79	2. 身体活動・運動	2-a. 日常生活で体を動かしたり、習慣的に運動・スポーツをする人を増やす	地域スポーツの振興	スポーツ振興課	ニュースポーツデーや軽スポーツ教室の実施によるニュースポーツの普及および小学校区スポーツ振興会・総合型スポーツクラブの支援など、地域におけるスポーツの推進を図ります。	ニュースポーツデーの参加人数	520人	705人	ニュースポーツ普及のため、ニュースポーツデーと軽スポーツ教室を実施しました。	A	地域によって参加人数のばらつきがあるため、広域的にニュースポーツを普及する仕組みを作ります。	継続	●	●	●		
80	2. 身体活動・運動	2-a. 日常生活で体を動かしたり、習慣的に運動・スポーツをする人を増やす	国内・国際スポーツ大会の参加奨励事業	スポーツ振興課	国際・国内スポーツ大会に参加奨励することにより、スポーツの振興を図ります。	支給件数	120件	131件	大会出場者からの申込みにより、報奨金を支給しました。 (個人:124人、団体:7団体)	A	令和5年度より支給実績を市HPで公表したことで申込み件数は増加傾向にあります。次年度以降、引き続き同様の方針で周知を行います。	継続	●	●	●		
81	2. 身体活動・運動	2-a. 日常生活で体を動かしたり、習慣的に運動・スポーツをする人を増やす	スポーツ推進審議会	スポーツ振興課	豊中市の社会体育の現状と問題点をふまえ、生涯スポーツを実践できる方策について審議を行います。	開催回数	2回	2回	審議会を2回開催し、「社会体育団体補助金」、「第2期豊中市スポーツ推進計画に基づく令和5年度(2023年度)の取り組み」等の案件について、市長から諮詢し、答申を受けました。	A	引き続き、第2期スポーツ推進計画に掲げた目標達成に向けて審議します。	継続	●	●	●		

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲	関連する取組み分野		
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	子ども	女性	
82	2. 身体活動 ・運動	2-a. 日常生活で体を動かしたり、習慣的に運動・スポーツをする人を増やす	スポーツ団体の支援と指導者の育成・確保	スポーツ振興課	・スポーツ団体を支援し、また指導者を育成・確保することにより、生涯スポーツの振興を図ります。 ・大阪府総合体育大会に豊中市の代表選手を派遣することで生涯スポーツの振興に寄与します。	大阪府総合体育大会への派遣人数	350人	360人	・スポーツ推進委員研修会、スポーツ団体への事業補助金交付を行いました。 ・大阪府総合体育大会に豊中の代表選手を派遣することで生涯スポーツの振興に寄与しました。	A	社会体育団体による生涯スポーツの振興を目指し、引き続き研修会等の開催を検討します。	継続	●	●	●			
83	2. 身体活動 ・運動	2-a. 日常生活で体を動かしたり、習慣的に運動・スポーツをする人を増やす	身体活動イベント	健康推進課	なわとびやバスケットボールを使用したイベントを実施し、市民に健康への関心を高めてもらうとともに、フレイル等についての知識の周知およびフレイルの認知度を高めます。	参加組数	140組	128組	親子でエクササイズイベントを1/13(月)と2/11(火)に実施し、健康教育及び運動講座(なわとび編3回・バスケ編1回)を実施しました。	A'	令和6年度からは新たにバスケ編を創設したところ、バスケ編の第一希望の割合は27%と2番目に好評だったので、引き続きなわとびとバスケットを含めた他の協議の可能性も模索していきながら、運動を通じたフレイルについての知識の周知およびフレイルの認知度の向上に努めています。	継続	●	●	●	●	●	6-c
84	2. 身体活動 ・運動	2-a. 日常生活で体を動かしたり、習慣的に運動・スポーツをする人を増やす	健康づくり支援事業補助金	健康推進課	市民に運動をはじめるきっかけを提供する事業に対して補助金を交付します。	延べ参加人数	2,000人	1,922人	補助金の交付のほか、「無料運動講座」として、HP、チラシ、SNS等を活用した広報周知を行いました。	A'	交付決定団体の聞き取りによると、集客を課題にする団体が多かったため、引き続き各事業の周知強化を図ります。	継続	●	●		●		6-c
85	2. 身体活動 ・運動	2-a. 日常生活で体を動かしたり、習慣的に運動・スポーツをする人を増やす	よなか健康出張セミナー	健康推進課	市民の希望する地域に専門講師を派遣(運動編はコナミスポーツ、栄養・口腔編は大阪府社会福祉事業団に委託)し、フレイル予防および運動不足の解消や健康づくりの支援を目的としたセミナーを実施します。	人数	400人	580人	【運動編】は主に6つのメニューから、【栄養・口腔編】は主にそれぞれ2つのメニューから選択してもらい、申込者の実施希望場所に赴いて実施しました。	A	フレイル傾向にある参加者が多いため、引き続きフレイルに関する普及啓発、アプローチを実施していきます。リピーターもいるため、続けて利用したいと思ってもらえるような内容の充実をはかっていきたいです。	継続	●	●		●		6-c
86	2. 身体活動 ・運動	2-a. 日常生活で体を動かしたり、習慣的に運動・スポーツをする人を増やす	健康マイレージ事業 (おおさか健活アプリ「アスマイル」)	健康推進課 保険給付課	大阪府が実施する健活サポートアプリ事業です。健康管理をサポートするほか、特典の当たる抽選を実施し、市民の主体的な健活活動を促します。	登録者数	18,000人	17,925人	市民や医療機関向けにチラシ配布を実施しました。 ・特定健診受診券送付時 ・母子健康手帳交付時 ・年度末発送(医療機関宛) 市HPにて各種キャンペーンの周知を実施しました。	A'	現行アプリでの運用継続について注視し、適宜市民へ周知します。	縮小	●	●	●			6-b

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲	関連する取組み分野		
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	子ども	女性	
87	2. 身体活動・運動	2-a. 日常生活で体を動かしたり、習慣的に運動・スポーツをする人を増やす	「ミュージック・ケアで心と体をリフレッシュ」	地域連携課	千里文化センター公民連携事業として、市民活動団体等と共に催して実施しました。音楽を楽しみながら、歌ったり、体を動かしたりして、心と体をリフレッシュします。	人数	60人	47人	千里文化センター「コラボ」において、市民活動団体・事業者などと連携して事業を実施することにより、地域課題の解消や地域の賑わいづくりを推進します。	A	事業内容を具体的にPRすることが課題だと思う。端的に言うと、なにをやっているのかわかりにくい事業だと思います。提案団体との調整が必要だと思います。	継続	●	●	●			
88	2. 身体活動・運動	2-a. 日常生活で体を動かしたり、習慣的に運動・スポーツをする人を増やす	健康づくりに関する講習会	豊中市社会福祉協議会	講師を招いて講習会を開催し、健康づくりに関して学ぶ機会をつくっています。	人数	30人/回	モルック体験会：48人 健康づくりチャレンジ講座：23人	モルック体験会は、府老人クラブ連合会の協力を得て実施しました。健康づくりチャレンジ講座では、老人クラブの会員を講師に招き、介護予防に資する内容を互いに学び合う機会を作ることが出来ました。	A	府老人クラブ連合会と連携しながら、高齢者の健康に資する内容の講座を開催していきます。	継続			●			
89	2. 身体活動・運動	2-a. 日常生活で体を動かしたり、習慣的に運動・スポーツをする人を増やす	レクリエーション大会	豊中市社会福祉協議会	体操・ゲーム等のレクリエーションを行い、介護予防活動の機会として活用を図ります。	人数	100人	高齢者レクリエーション大会：141人	レクリエーション推進員やコナミスポーツ株式会社と連携し、準備体操・ニュースポーツ体験会・民謡等の多彩なプログラムを提供し、高齢者の介護予防に資する機会の提供に務めました。	A	引き続き他団体と連携しながら、より多彩なプログラムを提供できるように務めたいと考えています。	継続	●	●				
90	2. 身体活動・運動	2-b. 運動やスポーツを習慣的に行う子どもを増やす	体力向上推進事業	学校教育課	「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」、「小学生体力づくり事業」の実施などにより、児童・生徒の体力向上を図ります。	「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」で「運動やスポーツが好き」と答えた児童生徒の割合	100%	児童：87.75% 生徒：81.25%	専門的な指導力を備えた指導者派遣の実施	A'	・指導者派遣の拡大 ・運動やスポーツが好きと答えた児童生徒が令和5年度と比較して増加している。引き続き増加するように体力向上事業に関する施策を継続実施します。	継続	●			●		
91	2. 身体活動・運動	2-b. 運動やスポーツを習慣的に行う子どもを増やす	運動部活動指導協力者派遣事業	学校教育課	中学校の運動部活動に専門的技能と指導性を備えた人材を派遣し、部活動の活性化と充実を図ります。	部活動指導協力者の派遣回数	前年度比派遣回数增加	2,931回	部活動指導協力者の派遣	A'	部活動指導協力者の継続的な派遣	継続	●			●		

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲		関連する取組み分野
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	子ども	女性
92	2. 身体活動 ・運動	2-b. 運動やスポーツを習慣的に行う子どもを増やす	とよなか地域子ども教室	学び育ち支援課	各小学校区単位で実行委員会を設置し、週1回程度、土日などの休日や放課後に子どもたちが地域の大人と交流しながら、学習やスポーツ、文化活動など地域の特性を活かした取組みを行っています。 放課後子ども総合プランに基づき、放課後こどもクラブと連携し、子どもの居場所づくりの充実に取り組みます。	参加児童数	39,000人	36,678人	各校区の実行委員会が様々なメニューの教室を実施しました。	B	参加児童数がコロナ禍前の水準に戻っていません。 学校を通じ、教室の開催状況についての周知を徹底します。 学校運営協議会の場当を活用し、担い手の発掘・確保に努めます。	継続	●	●	●	●	7-a
93	2. 身体活動 ・運動	2-b. 運動やスポーツを習慣的に行う子どもを増やす	心と体の音楽遊び	地域連携課	心身の発達を促す音楽療法「ミュージックケア」を使い3歳未満の親子を対象に様々な道具を用いて歌に合わせて体を動かす遊びを行います。	人数	180人	129人	ミュージック・ケアを通じて音楽の特性の一部を利用し、子どもの持っている力を最大限に発揮させ、発達の援助を行います。また、親子で過ごす時間と居場所を提供することで、心身のリフレッシュを図ります。	A	おおむね来た方全員に満足いただけています。 音楽遊びでの要である音楽が飛んでしまったり音源の転換が遅かったりと気になったことがあります。出来るのであれば講師がスピーカーを用意しているため、毎回使う曲をきちんと決めておき、携帯等からBluetoothで接続して流せば解決する問題のように思います。 次年度は今年度同様継続する予定です。	継続	●	●	●	●	
94	2. 身体活動 ・運動	2-c. 運動に親しむための環境づくり・歩きたくなるまちづくり	歩道改良整備	基盤整備課	「歩道改良実施計画（令和3年度改訂版）」に基づき、市内の主要な道路において計画的、効率的に歩道改良整備を実施します。	改良長さ(m)	1,691m	1,691m	計画に基づき、歩道の段差・横断・勾配等の改善を図りました。	A	計画に基づき、引き続き歩道改良を実施します。	継続	●	●	●	●	
95	2. 身体活動 ・運動	2-c. 運動に親しむための環境づくり・歩きたくなるまちづくり	スポーツ施設情報システムの運用	スポーツ振興課	スポーツ施設利用の利便性を図るため、システム（インターネット等）を利用して、利用申込みを行います。	延利用件数	2,000,000件	2,112,224件	体育施設利用者の申込みをオンライン化しています。	A	引き続きシステムを運営し、スポーツ施設利用の利便性を図ります。	継続	●	●	●	●	2-a
96	2. 身体活動 ・運動	2-c. 運動に親しむための環境づくり・歩きたくなるまちづくり	体育施設運営管理	スポーツ振興課	体育施設の運営管理を指定管理者制度を導入し行います。	定例運営会議の回数	8回	8回	指定管理者の評価・点検、各種調整業務等を行いました。	A	引き続き、指定管理制度を導入し、体育施設の運営管理に努めます。	継続	●	●	●	●	2-a

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲		関連する取組み分野
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	子ども	女性
97	2. 身体活動 ・運動	2-c. 運動に親しむための環境づくり・歩きたくなるまちづくり	安全安心対策事業	公園みどり推進課	公園施設のバリアフリー化及び改築・更新を行います。	公園数	9公園	9公園	9公園にてバリアフリーに配慮した園路改修や水飲みの置換え、遊具更新を行いました。	A	継続して、公園施設のバリアフリー化及び改築・更新を実施していきます。	継続	●	●	●		
98	2. 身体活動 ・運動	2-c. 運動に親しむための環境づくり・歩きたくなるまちづくり	公園整備・小改良事業	公園みどり推進課	公園施設の改修を行います。	公園数	8公園	8公園	8公園にて施設の改修等を行いました。	A	継続して、公園施設の改修を実施していきます。	継続	●	●	●		
99	2. 身体活動 ・運動	2-c. 運動に親しむための環境づくり・歩きたくなるまちづくり	公園維持管理事業	公園みどり推進課	公園樹木の剪定、除草など公園の維持管理を行います。	公園数	478公園	478公園	公園樹木の剪定、除草など公園の維持管理を行いました。	A	継続して、公園維持管理を行っていきます。	継続	●	●	●		
100	2. 身体活動 ・運動	2-c. 運動に親しむための環境づくり・歩きたくなるまちづくり	開発許可制度	公園みどり推進課	開発事業者と帰属公園設置についての協議を行います。	—	—	開発許可により新規に設置された公園はありませんでした。	開発許可により新規に設置された公園はありませんでした。	A	新規の開発案件について、開発事業者と協議を行っていきます。	継続	●	●	●		
101	2. 身体活動 ・運動	2-c. 運動に親しむための環境づくり・歩きたくなるまちづくり	ふれあい緑地主催事業	公園みどり推進課	たくさんの市民の方に「ふれあい緑地」の存在を知り、愛着を持っていただくことで、ふれあい緑地を拠点とした地域の活性化・地域コミュニティの再生を図り、イベントなどの開催により、憩いの場を提供するものです。	参加者数	1,500 (No. 243.24 4と併せて)	51回 2,400人	自然環境啓発イベントを実施しました。	A	継続して実施していきます。	継続	●	●	●		
102	2. 身体活動 ・運動	2-c. 運動に親しむための環境づくり・歩きたくなるまちづくり	花畠開放	産業振興課	市内の農地にレンゲの種をまき、開花時に市民が自然とふれあう場の提供及び小学校等の体験学習の場としてレンゲ畠を開放しています。	参加人数	900人	1,066人	延べ 17 団体 1,066人が参加しました。	A		継続	●	●	●		

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲	関連する取組み分野			
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	こども	女性		
103	2. 身体活動 ・運動	2-c. 運動に親しむための環境づくり・歩きたくなるまちづくり	スポーツに親しめる環境の整備	学校施設管理課	学校体育施設を開放することにより、生涯スポーツの振興を図ります。	—	—	学校教育に支障のない範囲で学校のグラウンド及び体育館の開放を実施しました。	学校教育に支障のない範囲で学校のグラウンド及び体育館の開放を実施しました。	A	引き続き、学校教育に支障のない範囲で学校のグラウンド及び体育館の開放を実施します。	継続	●	●	●			2-b	
104	2. 身体活動 ・運動	2-c. 運動に親しむための環境づくり・歩きたくなるまちづくり	螢池北青少年運動広場施設運営	社会教育課	青少年のスポーツ及びレクリエーション活動の促進、青少年を中心とした交流の機会を提供します。	利用回数及び利用者数	利用回数：280回 利用者：15,000人	独占使用の承認を行いました。 ・利用回数：261回 ・利用者数：14,348人	青少年のスポーツ及びレクリエーション活動の促進、青少年を中心とした交流の機会を提供しました。	B	施設の老朽化していることが課題です。 引き続き、青少年のスポーツ及びレクリエーション活動の場を提供していきます。	継続	●			●			
105	3. たばこ	3-a. 喫煙をやめたい人がやめられる、周囲の人々に吸わせない	市内禁煙治療・禁煙サポート実施医療機関調査	健康推進課	禁煙治療・禁煙サポートを実施する市内の医療機関情報を提供し、喫煙者の減少ひいては禁煙環境の整備を推進します。	受診者数	112人	124人	・禁煙治療の実施状況について確認するアンケート調査を実施し、掲載の許可をいただけた医療機関をリスト化して市HPへ掲載しました。 ・市HP掲載の禁煙治療実施医療機関へ禁煙支援ノベルティの配布を行いました。	A	喫煙をやめたい人を禁煙治療実施医療機関の受診へ確実につなげるようになります。	継続	●	●					6-b
106	3. たばこ	3-b. 特に健康への影響が高い人（20歳未満、妊娠婦など）が喫煙をしない	たばこの健康教育	保健安全課	小中学校での喫煙防止教育を実施します。	—	—	講師派遣依頼無し	—	A	学校薬剤師等が主に当該教育を実施しているため、必要に応じて資料等を提供することで協力していきます。	継続	●			●			
107	3. たばこ	3-c. 受動喫煙のないまちづくり	路上喫煙対策推進事業	美化推進課	路上喫煙禁止区域において、周りの人に迷惑となる路上喫煙を防止し、安全・快適な生活環境の確保を推進します。	①路上喫煙禁止区域の巡回数	180回	193回 (指導回数378回)	市内11駅周辺の路上喫煙禁止区域の巡回パトロールを行い、喫煙者に対して分煙所内にて喫煙するよう指導とともに、路上喫煙禁止区域の周知啓発を行いました。	A	路上喫煙禁止区域巡回パトロールの実施や灰皿清掃及周辺の清掃を行い、たばこの吸い殻やポイ捨てなどは減少している。1回あたりの指導人数は低減傾向にあるため、今後も路上喫煙禁止区域内の巡回を継続していきます。	継続	●	●	●				
108	3. たばこ	3-c. 受動喫煙のないまちづくり	受動喫煙に関する普及啓発・禁煙表示の推進	健康推進課	受動喫煙による健康への悪影響に関する啓発活動や、学校・医療機関・官公庁施設・民間施設等での禁煙化および禁煙表示を推進します。	—	—	—	・X(旧twitter)による健康影響に関する周知啓発を4回行いました。 ・市管理施設における敷地内全面禁煙（市以外のものが管理する施設との共用部分がある施設を除く）を達成しました。 ・健康危機対策課食品衛生係の協力のもと、禁煙店に禁煙標識を配布しました。 ・美化推進課の協力のもと、全てのこども園・小中学校において受動喫煙防止対策横断幕の設置が完了しました。	A	・大阪府受動喫煙防止条例の努力義務である禁煙標識を、禁煙の飲食店全てに掲示していただけるよう周知啓発します。 ・こども園・小中学校周辺での喫煙に関する苦情があるため、引き続き周知啓発します。	継続	●	●	●				6-b

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲	関連する取組み分野			
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	こども	女性		
109	3. たばこ	3-c. 受動喫煙のないまちづくり	たばこ施策推進会議	健康推進課	たばこに関する様々な問題解決を目的とし、全庁的なたばこ施策について総合的かつ効果的に推進します。	—	—	1回	全庁的なたばこ施策について総合的かつ効果的に推進するための情報交換や意見交換を行いました。	A	問題の即時解決のため、年度内1回の開催から必要であれば複数回の開催に変更します。	継続	●	●	●			6-b	
110	4. アルコール・薬物	4-b. 特に健康への影響が高い人（20歳未満、妊娠婦など）が飲酒をしない	アルコールの健康教育	保健安全課	小中学校での飲酒防止教育を実施します。	—	—	講師派遣依頼無し	—	A	学校薬剤師等が主に当該教育を実施しているため、必要に応じて資料等を提供することで協力していきます。	継続	●			●			
111	4. アルコール・薬物	4-c. 薬物乱用、くすりの不適切な使用をなくす	薬物乱用防止啓発事業	保健安全課	学校での薬物乱用防止教室の開催、健康展など地域のイベントにおける普及啓発を実施します。	—	—	●薬物乱用防止教室 実施回数：4回、参加者：121人 ●市役所第二庁舎で、市販薬によるオーバードーズ対策及び薬物乱用防止啓発に関する口演、健康展など地域のイベントにおける普及啓発を実施しました。 ●市内高校と協働で啓発用クリアファイルを作成し、全市立中学校の3年生を対象に配布し、啓発を行いました。	学校での薬物乱用防止教室の開催、健康展など地域のイベントにおける普及啓発を実施しました。	A	市販薬によるオーバードーズについては、使用者だけではなく、薬局等医薬品販売店における濫用等のおそれのある医薬品の販売方法徹底のため、販売店を対象とした啓発も実施していきます。	継続	●	●	●	●			
112	4. アルコール・薬物	4-c. 薬物乱用、くすりの不適切な使用をなくす	お薬講座	保健安全課	お薬講座や地域での出前講座等を通じ、市民に薬の正しい知識の普及を図ります。	—	—	●正しい薬の使い方（出前講座） 実施回数：2回、参加者：36人 ●薬と健康について（街頭キヤンペーン） 実施数：1回	お薬講座や地域での出前講座等を通じ、市民に薬の正しい知識の普及を図りました。	A	市販薬によるオーバードーズ等、医薬品による有害事象等を未然に防止するため、医薬品の適正使用に関する市民啓発や医療機関への情報提供を行っていきます。	継続	●	●	●				
113	5. 歯や口の健康	5-a. むし歯のない子どもを増やす	すくすくよい歯の教室	おやこ保健課	生後8~1歳5ヶ月後の乳幼児（の保護者）を対象に、乳幼児期の歯科保健に関する知識の普及、啓発を行います。	人数	—	実施回数：23回 参加者数：191人（オンライン開催含む）	歯科衛生士による個別歯科相談を実施しました。	A	相談ができる場所として参加される方が多いため、引き続き個別相談を実施していきます。	継続	●			●			
114	5. 歯や口の健康	5-a. むし歯のない子どもを増やす	よい歯のコンクール	(一社)豊中市歯科医師会	大阪府主催の「全大阪よい歯のコンクール」の地区審査会をおやこ保健課と協力し、3歳半健診を受診した幼児と保護者を対象にコンクールを実施しています。	—	—		昨年と同様の規模にて実施できました。	A	今後も同様に実施したいです。	継続	●	●		●			
115	5. 歯や口の健康	5-a. むし歯のない子どもを増やす	小学校歯の保健巡回指導	(一社)豊中市歯科医師会	児童が歯の健康に関する知識と関心をもち、歯の健康の維持と病気の予防を実践できる能力を身につけることを目的とし、歯科衛生士専門学校の協力のもと、2年サイクルで市立全小学校に保健巡回指導を実施しています。	校数	21校	21校		5年ぶりの実施となりましたが、従来どおりの校数・内容で実施できました。	A	今後も同様に実施したいです。	拡充	●					

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲	関連する取組み分野	
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	子ども	女性
116	5. 齒や口の健康	5-a. むし歯のない子どもを増やす	食育コラボみんなでは・は・は(子どもをとりまく読書環境整備の取組み)	読書振興課	図書館職員による読み聞かせと歯科衛生士による子どもの歯の健康に関するお話をを行う「食育コラボ～みんなでは・は・は」など、子どもの歯や口の健康に関する事業を実施しています。図書館職員による関連本の紹介・展示も行います。	講座実施回数(回)	食育コラボみんなでは・は・は:7館	食育コラボ みんなでは・は・は:6回	絵本の読み聞かせとおやこ保健課から歯科衛生士をまねいて、乳幼児の口や歯の健康についての講話と質疑応答を行う「食育コラボ みんなでは・は・は」を開催しました(東豊中、岡町、高川、庄内、服部、野畠図書館各1回)。	A	次年度も「食育コラボ みんなでは・は・は」を行い、歯科衛生の観点から食育を推進するとともに、図書館の利用促進を図っていきたいです。	継続	●		●		6-f
117	5. 齒や口の健康	5-b. 歯周病を有する人を減らす	NATS でいい歯プロジェクト	健康推進課	西宮市、尼崎市、豊中市、吹田市の4市の歯科衛生士を中心とする歯科保健担当者が連携し、4市の市民がいつまでも健口に食事や会話を楽しみ、心豊かな生活が送れるように取組みを展開していきます。	—	—	NATS でいい歯プロジェクト連絡会開催5回	・防災ショート動画を作成し、9/1の防災の日に4市一斉に各市HPにアップしました。 ・防災リーフレットを作成し各イベント等で配布しました。 ・防災をテーマとした吹田市の講演会を4市で配信しました。	A'	フロスを啓発する動画や、防災ショート動画、各リーフレット等を作成しましたが、それらを評価する方法を検討し、今後の展開を考えています。	継続	●	●	●		5-a
118	5. 齒や口の健康	5-b. 歯周病を有する人を減らす	よなか市民健康展	(一社)豊中市歯科医師会	豊中市医師会・豊中市薬剤師会とともに主催しています。歯科ブースではお口と体の健康について啓発を行っています。	人数	500人	508	歯科ブースでは新たなコーナーを増やし、多数の方に体験いただきました。	A	今後もさらに工夫したいです。	拡充	●	●	●		5-c
119	5. 齒や口の健康	5-c. 口の機能を正しく獲得し保持できる人を増やす	「歯や口の健康づくり教室」	健康推進課	65歳以上の市民を対象に、歯や口の健康づくりについて学びます。口腔細菌の菌数測定や、口腔機能を検査や機器で調べます。歯周病やオーラルフレイルについての指導や、集団での口腔機能訓練を兼ねた音楽療法等を行います。	①すべての口腔機能の改善率 ②オーラルフレイルの認知度	①30%以上 ②言葉も内容も知っている群が40%以上	①各機能の改善率は、咀嚼26.1%、嚥下39.1%、口唇56.5%、前舌52.2%、奥舌56.5% ②オーラルフレイルの言葉も内容も知っている群が38.6%	・口腔機能が低下していると判断された市民に対し、口腔検査や指導を行い、機能回復や歯科疾患の重症化予防のための生活習慣の改善につなげました。 ・受講者に歯周病やむし歯の進行、口腔機能の低下予防に対する意識づけを行い、定期的な健康診査の受診等を勧奨しました。	A'	ハイリスク者である対象者の2回目の受講率が低いため、1回目の保健指導時に2回目受講勧奨を行います。	継続			●		5-a 5-b 5-d

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲	関連する取組み分野		
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	子ども	女性	
120	5.歯や口の健康	5-c. 口の機能を正しく獲得し保持できる人を増やす	通いの場へのオーラルフレイル教育	健康推進課	とよなかパワーアップ体操 自主グループを対象に歯科衛生士が出向き、オーラルフレイルの知識や予防対策について広く周知していきます。	オーラルフレイルの認知度	5 言葉も内容も知っている群が50%以上	①31 グループ、278 人に実施 ②オーラルフレイルの言葉も内容も知っている群が 42.8%	・自主グループ宛てに希望を募り、希望のあった自主グループに歯科衛生士が出席して、オーラルフレイルに関する説明や予防方法などを講話、実習しました。 ・更に、受講者が得た知識の普及啓発を各自のコミュニティで展開しました。	A	引き続きオーラルフレイルの周知と啓発に努めるとともに、自覚の少ないオーラルフレイルに気づく機会の拡大に努めます。	新規		●				5-a 5-b 5-d
121	5.歯や口の健康	5-d. かかりつけ歯科医をもち、定期的な歯科健診を受ける人を増やす	歯科健康診査・妊産婦歯科健康診査	健康推進課	市民に対し、歯科医院などで歯科健康診査を実施しています。	①歯科健診受診率 ②妊産婦歯科健康診査受診率	①一 ②40%	①3.6% ②30.7%	豊中市歯科医師会等と委託契約を締結し、医療機関での個別健診を実施しました。 未受診勧奨の個別通知、SNS やチラシを用いた啓発を実施しました。	A'	引き続き個別健診や受診勧奨を実施します。未受診勧奨については、R6 年度の評価・分析を実施し、評価内容を活用した通知発送を実施します。	継続	●	●	●	●	6-b	
122	5.歯や口の健康	5-d. かかりつけ歯科医をもち、定期的な歯科健診を受ける人を増やす	よい歯の高齢者 8020 表彰	(一社)豊中市歯科医師会	80 才以上で 20 本以上自分の歯がある市民を表彰しています。	—	—	応募者 201 名	今年も多数のご応募をいただき、表彰は式典と郵送によっておこないました。	A	今後も同様に実施したいです。	継続		●				
123	6.疾病予防・健康管理	6-a. けんしんを受け、自分の健康状態について把握している人を増やす	就学時健康診断	学務保健課	就学予定者の心身の状況を把握し、入学後の学校生活の円滑な実施に資するため、就学時の健康診断を実施します。	受診率	100%	98.7%	承諾のあった対象者については、就学前施設での定期健康診断の結果を活用しました。未就園児や希望者等については、計 8 回の集団健診を実施しました。未受診者には市立豊中病院で健診を実施しました。	A	令和 2 年度より感染症予防対策の一環として就学前施設での健康診断結果について提供を受けていましたが、団体との協議の結果、令和 7 年度より提供を受けないこととなりました。よって、次年度より集団健診のみとし健康診断を希望する者に対して健康診断を実施します。	継続	●		●		5-a	
124	6.疾病予防・健康管理	6-a. けんしんを受け、自分の健康状態について把握している人を増やす	児童生徒の健康管理	学務保健課	児童生徒の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資するため、毎学年定期に健康診断を実施します。	学校数	豊中市立学校全校	55 校(全校)	児童生徒の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資するため、毎学年定期に健康診断を実施しました。	A	未受診者への受診勧奨。受診可能機関の拡大。	継続	●		●		5-a	

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲	関連する取組み分野	
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	こども	女性
125	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-a.けんしんを受け、自分の健康状態について把握している人を増やす	特定健康診査・特定保健指導	健康推進課	市の国民健康保険加入者対象の健康診査および保健指導を行っています。健診の内容は市民健診と同様です。	①特定健診受診率 ②特定保健指導実施率	①35.0% ②35.0%(データヘルス計画より)	①29.3% ②21.7% (法定報告より)	豊中市医師会等と委託契約を締結し、医療機関での個別健診を実施しました。未受診勧奨通知の発送や医療機関からの未受診勧奨、国保加入窓口等でのチラシ配布を実施しました。 健診医療機関に対して特定健診結果説明時の保健指導同日実施の協力依頼の実施や、公募型プロポーザルにて次年度以降の保健指導や未利用者勧奨業務の委託業者を選定しました。	A+	引き続き特定健診及び特定保健指導に係る環境整備や受診勧奨を実施します。 特定健診未受診勧奨については、R6年度の評価・分析を実施し、評価内容を活用した通知発送を実施します。 特定保健指導については、LINEでの申し込みや、キャンピングカーの活用、オンライン面談の活用等、利用しやすい環境づくりを行います。	継続	●	●			1-b 4-a 6-b
126	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-a.けんしんを受け、自分の健康状態について把握している人を増やす	市民健康診査	健康推進課	市民への健康診査を実施しています。 (内容) 身体測定・血圧測定・尿検査・血液検査・医師診察	—	—	受診者数：2,354人	豊中市医師会等と委託契約を締結し、医療機関での個別健診を実施しました。	A+	引き続き医療機関での個別健診を実施します。	継続	●	●	●		
127	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-a.けんしんを受け、自分の健康状態について把握している人を増やす	がん検診	健康推進課	市民への各種がん検診を実施しています。 (内容) 大腸がん・胃がん・肺がん・乳がん・子宮がん・前立腺がん	—	—	【各検診受診者数】 大腸がん：22,909人 胃がん：3,782人 肺がん：15,312人 乳がん：5,961人 子宮がん：10,910人 前立腺がん：9,211人	豊中市医師会等と委託契約を締結し、医療機関での個別検診を実施しました。 個別の未受診勧奨通知の発送やけんしん会場や各種イベントでのチラシ配布等を実施しました。	A+	引き続き医療機関での個別検診や未受診勧奨通知発送、チラシ配布を実施します。 未受診勧奨通知については、R6年度の評価・分析を実施し、評価内容を活用した通知発送を実施します。	継続	●	●		●	
128	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-a.けんしんを受け、自分の健康状態について把握している人を増やす	保健事業（疾 病予防費）	保険給付課	人間ドック・脳ドックの費用の7割を助成します。 国民健康被保険者の健康の保持・増進を支援するための事業。	—	—	人間ドック：2,055件 脳ドック：115件 セット：834件	国民健康保険被保険者が受診した人間ドック・脳ドック費用の7割を助成しました。	A	次年度も継続して実施します。	継続	●	●			
129	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-a.けんしんを受け、自分の健康状態について把握している人を増やす	介護保険制度等の啓発	長寿社会政策課	介護保険制度パンフレット等の作成・配布、地域説明会の開催などにより、介護保険制度等の啓発を行います。 パンフレット「やさしい介護と予防」20,000部発行 地域説明会7回実施（205人参加）	—	—	パンフレット「やさしい介護と予防」市内公共施設に設置。 市民等に介護保険制度の内容を説明し、理解と協力を得るために開催。	「やさしい介護と予防」市内公共施設に設置。 市民等に介護保険制度の内容を説明し、理解と協力を得るために開催。	A	介護保険制度の周知をより効果的に図るために、地域説明会の開催に注力し、理解促進を強化してまいります。	継続		●			6-c

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲	関連する取組み分野		
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	こども	女性	
130	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-b. 生活習慣病を発症しない・重症化させない	被保護者健康管理支援事業	福祉事務所	生活保護受給者等で日常生活において健康管理が困難な者に対する病状の把握と、生活習慣や通院・服薬に関する助言・指導等を行うとともに、適切な制度の活用を促すことにより、被保護者の生活の質の向上と健康寿命の延伸を図ります。 令和3年1月から必須事業化された「被保護者健康管理支援事業」に基づき、生活保護受給者等への生活習慣病対策を進めます。 【ア】健診受診勧奨事業 【イ】医療機関受診勧奨事業 【ウ】保健指導 【エ】重症化予防 【オ】頻回受診対策	【ア】市民健診受診割合・各がん検診受診割合 【イ】市民健診要医療者（生活習慣病に限る）の治療開始割合 【ウ】①「こどもフェイスシート」の実施数 ②積極的支援・動機づけ支援のプログラム実施数 ③フレイルチック実施数 ④健康管理支援員による個別支援の支援目的達成割合 【エ】糖尿病重症化予防に向けたプログラム実施数 【オ】頻回受診改善割合	【ア】 市民健診：8.0%以上 【ウ】①「こどもフェイスシート」の実施数 ②積極的支援・動機づけ支援のプログラム実施数 ③フレイルチック実施数 ④健康管理支援員による個別支援の支援目的達成割合 【エ】2人 【オ】100%	【ア】 市民健診：6.8% がん検診：大腸がん 5.9% 肺がん 3.9% 胃がん 2.0% 子宮がん 6.7% 乳がん 3.1% 【イ】69.2% 【ウ】①53.5% ②3人 ③実施済、返信率 46.5% ④90.6% 【エ】3人 【オ】81.0%	【ア】 【イ】 【ウ】 【エ】 【オ】	【ア】 全世帯へ健診受診勧奨チラシを送付しました（年4回）。新規生活保護開始者へ対面等による健診受診勧奨を行いました。また、ターゲット層（30歳になる年度生まれ対象）へ詳細な受診先の紹介をした文書を送付しました。 【イ】市民健診で「要医療」となった被保護者のうち、未受診者に対して受診勧奨を実施しました。 【ウ】各ライフコースに応じた実態調査と保健指導を実施しました。 【エ】糖尿病治療中の被保護者に対して重症化予防プログラムの実施を行いました。 【オ】頻回受診者に対し、適正受診指導を行いました。	A	拡充	●	●	●	●	●	4-a 6-a 6-c 6-d 6-f
131	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-b. 生活習慣病を発症しない・重症化させない	健康教育（成人保健）	健康推進課	健康に関する講座などの教育事業です。出前講座・健康づくり推進員主催講座・老人会・地域のサロンなどに専門職（保健師・歯科衛生士・栄養士）が出向き啓発を行います。職種により健康・口腔・栄養などの内容で実施しています。	—	—	1,774人		出前講座・内臓脂肪測定会・地域のサロンなどで専門職（保健師・歯科衛生士・栄養士）が講座をひらき、予防啓発活動を行いました。	A	引き続き啓発媒体を活用しながら健康教育を実施し啓発活動を行います。	継続	●	●		1-b 4-a 5-b	
132	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-b. 生活習慣病を発症しない・重症化させない	健康相談（成人保健）	健康推進課	健康に関する相談事業です。 電話や面接などで専門職（保健師・歯科衛生士・栄養士）が相談に応じます。	—	—	4,443人		電話や面接などで専門職（保健師・歯科衛生士・栄養士）が健康に関する相談に応じました。相談内容に応じて担当部署につなぐなどして対応しました。	A	引き続き健康に関する相談に応じます。また、専門職や担当部署につなぎ対応します。	継続	●	●		1-b 5-b	
133	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-b. 生活習慣病を発症しない・重症化させない	訪問指導事業（成人保健）	健康推進課	健康に関する訪問指導事業です。 専門職（保健師・歯科衛生士・栄養士）による生活習慣病予防や介護予防などの指導を行います。	—	—	6人		専門職（保健師・歯科衛生士）が訪問し、生活習慣病予防や口腔衛生指導を行いました。	A	引き続き健康に関する訪問指導を行います。	継続	●	●		1-b 5-b	

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲		関連する取組み分野
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	子ども	女性
134	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-b. 生活習慣病を発症しない・重症化させない	糖尿病性腎症重症化予防事業	健康推進課	II型糖尿病で糖尿病性腎症病期2～3期の対象に新規透析に至らないよう病態を維持、改善できるよう主治医の指示の下、栄養指導を中心とした生活習慣改善指導や療養支援を実施しています。	指導対象候補者の指導実施率(データヘルス計画より)	16%	8.7%	II型糖尿病で腎症病期2～3期の対象者に新規透析に至らないよう病態を維持、改善できるよう主治医の指示の下、栄養指導を中心とした生活習慣改善指導や療養支援を実施しました。	A-	対象者抽出方法と参加者数に課題があります。R6年度は指導対象候補者が増えたことで、参加者が19人と微増しましたが、指導実施率が低下しました。R7年度は対象者抽出条件を精査し、参加者が増えるよう、引き続き医療機関連携・市民啓発に努めます。	継続	●	●			
135	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-b. 生活習慣病を発症しない・重症化させない	食育プラスワニシートの活用	(一社)豊中市薬剤師会	①血糖値が気になる人のためのプラスワニシート ②血圧が気になる人のためのプラスワニシート ③コレステロールが気になる人のためのプラスワニシート ④健康増進のためのプラスワニシート ①～④を市内87薬局(薬剤師会会員店舗)に設置するデジタルサイネージに掲載し、内容を閲覧した市民からの相談に薬剤師が即時対応できる体制を整えています。	即時対応	市民からの相談・アドバイスにお応えすること	デジタルサイネージを設置している87薬局では開局時間内であれば、市民はいつでもこの情報を確認することができ、必要があれば薬剤師に相談できます。	情報に接した市民がさらに具体的な相談をしたいと考えた時に、その場で薬剤師が対応しています。	A-	多くの患者様が来局されるているときにはお一人お一人への対応時間を十分にとることができない可能性がありますが引き続き即時に薬剤師に相談できるという利点を活かしていきたいと考えます。	継続	●	●			
136	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-b. 生活習慣病を発症しない・重症化させない	健康講演会	一般財団法人豊中市医療保健センター	生活習慣病やがん等、疾病や予防に関する医師等の講演を行っています。	人数	対面講演会実施回数3回 参加人数120人 オンライン講演会実施回数3回 視聴人数180人	対面講演会実施回数3回 参加人数155人 オンライン講演会実施回数3回 視聴人数2,243人	市民が医師など専門家による正しい情報を得る場を提供しています。	A	参加者の年齢層が高齢に偏っているため、幅広い年齢に参加してもらえるよう、内容の周知活動を行いたい。リピーターにとどまらず、新規受講者の拡大に繋がるよう、旬のテーマを取り上げていきたいです。	継続	●	●	●		4-a 6-c

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲	関連する取組み分野		
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	こども	女性	
137	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-b. 生活習慣病を発症しない・重症化させない	電話・面接健康相談	一般財団法人豊中市医療保健センター	(団体自主事業) 電話もしくは面接で、健康に関する相談に対応しています。相談の対応は、医師会・歯科医師会及び薬剤師会の会員が行い、食育や口腔の健康に関する内容も相談できます。 市民健康展会場での相談では、栄養相談の窓口も設けています。	件数	8 科目健康相談 実施回数 5 回 相談件数65 件 14 科目健康相談 実施回数 5 回 相談件数 41 件 14 科目健康相談 (市民健康展にて開催) 実施回数 1 回 相談件数 68 件 実施回数 1 回 相談件数 150 件	8 科目健康相談 実施回数 5 回 相談件数65 件 14 科目健康相談 実施回数 5 回 相談件数 41 件 14 科目健康相談 (市民健康展にて開催) 実施回数 1 回 相談件数 68 件	医師・歯科医師・薬剤師などの専門家が直接相談に応じます。	A+	科目によって相談件数に偏りがあるので、均等に相談してもらえるよう、チラシなどを活用し、周知・広報活動を実施していきます。リピート利用してもらえるよう、アンケートの満足度を高めていきたいです。	継続	●	●	●			1-b 5-b
138	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-b. 生活習慣病を発症しない・重症化させない	健康づくり推進員会事業	一般財団法人豊中市医療保健センター	健康講演会、校区健康教室を開催し、市民の健康に関する知識等の周知啓発活動を行っており、市が行う保健福祉等に関する事業を市民の立場から支援しています。	人数	校区健康教室 参加人数 700 人 校区健康づくりサポート事業 参加人数 5,235 人 全市事業 参加人数 3,500 人 全市事業 参加人数 200 人	校区健康教室 参加人数 753 人 校区健康づくりサポート事業 参加人数 5,235 人 全市事業 参加人数 204 人	イベントの企画・開催、各種検診の推進、校区健康教室の実施など幅広く健康に関係する活動を通じて、市民の健康管理意識の高揚と健康増進事業を行っています。	A	担い手の高齢化と後継者不足が課題であるが、座学の講演会だけでなく、大道芸人による笑いと健康を題材にした講演会など目新しい企画で、幅広い世代にアピールし、新規会員の獲得を目指します。また、保健所主催のイベント等に参加し、豊中市の健康施策に寄与します。	継続	●	●	●			1-b 2-a 6-a 7-a
139	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-b. 生活習慣病を発症しない・重症化させない	個人栄養食事指導事業	市立豊中病院栄養管理部	医師の指示による、疾病別の個人栄養食事指導を実施しています。	人数	2,370 件	1,797 件	医師の指示のもと個人に即した栄養食事指導を実施しました。	B	引き続き必要に応じて、医師の指示のもと個人に即した栄養食事指導を実施していきます。	継続	●	●	●			
140	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-b. 生活習慣病を発症しない・重症化させない	糖尿病教室	市立豊中病院栄養管理部	糖尿病の進展予防について、医師、看護師、薬剤師、臨床心理士、理学療法士、臨床検査技師と共に、糖尿病教室を5回シリーズで開催しています。	—	—	開催回数：50回、参加人数：167名	「糖尿病の食事療法」の講義を実施しました。	A	引き続き「糖尿病の食事療法」の講義を実施していきます。	継続	●	●				
141	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-b. 生活習慣病を発症しない・重症化させない	とよなか俱乐部 (糖尿病患者の会)	市立豊中病院栄養管理部	糖尿病患者会の活動を通じて、医師等と共に糖尿病の知識等の啓発を行ったり、患者間の交流の場を提供しています。	—	—	・糖尿病センターと共に糖尿病講演会(市民向け)を実施。 ・食事会(外食時の食事の調整について説明、ミニレクチャー「フットケアについて」)を実施。	総会・講演会は前年同様集合型で実施し、患者同士の交流や糖尿病への理解を深めていただきました。	A	引き続き、継続可能な事業を実施し、糖尿病への理解を深めていただけるよう活動していきます。	継続	●	●				
142	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-b. 生活習慣病を発症しない・重症化させない	糖尿病透析予防指導	市立豊中病院栄養管理部	糖尿病腎症患者に対し、透析導入を予防するためにチーム医療(医師、看護師、栄養士)で指導を行っています。	—	—	開催回数：6回、人数：12名	透析導入を予防するための食事療法について指導を実施しました。	A	引き続き透析導入を予防するための食事療法について指導を実施していきます。	継続	●	●				

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲	関連する取組み分野	
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	こども	女性
143	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-b. 生活習慣病を発症しない・重症化させない	慢性腎臓病教室	市立豊中病院栄養管理部	医師と栄養士が各々「腎臓の働きと慢性腎臓病について」「慢性腎臓病の食事療法の実際」の講義を担当しています。	—	—	開催回数：2回、参加人数：9名	「慢性腎臓病の食事療法の実際」の講義を実施しました。	A	引き続き「慢性腎臓病の食事療法の実際」の講義を実施していきます。	継続	●	●			
144	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-c. 生活機能の維持・向上	フレイル啓発事業	健康推進課	パンフレットやSNSを活用し、市民にフレイルについて周知啓発することで認知度を高め、運動・栄養・健口・つながりのフレイル予防に向けた行動変容を促します。	フレイルの認知度	35%	38%	市民向けにLINEで「健康に関するアンケート」を実施し、市民の健康意識やフレイルの認知度等についてアンケートをとった。またフレイルパンフレットやフレイルチェック票を活用しながら、イベントや健康教育等でフレイルやその予防行動について周知啓発を行いました。	A	引き続きパンフレットやSNS、フレイルチェック票を活用しながら、啓発する機会も増やしていく、更なる周知啓発に努めます。	継続	●	●	●		1-b 2-a 5-c 7-a 7-b
145	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-c. 生活機能の維持・向上	働く世代からの認知症予防事業（認知症リスク因子の予防）	健康推進課	予防可能な危険因子が中年期の難聴や高血圧、肥満など、生活習慣病や生活行動に関わることであることから、市民特に働く世代（中年期40～50代）および若年層（20～30代）に向け、認知症危険因子など認知症にかかる正しい知識を知ってもらい、リスクを軽減できるよう生活改善の方法や認知症への理解を深めてもらうとともに、健康増進への意識を高め、生活習慣の改善など行動変容を促すための効果的な周知啓発を行います。 VR（バーチャルリアリティ）機材を活用した認知症体験イベントや市民向け講演会等を実施します。	—	—	—	VR認知症体験イベントを7～12月にかけて計16回実施しました。また、11/17に、大阪大学大学院教授を招き市民向け講演会を実施しました。そのほか、市HP、SNS等で動画等を活用して周知啓発を行いました。	A	VR認知症体験イベントについては引き続き実施するとともに、より多くの市民に周知啓発できるようパンフレットの配布やSNS等を活用して周知啓発を図ります。	継続	●	●			
146	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-c. 生活機能の維持・向上	ヒアリングフレイル事業	健康推進課	ヒアリングフレイルに関する啓発、聴こえのチェックを含め予防イベントの実施、耳鼻科・補聴器専門店、言語聴覚士等関係機関と連携したフォローアップ体制の構築を進めています。	参加人数	—	主催イベント：127名 他部署ブース：200名 サポーター養成講座：27名	啓発として主催イベントを6回、他部署ブースで2回、出前講座を6回。ハイリスク者や耳鼻科から紹介の人向け脳活教室を3回。ヒアリングフレイルサポーター養成講座を1回。その他、関係機関との連携会議やワーキングチーム、研修等を実施しました。	A	ヒアリングフレイルの認知度を上げるため市民への啓発を継続。イベント等で受診勧奨をしても、耳鼻科受診や補聴器使用につながる人が少ないため、紹介状を作成し、受診率増加を目指します。 補聴器以外の聴覚支援機器の啓発も必要です。聴こえ専門STが少ないため、市主催の研修を計画しています。	継続	●	●			6-d

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲	関連する取組み分野		
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	こども	女性	
147	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-c. 生活機能の維持・向上	骨粗しょう症検査	健康推進課	40～70歳の節目年齢の女性を対象に、個別の医療機関で骨密度測定を行っています。 ○エックス線での測定 ○超音波によるかかとの測定	—	—	受診者数：1,521人 (R7.5.13時点)	豊中市医師会等と委託契約を締結し、医療機関での個別検診を実施しました。 女性のがん検診（乳がん検診、子宮がん検診）を実施している医療機関を含め、啓発ポスターの掲示を依頼しました。	A'	引き続き医療機関での個別検診や未受診勧奨通知発送を実施します。	継続	●	●	●	●	●	7-c
148	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-c. 生活機能の維持・向上	熱中症対策	健康推進課	環境省等からのポスターデータ等を活用し、暑熱順化や熱中症の予防行動等の啓発を市HPやSNS等で周知します。 また、大塚製薬と連携し、熱中症啓発ポスターを作成して公共施設等に掲示します。	—	—	—	保健所Xで熱中症予防啓発動画を計5回発信しました。保健所1階の掲示ブースで7月の間、熱中症予防にかかる啓発物を掲示しました。また熱中症特別警戒情報の新設に伴い、市HPも更新しました。ERCA主催の熱中症にかかる研修に参加しました。	A	引き続きSNSや保健所1階での周知啓発及び研修の受講を継続していきます。また環境省作成の啓発リーフレットを印刷し、夏場にかけて他事業でイベントを出展する際に啓発リーフレットの配布を依頼し、より多くの市民に熱中症予防についてアプローチできるよう努めます。	継続	●	●	●	●	●	
149	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-c. 生活機能の維持・向上	がん患者のためのアピアラنسケア助成	健康推進課	がんと診断され、がん治療を受けた又は現に治療を受けている者に対し、ウィッグや乳房補整具の購入費用について助成金を交付します。	—	—	・申請件数 (ウィッグ) 169件 (乳房補整具) 63件 ・申請金額 (ウィッグ) 3,326,470円 (乳房補整具) 1,167,581円	市HPへの掲載、チラシ・ポスターの配布(医療機関、自治会掲示等)、SNS(X、Instagram)での周知を実施しました。	A'	引き続きSNSやチラシ・ポスターでの周知啓発を継続していきます。	継続	●	●	●	●	●	
150	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-c. 生活機能の維持・向上	骨髄バンクドナー支援助成	健康推進課	骨髄又は末梢血管細胞の提供を完了した者（「ドナー」という）及びドナーが所属する事業所の事業主に対し、助成金を交付します。	—	—	・申請件数：3件 ・申請金額：420,000円	市HPへの掲載、チラシ・ポスターの配布(医療機関、自治会掲示等)、SNS(X、Instagram)での周知を実施しました。 第一庁舎1階にて骨髄バンクドナー展示会（2024.10.1～10.31）を実施しました。	A'	引き続きSNSやチラシ・ポスターでの周知啓発、10月の骨髄バンク推進月間に合わせた展示会を継続していきます。また、若年層に向けた啓発も実施します。	継続	●	●	●	●	●	
151	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-c. 生活機能の維持・向上	難病事業（個別援助）	医療支援課	難病患者等のQOLの向上のために、面接や訪問等で療養生活上の支援を行います。	—	療養相談件数 3,200件	療養相談件数：延2,839件	保健師等が訪問、面接、電話で相談に応じています。	A'	訪問、面接、電話等で難病患者の多様なニーズを把握し、個別支援の充実を図ります。	継続	●	●	●	●	●	
152	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-c. 生活機能の維持・向上	難病事業（集団援助）	医療支援課	難病患者等が疾病の正しい知識をもち、よりよい療養生活を送るために、講演会の開催や交流会の支援を行います。	—	—	4回	北ブロック保健所（池田・茨木・吹田市・高槻市・豊中市）で協力し、患者及び家族向け講演会を開催しました。	A	難病患者等が疾病の正しい知識をもち、よりよい療養生活を送るために、北ブロック保健所で協力し、講演会を開催します。	継続	●	●	●	●	●	

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲		関連する取組み分野	
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	子ども	女性	
153	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-c. 生活機能の維持・向上	難病事業（地域ケアシステムの構築）	医療支援課	医療・保健・福祉等の関係機関と、連携会議や、研修会を通して、機関相互の連携を深め、難病患者支援システムの質の向上に努めます。	—	—	・難病事業支援対策会議事務局会議：1回、難病事業検討会議：1回 ・大阪北部地域神経筋難病ネットワーク会議：1回、研修会：1回 ・医療機関連携会議：2回 ・関係機関向け研修会：2回	A	・難病事業支援対策会議事務局会議、難病事業検討会議を実施しました。 ・北部地域の保健所（池田・吹田市・豊中市）で大阪北部地域神経筋難病ネットワーク会議および研修会を開催しました。 ・医療機関との連携として、市立豊中病等と連携会議を開催しました。 ・関係機関向け研修会を2回開催しました。	関係機関との連携により医療提供体制や療養生活支援体制の充実に取り組みます。	継続	●	●	●			
154	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-c. 生活機能の維持・向上	難病事業（医療費助成）	医療支援課	指定難病等の医療費助成事業の申請受付事務を行います。	—	—	新規申請：661件 変更申請：1,011件 更新申請：3,602件	A	指定難病等の医療費助成事業の申請受付事務を行いました。	引き続き、円滑な申請受付進達業務の遂行に努めます。	継続	●	●	●			
155	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-c. 生活機能の維持・向上	地域保健医療等申請受付進達業務	医療支援課	肝炎医療費助成、石綿健康被害救済給付、被爆者援護事業に係る申請受付進達業務を行います。	—	—	肝炎医療費助成：364件 石綿健康被害救済給付：1件 被爆者健康診断受診者：第1回（6月）対象者191人中28人、第2回（10月）対象者191人中30人	A	肝炎医療費助成、石綿健康被害救済給付、被爆者援護事業に係る申請受付進達業務を行いました。	引き続き、円滑な申請受付進達業務の遂行に努めます。	継続	●	●	●			
156	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-c. 生活機能の維持・向上	自立訓練	障害福祉課	地域生活を希望する障害者が、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、身体機能又は生活能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を行います。	—	—	利用者数：延685人	A	地域生活を営むうえで必要となる身体機能、生活能力の維持・向上を図る必要がある障害者に支援決定をしました。	引き続き必要な障害者が訓練等を受けられるように支援します。	継続	●	●	●			
157	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-c. 生活機能の維持・向上	診察・看護・訓練（児童発達支援センター）	おやこ保健課	障害や発達に課題のある子どもの心身機能の医学的な見立てを行うことにより、医学的リハビリテーションの実施や専門医療機関の紹介等適切な治療につなげていきます。	—	—	毎日実施	A	診察・看護・訓練を実施しました。	引き続き事業を実施していきます。	継続	●			●		

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲	関連する取組み分野		
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	こども	女性	
158	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-c. 生活機能の維持・向上	保健事業 (保健衛生普及費)	保険給付課	被保険者に医療費をお知らせする医療費通知や、被保険者の健康増進を図るためにプールなどの公的体育施設の利用料を補助する、はつらつ健康事業等を行います。 国民健康被保険者の健康の保持・増進を支援するための事業です。	—	—	はつらつチケット交付者数：927人	国民健康保険被保険者からの申請により、はつらつチケットを交付しました。	A	次年度も継続して実施します。	継続	●	●	●			
159	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-c. 生活機能の維持・向上	重度障害者医療費助成事業	保険給付課	重度身体障害者などに対し医療費の一部を助成します。 重度身体障害者などの健康の保持及び福祉の増進を図る事業です。	—	—	件数：196,719件 助成額：767,032,546円	・申請に基づき対象者に対し医療証の交付及び医療費の助成を行いました。	A	医療費の一部を助成し、安心して医療を受ける環境を整えることにより、受診機会の多い重度障害者の経済的負担を軽減できており、今後も事業を継続します。	継続	●	●	●			
160	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-c. 生活機能の維持・向上	図書館活動・すべての人への資料提供事業	読書振興課	暮らしの課題解決支援サービスの一つとして、岡町図書館に医療・健康情報コーナーを設置し、市民の身近な施設、図書館において、医療や健康に関する情報提供を行っています。また医療や健康に関する講座、健康レクチャーを関係各課と連携し実施するとともに、関連の講座で資料の貸出やパスファインダーによる情報等を提供しています。	講座実施図書館数	認知症サポート養成講座実施図書館4館	認知症サポート養成講座実施図書館5館	認知症サポート養成講座を長寿安心課、豊中市キャラバン・メイト連絡会と共に開催しました。千里図書館・東豊中図書館・野畠図書館・庄内図書館・岡町図書館を会場に実施しました。	A	次年度も認知症センター養成講座を地域館規模の図書館（千里・野畠・庄内・岡町）をメイン会場に、前向きに実施する方向で検討したい思います。また、認知症センター養成講座に限らず、健康レクチャーを関係各課と連携して実施し、関連資料の貸出による情報提供を目指します。岡町図書館の医療・健康情報コーナーをはじめ、市内各図書館の同分野の資料の充実は、図書館の使命として最優先で取り組みます。	継続	●	●	●	●	●	7-a
161	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-d. 地域で適切に受診する人を増やす	認知症医療体制の充実・強化	医療支援課	かかりつけ医を起点として認知機能低下の気づきを早期に把握し、適時適切に介護予防・福祉サービス等切れ目のない支援につなぐ仕組みを構築します。	—	—	かかりつけ医の相談先となる認知症相談医を市内に10名配置しました。	認知症の早期発見・早期対応のため、かかりつけ医の相談先となる認知症相談医を市内に配置するなど、かかりつけ医の機能強化に向けた取組みを実施しました。	A	認知症相談医の配置に関するかかりつけ医への周知や、今後の認知症医療施策に関する関係者による意見交換会を実施します。	継続	●	●				
162	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-d. 地域で適切に受診する人を増やす	在宅医療体制の充実	医療支援課	市医師会等の関係団体と連携し、在宅でも希望した医療を受けられる体制の構築に取り組んでいます。	—	—	在宅医療に必要な連携の拠点である市と市医師会が協働し、豊中市在宅医療連携会議を開催し、持続可能な在宅医療提供体制の強化に取り組みました。	今後の医療需要増大に備え、豊中市在宅医療連携会議を開催し、持続可能な在宅医療提供体制の強化に取り組みました。	A	次年度も引き続き、豊中市在宅医療連携会議を開催し、在宅復帰・通院困難時等の新規患者受入体制の整備等に取り組みます。	拡充	●	●	●			
163	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-d. 地域で適切に受診する人を増やす	ACP 啓発事業	医療支援課	ACP 啓発のために開発したエンディングゲームを活用したイベントや出前講座を実施しました。要綱を定め、エンディングゲームの貸出しを開始しました。	—	—	ACP 啓発のために開発したエンディングゲームを活用したイベントや出前講座を実施しました。要綱を定め、エンディングゲームの貸出しを開始しました。	ACPについて気軽に話し合うきっかけとなることを目的として、エンディングゲームの貸出しや出前講座を実施します。	A	次年度も引き続き、エンディングゲームの貸出しや出前講座を実施します。	継続	●	●	●			

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲		関連する取組み分野	
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	子ども	女性	
164	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-d. 地域で適切に受診する人を増やす	地域保健等諸活動団体支援事業	保健安全課	豊中市医師会、豊中市歯科医師会、豊中市薬剤師会、豊中精神保健福祉協議会、豊中公衆衛生協力会が地域のために行う保健・医療・福祉の連携、健康教育、健康新情報の発信、会員の資質向上等の活動に係る経費の一部を補助します。	—	—	【補助実績】 豊中市医師会 7,071千円、豊中市歯科医師会 2,992千円、豊中市薬剤師会 1,109千円、豊中精神保健福祉協議会 151千円、豊中公衆衛生協力会 80千円	左記団体が地域のために行う保健・医療・福祉の連携、健康教育、健康新情報の発信、会員の資質向上等の活動に係る経費の一部について補助を行いました。	A	地域保健の向上に資するよう引き続き事業を実施します。	継続	●	●	●			
165	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-d. 地域で適切に受診する人を増やす	二次救急医療対策事業	保健安全課	豊能圏域（豊中市・吹田市・箕面市・池田市・豊能町・能勢町）における二次救急医療体制の円滑な運営および整備を図ります。	—	—	—	救急告示病院 21 病院による病院群輪番制事業を実施しました。また、救急告示病院のうち小児科を標榜する5病院による小児医療支援事業を実施しました。	A	地域医療の向上に資するよう引き続き事業を実施します。	継続	●	●	●			
166	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-d. 地域で適切に受診する人を増やす	豊能広域こども急病センター負担金	保健安全課	豊能圏域（豊中市・吹田市・箕面市・池田市・豊能町・能勢町）における休日夜間等における小児一次救急の拠点としての豊能広域こども急病センターの円滑な運営を行います。	—	—	—	豊能圏域における休日夜間等における小児一次救急の拠点としての豊能広域こども急病センターの円滑な運営を行いました。	A	地域医療の向上に資するよう引き続き事業を実施します。	継続	●			●		
167	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-d. 地域で適切に受診する人を増やす	フレイル処方箋事業	健康推進課	後期高齢者医療健診での質問票（フレイルチェック）を活用し、フレイル処方箋というツールを用いて、医療機関が把握する介護予防が必要な高齢者を地域（包括）につなぐ取組みです。	協力医療機関数	—	・協力医療機関を 35 機関に拡大し、計 161 名に処方箋を発行。	協力医療機関を拡大するため、後期高齢者健診実施医療機関に個別訪問を実施しました。	A	協力医療機関のある圏域に処方箋発行者が偏る傾向がある。協力医療機関の少ない圏域を重点的に個別訪問を行いました。	継続			●		6-c	
168	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-d. 地域で適切に受診する人を増やす	外国人向け健康セミナー	人権政策課	年1回、健康に関するテーマの学習会および無料健康相談会を開催しています。	回数	1回	1回	今年は性教育をテーマに実施しました。	B	講座を開催しても参加する人数は限られるため、外国人が集まる他事業にでかけて行つて情報提供するなど工夫をしたいです。	継続	●	●	●			
169	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-d. 地域で適切に受診する人を増やす	外国人のための多言語相談サービス事業	人権政策課	地域の外国人が安心して生活できるよう、健康や受診に関する相談にも対応しています。10言語対応（英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語、フィリピノ語、ベトナム語、インドネシア語、ネパール語）	窓口設置日数	244日	244日	専門相談員と多言語スタッフが情報提供、相談対応を行います。	B	専門相談員の勤務曜日が限られているため、よりスムーズな相談対応が可能になる体制を検討していきたいです。	継続	●	●	●			

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲	関連する取組み分野			
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	こども	女性		
170	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-e. 感染症に備える	感染症予防事業	健康危機対策課	(普及啓発) HIVなどの性感染症やその他の感染症などについて、予防や治療に必要な正しい知識の普及啓発を行います。 (検査・相談) 感染症の予防・治療などについて、医師・保健師が相談に応じます。(HIV・梅毒の検査を実施しています。) (発生時対応) 感染症発生時、患者や接触者の状況を把握し、感染拡大を防ぐための対応を行います。	検査、相談件数等	HIV/梅毒即日抗体検査:受験者260人	HIV/AIDS啓発:6月検査普及週間、12月世界エイズデーに保健所SNS掲載やロビー展示、阪急豊中駅前・千里コラボ前の横断幕掲出、市内関係機関、阪急・北大阪急行駅に啓発ポスターの掲示。18歳成人年齢全数に3700人ウエットティッシュ配布。 HIV/AIDS電話・来所相談:393人 HIV/梅毒即日抗体検査:23回、受験者266人 風しん抗体検査:903人	性感染症、その他感染症について知識の普及啓発を様々な媒体を用いて行いました。 性感染症については2回/月HIV・梅毒の即日検査、相談を実施しました。 赤ちゃんの先天性風疹症候群予防のため、妊娠を希望する者、とのパートナー等に対して風しん抗体検査を実施しました。	A	梅毒では20~24歳の報告数が最も多い。感染拡大を予防するためには啓発が重要であるため、10歳代含め、引き続き啓発・検査・相談事業を実施します。 その他感染症についても知識の普及、発生時の対応等を実施し、感染拡大を防止します。	継続	●	●	●				
171	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-e. 感染症に備える	結核予防事業	健康危機対策課	(普及啓発) 結核の予防ならびに結核の早期発見と治療に必要な正しい知識の普及啓発を行います。 (患者支援) 結核患者等に医療費公費負担の申請・療養相談、日常生活について医師や保健師などが相談に応じます。家族・接触者への健診を行うことで結核のまん延防止に努めます。	相談対応件数	—	結核予防週間に市役所、市内私鉄各駅に結核ポスターの掲示、市内医療機関や薬局、高齢者施設に啓発チラシを配布。生活保護受給者へ啓発チラシを配布。 家族・接触者健診:家族46人、接触者336人 患者療養支援:電話・面接・訪問1,143人	結核の予防ならびに結核の早期発見と治療に必要な正しい知識の普及啓発を行いました。 結核患者等に医療費公費負担の申請・療養相談、日常生活について医師や保健師等が相談に応じました。家族・接触者への健診を行うことで結核のまん延防止に努めました。	A	高齢者、生活保護受給者の結核患者の割合は高いです。高齢者施設やかかりつけ医による市民への検診勧奨等の理解が深まるよう、他課等と連携し、機会を捉えて説明会や研修会を実施します。	継続	●	●	●				
172	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-e. 感染症に備える	風しん予防接種費用助成事業	健康危機対策課	赤ちゃんの先天性風しん症候群予防のため、妊娠を希望する女性やその配偶者等に対して、風しん予防接種の費用の一部を助成します。	助成者数	—	助成者数:648人	赤ちゃんの先天性風しん症候群予防のため、妊娠を希望する女性やその配偶者等に対して、風しん予防接種の費用の一部を助成しました。	A	MRワクチンについては、安定供給を目指した取り組みが図られているものの、接種者の多くにワクチンが届くまでの供給の接続が上手くいっていない状況です。予防接種ワクチン内容について検討予定です。	継続		●			●		

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲		関連する取組み分野					
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	子ども	女性					
173	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-e. 感染症に備える	予防接種関連事業	健康危機対策課	感染症の発症及び蔓延を予防するための定期の予防接種の実施、及び定期の予防接種事業を円滑に遂行するため啓発活動などを行います。	接種者数 接種率	高い予防接種率の維持と安全な予防接種の実施	<p>【子どもの定期接種】 ワクチン名：延接種者数（接種率） ・ 口タウイルス : 6,401 人 (95.6%) ・ B型肝炎 : 8,119 人 (97.7%) ・ 肺炎球菌（小児） : 10,966 人 (97.7%) ・ Hib : 3,115 人 (27.8%) ・ 三種混合 : 1 人 (0.0%) ・ 四種混合 : 3,637 人 (32.2%) ・ 五種混合 : 7,841 人 (69.4%) ・ ポリオ : 5 人 (0.0%) ・ BCG : 2,789 人 (100.7%) ・ 麻しん風しん(MR) : 5,928 人 (90.7%) ・ 麻しん : 0 人 (0.0%) ・ 風しん : 0 人 (0.0%) ・ 水痘 : 5,451 人 (91.1%) ・ 日本脳炎:13,125 人 (94.9%) …特例対象者接種者数 495 人含まず ・ 二種混合 : 2,981 人 (76.7%) ・ HPV（子宮頸がん予防） : 15,356 人 (53.4%) …キャッチアップ接種対象者含む</p> <p>【高齢者の定期接種】 ・ 肺炎球菌（高齢者） : 1,112 人 (25.6%) ・ インフルエンザ : 51,915 人 (49.4%) ・ 新型コロナウイルス感染症 : 20,113 人 (19.1%)</p>	<p>【定期接種の実施】 市内取扱医療機関にて個別接種</p> <p>【啓発活動等】 個別案内通知送付 各種 SNS、市広報誌での啓発 医療機関への情報提供等</p>	A	接種率の維持に向け、継続した啓発及び医療機関との連携を継続していきます。	継続	●	●	●	●						
174	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-e. 感染症に備える	小中学校環境衛生	学校施設管理課	小学校および中学校の環境衛生の向上を図るため、各種学校環境衛生検査を実施し、適切な環境の維持に努めます。	—	—	薬剤師会と連携し、適切に実施しました。	学校環境衛生基準に基づき、飲料水・貯水槽外観検査・プール水質検査・教室の照度及び空気検査を学校薬剤師により実施しました。	A	引き続き、適切に実施していきます。	継続	●		●							

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲	関連する取組み分野		
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	こども	女性	
175	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健 康づくり	母子健康手帳 の交付	おやこ保健 課	母子健康手帳の交付の機会を通じ、すべての妊産婦等と面接することにより個々の妊婦が持つ不安や悩みを把握し、必要な保健指導や諸サービスの紹介等の支援を行ないます。(パートナーや家族向け小冊子やマタニティーパッч交付)	①母子健康手帳交付数(件) ②保健指導実施率(%)	①ー ②100%	①2,775件 ②100%	妊娠届出時に母子健康手帳の交付、個別に応じた面接と保健指導を行いました。	A	R6年度、オンライン予約や電子申込システムを利用した、希望者へのオンライン面談を開始しました。	継続	●			●	●	3-b 4-b 7-c
176	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健 康づくり	妊娠婦健康診 査	おやこ保健 課	妊娠婦の健康管理として母子健康手帳の交付時などに受診券を発行し、かかりつけ医にて個別健診を行ないます。	①妊娠健診延 受診者数 (人) ②産婦健診延 受診者数 (人)	ー	①35,901人 ②5,086人	母子健康手帳交付時に受診券を発行し、受診勧奨を行いました。	A	妊娠婦の健康管理のため、引き続き受診勧奨を実施します。	継続	●			●	●	
177	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健 康づくり	マタニティー クラス	おやこ保健 課	妊娠中の過ごし方について助産師・歯科衛生士・栄養士が講話をします。	参加者数(人)	ー	52人	妊娠期の過ごし方等について、助産師・歯科衛生士・栄養士が講話を行いました。参加者同士の交流の時間も導入しました。	A	引き続き事業を実施していきます。	継続	●		●	●	●	1-a 5-a
178	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健 康づくり	両親教室	おやこ保健 課	初妊婦とそのパートナーを対象に、妊娠・出産・育児についてお話をします。来所型とオンライン型で開催しています。 (大阪府助産師会に委託)	教室参加者数 (組)	ー	839人(425組)	来所型とオンライン型で開催しました。	A	来所型の参加者希望が多く、R7年度から開催回数の調整を行います。	継続	●	●	●	●	—	
179	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健 康づくり	乳幼児健康診 査	おやこ保健 課	乳幼児の疾病や障害の予防や早期発見・治療につなげるなど乳幼児の健康の保持増進とその家族の不安解消や必要な支援につなげるため、乳幼児に対して健診を行ないます。 また、職員のスキルアップを図るため従事者研修も開催します。	①4か月児健 診受診率 (%) ②1歳6か月 児健診受診率 (%) ③3歳6か月 児健診受診率 (%)	①、②、③ 100%	①95.5% ②95.1% ③93.0%	受診者に対して必要に応じた指導等を行いました。未受診者についても全数把握を行いました。	A	健診従事者のさらなるスキルアップのため、従事者研修等の実施も検討します。	継続	●	●	●	●	●	5-a
180	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健 康づくり	二次健診	おやこ保健 課	疾病や障害の早期発見・治療へつなげるとともに、乳幼児の健全育成をめざすため、医師や心理相談員による二次健診を行ないます。(にこりちゃん歯科健診、医師クリニックなど)また、乳幼児健診や二次健診の結果、精密検査が必要な乳幼児に紹介状を発行し、医療機関の受診を促します。	①にこりちゃん歯科健診対 象者数 (人)、受診 者数(人) ②二次健診受 診率(①以 外)(%)	ー	①対象者:1,370人、受診者: 564人 ②88.8%	乳幼児健診や相談等から二次健診が必要な児に対して健診を行いました。医師等の判定により精密検査等につなげました。	A	疾病等の早期発見・治療や療育につなげるため、引き続き必要な児への健診を実施します。	継続	●	●	●	●	●	5-a

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲	関連する取組み分野	
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	こども	女性
181	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健 康づくり	相談（母子保 健）	おやこ保健 課	妊娠婦・乳幼児の保護者等の電話や来所による相談に対して、保健師・栄養士・歯科衛生士・助産師等が応じています。また、健診後に育児状況などの確認が必要と思われる対象者に対し、保健師等が保健指導を行います。身体障害や小児慢性特定疾病・高度医療などの児・養育医療申請者を含む未熟児等とその家族の電話や来所による相談に保健師が応じています。	相談率（参加者数÷育児相談対象者数×100）（%）	—	88.4%	乳幼児健康診査後の経過観察や電話相談などで指導が必要と思われる乳幼児の保護者を対象に、保健師・栄養士による個別相談（育児、栄養、発達）などを行いました。	A	引き続き相談事業を実施していきます。	継続	●	●	●	●	1-a 5-a 7-b
182	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健 康づくり	訪問指導事業 (母子保健)	おやこ保健 課	安心して妊娠出産を迎え育児をスタートするために妊娠婦や新生児に訪問を行い、家庭の状況に合わせた必要な保健指導を行います。（妊娠婦新生児低出生体重児訪問指導等）未熟児や身体障害児・小児慢性特定疾病や高度医療児等とその家族に対して訪問を行い、家庭の状況と障害の状況に合わせた必要な保健指導を行います。	①訪問件数 ②防災プラン作成率（%）	①— ②100%	①実5,260件、延べ6,810件 ②100%	支援が必要な妊娠婦、新生児、乳幼児に対して専門職が訪問指導を実施しました。 対象となる医療的ケア児については、防災プランを作成するとともに、災害時の支援について関係機関と連携を図りました。	A	引き続き関係機関との連携を図るとともに、MCSを活用した災害時の安否確認体制を整備していきます。	継続	●	●	●	●	7-b
183	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健 康づくり	こどもアレル ギー講演会、 こどもアレル ギー専門相談	おやこ保健 課	15歳未満でぜん息やアトピー性皮膚炎などのアレルギー症状があり適切な治療を受けていない人に対して医師・保健師・栄養士が相談に応じ、正しい情報提供を行います。（アレルギー講演会・アレルギー専門相談）乳幼児健康診査時に、アトピー性皮膚炎・ぜん息等の有症状児に保健指導を行います。（アレルギー素因スクリーニング）	①アレルギー専門相談実施回数・相談者数 ②アレルギー講演会実施回数・参加者数	—	①6回・32人 ②1回・64人	アレルギー専門相談や講演会で、相談が必要な方に、相談指導、情報提供を行いました。	A	引き続き相談事業を実施していきます。	継続	●	●	●	●	
184	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健 康づくり	思春期教育	おやこ保健 課 健康危機対 策課	学校保健とおやこ保健課・健康危機対策課が連携し、中学校での性教育などを行います。	実施校数	希望校に全 数実施	市内中学校：4校 受講人数：640人	主に中学3年生を対象に思春期教育を実施し、性感染症・予期せぬ妊娠について健康教育を行いました。	A	望まない妊娠、性感染症を予防するために、正しい知識を学ぶ必要があり、学校保健と連携して健康教育を実施していきます。	継続	●	●	●	●	

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲	関連する取組み分野		
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	こども	女性	
185	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健 康づくり	母子医療費助 成事業	おやこ保健 課	国庫補助事業である小児慢性特定疾病医療費助成事業、未熟児養育医療給付事業、結核児童療育給付事業、不育症治療費等助成事業(検査)を実施しています。また、市独自事業として、不育症治療費等助成事業(治療)、不妊症治療費等助成事業を実施しています。	・小児慢性特定疾病医療費助成事業承認者数 ・未熟児養育医療給付事業承認者数 ・結核児童療育給付事業承認者数 ・不育症治療費等助成事業承認者数 ・不妊症治療費等助成事業承認者数 ・不育症治療費等助成事業助成件数 ・不育症治療費等助成事業助成件数	—	・小児慢性特定疾病医療費助成事業承認者数: 418 件 ・未熟児養育医療給付事業承認者数: 85 件 ・結核児童療育給付事業承認者数: 0 件 ・不育症治療費等助成事業助成件数: 840 件 ・不育症治療費等助成事業助成件数: 12 件	医療費等の負担軽減を図るため、申請に応じ審査、受給者証等の発行、助成金の交付等にかかる事務を行いました。	A	引き続き、医療費助成事業を実施します。	継続	●	●			●	
186	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健 康づくり	助産制度	子育て給付 課	生活保護等の経済的理由により入院助産を受けることができないと認められる妊娠婦を対象に、指定の助産施設(病院)への入所、助産を行います。	入所者数	—	14 人	生活保護受給等の経済的な理由で入院出産ができない人を対象に、指定する病院で出産できるようになります。	A	妊娠婦の健康維持、子どもの健全な育成につながるよう、今後も継続して本制度を実施します。	継続	●	●	●	●	●	
187	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健 康づくり	子ども医療費 助成事業	子育て給付 課	0歳から高校3年生まで(18歳年齢到達後の最初の3月31日まで)の子どもを対象に各種医療保険の自己負担額から一部自己負担額を除く医療費を助成します。	(医療費) 件数: 助成額: (入院時食事 療養費) 件数: 助成額: (医療費) 件数: 986,870 件 助成額: 1,896,488,632 円 (入院時食事療養費) 件数: 3,806 件 助成額: 22,048,095 円	—	(医療費) 件数: 986,870 件 助成額: 1,896,488,632 円 (入院時食事療養費) 件数: 3,806 件 助成額: 22,048,095 円	健康保険の診療対象となる医療費の自己負担分の一部を助成することにより、子どもの健全な育成を支援しました。	A	子どもの健全な育成と児童福祉の向上を図ることを目的として、今後も継続して医療費助成を実施します。	継続	●			●		
188	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健 康づくり	ひとり親家庭 等医療費助成 事業	子育て給付 課	ひとり親家庭を対象に、各種医療保険の自己負担額から一部自己負担額を除く医療費を助成します(所得制限有)。	件数 助成額	—	件数: 79,784 件 助成額: 199,704,999 円	現物給付、現金給付により医療費を助成し、ひとり親家庭等の生活の安定と児童の健全な育成を支援しました。	A	今後も継続して医療費助成を実施し、健康維持に寄与していきます。	継続	●	●	●			
189	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健 康づくり	重層的支援体 制整備事業	こども支援 課	①子育て支援センターほっこりでは、子どもの視点に立った子ども施策の企画調整、子育ち・子育て情報の受発信や相談、地域の子育てを支援する人材の育成等を行い、様々な子育ち・子育て支援活動をサポートしています。 ②地域福祉計画の保健・福祉・医療の関係機関と連携して全市的な子育て支援のネットワークづくりを進めています。	講座参加者数	2,000 人	2,770 人	0歳～1歳半までを対象とした交流の場(ほっこりひろば)を行いました。その中でふれあい遊びを実施し、親子で身体を動かす機会を設けました。	A	実施場所を確保し、身体を動かす機会を保障していきます。	継続	●	●		●		7-a

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲	関連する取組み分野	
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	子ども	女性
190	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健 康づくり	とよなか子育 ち・子育て応 援BOOK「みん なで」	こども支援 課 子育て支援 センター ほっぺ	妊娠がわかつてから就学前 までの子育て情報を掲載し た、とよなか子育ち・子育 て応援BOOK「みんなで」を 発行し、乳幼児健康診査、 離乳食講座・食の講座など の情報を提供しています。	発行部数	15,000 部	15,000 部	「とよなか子育ち・子育て応援 BOOK『みんなで』」を発行し、妊 娠期から子育て期における手続 きや支援制度・子どもの健康・地 域の子育て支援等の情報を提供 しました。	A	今後も引き続き情報提供を行 います。	継続	●	●	●	●	7-a
191	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健 康づくり	乳幼児の子育 て相談	こども支援 課 子育て支援 センター ほっぺ こども支援 課	育児、食育、健康などにつ いての相談指導（電話、面 接、訪問、出前相談）を子育 て支援センターほっぺ・地 域支援保育士が行っています。 公立こども園地域子育て支 援センターでは相談（電話・ 面接）を、地域支援員が行 っています。	相談件数	7,000 件	6,934 件	保護者のニーズに合わせた専門 職（保育教諭・看護師等）が対応 し、関係機関と連携した支援を行 いました。	A'	保護者のニーズに沿った情報 提供を心掛け、引き続き支援 を行っていきます。	継続	●	●	●	●	1-a 7-a
192	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健 康づくり	子育てに関す る情報提供の 充実	こども支援 課 子育て支援 センター ほっぺ	豊中市ホームページにおい て、子育てに関する様々な 情報を公開するとともに、 最新情報を定期的に更新し ています。	「ほっぺちゃん通信」フォ ロワーネット	2,500 人	2,750 人	豊中市ホームページ及びはぐく みセンター公式X「ほっぺちゃん 通信」において、子育てに関する 情報提供を行いました。	A	はぐくみセンター公式Xにつ いては引き続き周知し、様々 な媒体で情報提供を行ってい ます。	継続	●	●	●	●	7-a
193	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健 康づくり	ファミリー・ サポート・セ ンター事業	こども支援 課	子育てをしているすべての 家庭を支援するため子育て の援助が必要な人と子育て の援助ができる人とを結び つける会員制の育児支援ネット ワークです。 親のリフレッシュ目的での 利用などもあり、親の心の 健康にも繋がっています。	活動回数	2,354 回	2,160 回	会員登録説明会を市内各所、休日 開催する等で新規会員の獲得に 努めたほか、各種講習会・交流会 を実施しました。	B	援助会員が不足しているた め、引き続き普及啓発及び登 録説明会を市内各所で実施す る等の工夫を行います。	継続	●	●	●	●	7-a
194	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健 康づくり	子育て短期支 援事業	こども支援 課	保護者の疾病その他の理由 により家庭において養育を 受けすることが一時的に困難 となった児童について一週 間以内や日帰りで施設に受 け入れます。	日数×児童	ショートス テイ ：延516日 トワイライ ト ：－	ショートステイ：延440日 トワイライト：－	新たな形態での事業実施を検討 し、新たな委託先として里親が加 わりました。	A'	委託先不足に対する新たな委 託先の検討を進めます。	継続	●	●	●	●	
195	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健 康づくり	外国人向け市 政案内・相談 窓口	人権政策課	来庁する外国人市民へ基本的 な行政情報を提供すると ともに、行政サービスに関 する相談（通訳）を行って います。通訳業務においては、母子手帳、予防接種手 帳の交付などに必要に応じ て付き添います。	—	—	案内・相談 2,229 件。うち、 保健に関するものは出産・子育 てが 326 件、医療（予防接種等 含む）が 18 件	母子手帳、予防接種手帳の交付な どの手続きにおいて通訳を行 いました。	A'	適切に通訳を行うことができ ました。今後も継続して支援 していきます。	継続	●	●	●	●	

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲		関連する取組み分野
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	子ども	女性
196	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健 康づくり	国際化施策の 推進	人権政策課	豊中市多文化共生指針に基づき、事業を展開しています。とよなか生活ガイドブック(英語、中国語、韓国・朝鮮語、ベトナム語)では、母子保健に関わる行政手続きや、外国人向け医療情報などを発信しています。	—	—	1回	母子保健に関わる行政手続きや、外国人向け医療情報などを発信しました。	A	生活ガイドブックを通して必要な情報を発信することができます。今後も誰もが読みやすく、情報入手できるような内容にしていきます。	継続	●	●	●	●	●
197	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健 康づくり	児童虐待相談 事業	こども安心 課	児童虐待の通告及び相談の受理、調査、支援を実施しています。	児童虐待相談 件数	1,500人	1,634人	児童虐待の通告及び相談の受理、調査、支援を実施しました。	A	豊中市児童相談所の設置に伴い、児童相談所と家庭児童相談支援の一体的な対応を通じた支援の充実に取り組みます。	継続	●			●	
198	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健 康づくり	子どもを守る 地域ネットワー ーク	こども安心 課	児童虐待予防・発見・早期支援のための関係機関の連携・協力体制の確立に取り組んでいます。	子どもを守る 地域ネットワー ーク開催数	17回	代表者会議：2回 実務者会議：15回(運営会議を含む) ケース会議：188回	豊中市子どもを守る地域ネットワークを活用し、切れ目のない総合的な支援や虐待予防・対応に取り組みました。	A	豊中市児童相談所の設置に伴い、従来以上に予防的な取り組みが実施できるよう家庭児童相談のあり方について検討します。	継続	●			●	
199	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健 康づくり	各種負担金・ 補助金	学務保健課	豊中市学校保健会の充実発展に向け、総会・専門委員会研修会等を開催します。	開催数	総会：1回 専門委員会研修会：3回 部会研修会：3回	総会：2回開催 専門委員会研修会：3回開催 部会研修会：2回開催	豊中市学校保健会の充実発展に向け、総会・専門委員会研修会等を開催しました。	A	対象者が研修に参加しやすくなるよう、オンライン形式での開催回数を増加します。	継続	●			●	
200	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健 康づくり	小学校医療費 援助	学務保健課	学校保健安全法第24条で指定する感染症又は学習に支障を生ずるおそれのある疾病で、政令で定めるものの治療のための医療に要する費用について必要な援助を行います。	発行件数	—	195	学校保健安全法第24条で指定する感染症又は学習に支障を生ずるおそれのある疾病で、政令で定めるものの治療のための医療に要する費用について必要な援助を行いました。	A	対象者は年々減少してきているものの、左記の法律に基づき、引き続き対象者に必要な援助を行います。	継続	●			●	

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲		関連する取組み分野	
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	子ども	女性	
201	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健 康づくり	中学校医療費 援助	学務保健課	学校保健安全法第24条で指定する感染症又は学習に支障を生ずるおそれのある疾病で、政令で定めるものの治療のための医療に要する費用について必要な援助を行います。	発行件数	—	157	学校保健安全法第24条で指定する感染症又は学習に支障を生ずるおそれのある疾病で、政令で定めるものの治療のための医療に要する費用について必要な援助を行いました。	A	対象者は年々減少してきているものの、左記の法律に基づき、引き続き対象者に必要な援助を行います。	継続	●	●	●			
202	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健 康づくり	健康教育	おやこ保健 課	専門職が、乳幼児の保護者に乳幼児の成長や事故予防や歯や口に関するテーマを取り上げ正しい知識の啓発を行っています。	受講者数	—	1192人	専門職が保護者に、乳幼児の健康や事故予防・歯や口に関するテーマ・乳幼児の栄養について正しい知識の啓発を行いました。	A	引き続き健康教育事業を実施していきます。	継続	●	●	●			
203	6. 疾病予防 ・ 健康管理	6-f. 次世代 (妊娠・出産・ 子ども)の健 康づくり	すくすくあか ちゃんタイム (子どもをど りまく読書環 境整備の取組 み)	読書振興課	図書館職員による読み聞かせと保健師によるお話や育児相談を行う「すくすくあかちゃんタイム」など、子どもの体や健康に関する事業を実施しています。図書館職員による関連本の紹介・展示も行います。	講座実施回数 (回)	すくすくあ かちゃんタイム：7 回	すくすくあかちゃんタイム：8 館	絵本の読み聞かせと、おやこ保健課から保健師をまねいて子どもの発育や家庭内の事故防止に関する講話や質疑応答を行う「すくすくあかちゃんタイム」を開催しました（庄内・千里・東豊中・高川・岡町・服部・野畠図書館各1回）。	A	次年度も「すくすくあかちゃんタイム」を行い、子育ち・子育てを支援するとともに、図書館の利用促進を図っていきたいです。	継続	●	●	●	5-a		
204	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所があ ることで人と つながる	放課後こども クラブ運営	学び育ち支 援課	放課後、帰宅しても保護者が仕事などで家庭に不在の本市に居住する小学校1年生から4年生（支援学級在籍児童及び本市に居住する支援学校在籍児童は6年生）までの児童に、遊びや学習などを通じて、自主的かつ自発的な生活態度や習慣を養うために必要な保護及び指導を行い、児童の健全育成を図ります。	令和6年5月 1日の在籍人 数	—	5,121人	市内39小・義務教育学校すべてで実施しました。	A	次年度も事業継続します。	継続	●	●	●	2-b		
205	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所があ ることで人と つながる	地域教育協議 会（すこやかネ ット）	学び育ち支 援課	市内の全中学校区に地域教育協議会を設置し、各校区でフェスタや子育て講演会、学校教育への支援など、学校・家庭・地域のネットワークを深める事業展開を行い、地域教育の活性化を図ります。	参加児童数	16,000人	15,302人	各校区の協議会がフェスタや子育て講演会等を実施しました。	B	参加児童数がコロナ禍前の水準に戻っていません。 学校を通じ、教室の開催状況についての周知を徹底します。 学校運営協議会の場当を活用し、担い手の発掘・確保に努めます。	継続	●	●	●	●		
206	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所があ ることで人と つながる	いぶき主催事 業	社会教育課 (青少年交 流文化館い ぶき)	青少年に学習機会や主体的な活動の場を提供します。	参加者・参加 校数等	参加者 11,185人 参加校等34 校8団体	参加者 12,149人 参加校等40校4団体	自習室や高校生以上のバンド活動、高校生等の活動成果の機会などを提供しました。	A	前年度同様取り組んでいきます。	継続	●	●	●			

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲	関連する取組み分野		
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	子ども	女性	
207	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	図書活動	社会教育課（青少年交流文化館いぶき）	ほんのひろばを地域に開放し、貸し出し、自由閲覧、たのしいつどいなど、図書に親しむ機会を提供します。	人数	8,275人	9,862人	ほんのひろばを地域に開放し、貸し出し、自由閲覧、たのしいつどいなど、図書に親しむ機会を提供しました。	A	前年度同様取り組んでいきます。	継続	●		●			
208	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	創造活動（不登校支援）	児童生徒課	青少年交流文化館いぶきにおける創造活動は、不登校児童生徒が、自らの興味・関心を行動にうつし、その活動過程で成長がはかれるよう、必要な援助を組織的・継続的に行うことにより、不登校児童生徒が学校復帰や社会的自立をめざすことを目的とします。	回数	50回	クッキング 24回 体を動かそう 26回	創造活動係（青少年交流文化館いぶき内）におけるクッキング（284回）、体を動かそう（26回）等のプログラム活動のほか、館外活動・乗馬体験活動なども実施しました。	A	不登校児童生徒が増える傾向の中、プログラム参加者の年齢に幅があります。多くの児童生徒に満足してもらえるよう内容の充実をはかります。	継続	●		●		1-b 2-b	
209	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	スクールソーシャルワーカー活用事業	児童生徒課	いじめ、不登校、暴力行為及び児童虐待など生徒指導上の様々な課題に対応するため、教育分野と社会福祉等の専門的な知識・技術を用いて、児童生徒の置かれた様々な環境に働きかけて支援を行うスクールソーシャルワーカーを全小学校及び義務教育学校に配置し、中学校に事業対応派遣を行います。	人数	1,500人	1,506人	市立小学校38校・義務教育学校1校に配置、中学校に対しては要望に応じた事業対応派遣を行い、ケース会議、教員・保護者等との面談、教室訪問（児童生徒の観察）等を行いました。	A	スクールソーシャルワーカーが関わる児童生徒の課題が多岐に渡る為、福祉などの他分野との連携を進める必要があります。学校・教育委員会との情報共有を円滑に図り、支援の充実に活かすため、SSW支援システムを安定的に稼働します。	継続	●		●			
210	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	育児支援家庭訪問事業 こんにちは赤ちゃん事業	こども支援課	児童の養育支援が必要でありながら、自ら出向くことが困難な状況にある家庭を訪問して育児に関する相談や助言等の支援を行っています。生後4か月までの乳児のいる全家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境等の把握に努め相談や助言等の支援を行っています。	育児支援家庭訪問数 乳児家庭全戸訪問面談率	600回 100%	489回 100%	保育教諭等の専門職が家庭訪問し、保護者に寄り添った相談支援を実施しました。また、こんにちは赤ちゃん訪問の実施により、子育てに関する情報提供等を行いました。	A'	保護者のニーズに沿った情報提供を心掛け、引き続き支援を行っていきます。	継続	●		●		6-f	
211	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	重層的支援体制整備事業 地域福祉ネットワーク会議（こども部会）事務局	こども支援課	地域福祉ネットワーク会議（こども部会）では、公立こども園が中心になってCSWとともに各小学校区の地域活動を支援するために関係機関や団体との連携を図りネットワークづくりを進めています。	開催校区数	41校区	41校区	地域の課題や今後の連携について関係者間で理解を深め、ネットワークづくりを進めました。	A	こどもを取り巻く支援体制の見直しを行い、児童福祉・母子保健・学校教育が一体となった支援体制の構築を目指し、ネットワークづくりを進めています。	継続	●	●	●		6-f	

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲		関連する取組み分野
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	子ども	女性
212	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所があ ることで人と つながる	児童発達支 援・放課後等 デイサービス 事業 (児童発達支 援センター)	おやこ保健 課	小集団親子教室においては、子どもの発達特性にあつた関わりを通して人や物、遊び等の興味を育てます。また、保護者の子どもの育ちや特性の気づきを促すとともに適切な関わりについて支援します。親子通所・単独通所においては、人間関係の土台作りや基本的な生活習慣の獲得等を支援します。	—	—	毎日実施	児童発達支援・放課後等デイサービス事業を実施しました。	A	引き続き事業を実施していきます。	継続	●	●	●	●	
213	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所があ ることで人と つながる	ブックスター ト事業 「えほんはじ めまして」	読書振興課	4か月児健診において対象者一人一人に言葉かけをして絵本を手渡し、家庭ですぐに絵本を開いて保護者と赤ちゃんが楽しみながらやりとりとしたコミュニケーションの時間を持つてゐるきっかけとしています。また乳幼児と気軽に利用してもらえる施設として、近隣の図書館や子ども文庫などを案内。ボランティア、図書館、おやこ保健課の三者が連携することで、地域で子育てを支援していることを伝える機会ともなっています。	絵本配布率	100%	絵本配布率 98.3% (配布冊数 2723 冊)	絵本をプレゼントするとともに、コロナ禍により休止していたボランティアスタッフによる絵本の読み聞かせを再開しました。	A	子どもに絵本やおはなしを届けるにあたって、押さえておくべき理論と実践を研修で学ぶことで、戸惑うことなく読み聞かせ活動を行うことができるボランティアの確保と増員につながりました。また職員も、担当者だけではなく全職員に研修をしました。今後もボランティアスタッフ・職員がともに無理なく活動を続けていけるようにしたいです。	継続	●	●	●	●	
214	7. こころの 健康・ つながり	7-a. 社会参加 や居場所があ ることで人と つながる	介護予防地域 教室事業	長寿安心課	地域住民の心身の健康の保持と生活の安定のために、必要な援助を行い、保健医療の向上・福祉の増進を包括的に支援します。	84回	84回	77回	地域住民の心身の健康の保持等を図るために介護予防地域教室を実施します。	A'	・平均寿命が延びるなか高齢者が健康を維持し、安心して在宅生活を送ることができるよう、介護予防及び権利擁護などをテーマとした教室を開催します。	継続		●			

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲		関連する取組み分野
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	子ども	女性
215	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	子ども・若者育成支援事業	くらし支援課	市の関係機関や家庭、地域等との連絡調整、情報の共有、連携をはかることにより青少年が社会的自立を果たすことができるよう支援をつなげるとともに、必要となる支援があれば関係部局と調整を図ります。	—	—	・若者支援総合相談窓口 相談件数：121件 ・ユースホーム事業「できる力ン パニー」 登録人数：15人	「不登校からの社会的自立」～不登校経験者と保護者の体験から考える～(1回) 豊中市子ども・若者支援協議会(2回)	A+	若者等に対する相談窓口をはじめ、各種保護者向け説明会や講演会を実施し、チラシ等で情報提供を行うことで、対象者に情報が行き届くよう工夫していきたいです。	拡充	●	●	●	●	
216	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	シルバー人材センター補助金業務	くらし支援課	シルバー人材センターに対する補助事業を実施し、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与します。 対象者の健康づくりに寄与するものと考えます。	—	—	・補助金額：33,100,000円	シルバー人材センターの財政的な自主運営を目的として、市の労働政策と整合を図ったシルバー人材センターの事業運営に対する補助を行いました。	A	補助事業を通じて、高齢者が培ってきた経験や能力を生かすことのできる就労機会の創出や生涯にわたり健康で生きがいをもって暮らせる環境づくりに寄与していきたいと考えています。	継続		●			
217	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	高齢消費者の見守り体制との連携（地域福祉ネットワーク会議）	くらし支援課	高齢者の消費者被害の未然防止、早期発見に向け、地域の見守りネットワーク等と連携しています。 高齢者が安心して暮らせることで精神的な安定につながります。	—	—	・地域福祉ネットワーク会議：14回	高齢者の消費者被害の未然防止、早期発見に向け、地域の見守りネットワーク等と連携しました。 高齢者が安心して暮らせることで精神的な安定につながりました。	A	—	継続	●				

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲		関連する取組み分野
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	こども	女性
218	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	地域就労支援事業	くらし支援課	生活情報センターくらしかん並びに豊中しごと・くらしセンター内に地域就労支援センターを設置し、障害者、母子家庭の母親、中高年齢者などの就労困難者に対する相談をはじめ、各種講座の実施や紹介、求人情報の提供等を行います。 対象者の心の健康づくりに寄与するものと考えます。	—	—	・相談件数：3,699 件 ・就労決定：198 人	就労困難者に対して相談・就労訓練などを行い、就労へ導きました。	A	就労困難者等に対する相談をはじめ、各種講座の実施や紹介、求人情報の提供等を行うことで、対象者の心の健康づくりに寄与していきたいと考えています。	継続	●				
219	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	無料職業紹介事業	くらし支援課	平成15年8月に「地域就労支援センター」を設置し、様々な理由により就労が困難な市民を対象に、相談やカウンセリング、教育訓練などの就労支援を行ってきましたが、これらの機能をさらに拡充し、求職者の居住地の近隣での就職を実現するとともに、市内事業所の求人活動等を応援することを目的に、平成18年11月から無料職業紹介を行っています。 対象者の心の健康づくりに寄与するものと考えます。	—	—	・新規求人数：1,498 人 ・就職件数：159 件	市内外の事業所の求人獲得、地域就労相談者など求職者の求人事業所への紹介、各種（若者、障害者向け等）、面接会、面接対策講座等を実施しました。	A	求職者に対し、各種講座や職業体験、合同面接会、職業紹介などの就労支援を行い、就職を実現させることで、対象者の心の健康づくりに寄与していきたいと考えています。	継続	●				
220	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	中小企業勤労者互助会事業	くらし支援課	豊中市中小企業勤労者互助会に中小企業勤労者互助会に対する補助を実施し、市内の中小企業で働く勤労者及びその家族の福利厚生の充実を図り、併せて中小企業の振興に寄与します。 対象者の心の健康づくりに寄与するものと考えます。	—	—	補助金額：5,520 千円	中小企業勤労者互助会の予算のうち、福利厚生事業費や一般事務管理費を補助することにより、市内の中小企業で働く人やその家族への福利厚生の充実を図り、併せて中小企業の振興に寄与しました。	A	豊中市中小企業勤労者互助会への補助を通じ、引き続き市内の中小企業で働く勤労者及びその家族の福利厚生の充実を図っていきたいと考えております。	継続	●				

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲	関連する取組み分野		
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	こども	女性	
221	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	くらしかんのホームページ	くらし支援課	くらしかんホームページにより、消費生活情報を提供しています。	—	—	市ホームページで消費生活情報を探しました。	国民生活センターから提供された情報をホームページに掲載するなどを行い、消費者啓発に努めました。	A	情報をただホームページに掲載するのではなく、より多くの市民の方に見てもらえるように工夫していくことが重要です。	継続	●	●	●			
222	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	協働推進の公募制度	コミュニティ政策課	市民公益活動団体から自由な企画提案を募る協働事業 市民提案制度を活用し、市と市民公益活動団体の協働を推進します。	成案化事業件数	3件	1件	募集説明会には4団体が参加しました。うち2団体と、関係課との事前意見交換を実施し、1団体(件)の成案化に至りました。この他に2件の事業を継続実施しています。	B	行政からの課題提示について、平易な表現を用いるとともに提案しやすい課題とし、また多くの市民や団体に興味を持っていたいいただけるように、課題に関する経過やこれまでの取り組みの概要を記載しました。	継続	●	●	●			
223	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	市民公益活動推進助成金制度	コミュニティ政策課	公募により、市民公益活動事業に必要な経費の一部を助成します。市民公益活動団体の自律的・継続的な発展を支援することにより、市内の市民公益活動全体の推進を図る制度です。	・助成事業数 ・助成金額	・13事業 ・3,500,000円	・初動支援コース 8団体 662,000円 ・自主事業コース 8団体 1,769,000円	初動支援コースに10団体、自主事業コースに9団体の申し込みがあり、応募書類とプレゼンテーションに基づいて審査を行い交付を決定しました。	A	市民公益活動における新たなアイデアや工夫による取り組みを支援できるよう、初動支援コースの助成限度額を10万円から15万円に引き上げました。	継続	●	●	●			
224	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	市民公益活動支援センター運営管理事業	コミュニティ政策課	市民公益活動のための情報発信及び交流の場の提供、市民公益活動の推進に関する情報の収集・提供、相談、講座の開催、啓発の実施などを行います。	・来場者数 ・団体情報掲載団体数	・10,000人 ・150団体	・来場者数 18,003人 ・団体情報掲載団体数 159団体	市民公益団体と市の施設の協働を図るために、マッチング交流会を4回実施しました。市民活動出前講座メニューを自治会へ送付し、多くの利用や連携につなげました。また市内の高校・大学を訪問し、市民活動について若者世代の取り組みを支援しました。	A	学生や若者団体同士のつながりづくりを継続的に行っていくと同時に、市民公益活動団体に伴走しながら、さらなる市民公益活動の推進を図ります。	継続	●	●	●			
225	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	にほんご交流活動	人権政策課	地域で暮らす外国人が日本人市民ボランティアと出会い交流する場を創出する。	回数	399回	399回	月曜、木曜、金曜、土曜、日曜	B	在住外国人の数が急増しているため、ボランティアの確保と受け入れ態勢の整備が必要です。	拡充	●	●	●	●		
226	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	被爆者援護事業	地域共生課	被爆者に対する健康相談等の相談事業を実施しながら会員の福祉向上を図るとともに、被爆体験の伝承を通じて、核兵器と戦争のない平和な社会の実現をめざします。	—	—	被爆者健康相談を定期的に実施し、小学校等からの依頼により被爆体験の伝承を行いました。 被爆者相談対応件数：延324件 被爆伝承活動：7件	被爆者健康相談を定期的に実施し、小学校等からの依頼により被爆体験の伝承を行っています。	A	引き続き被爆者に対する健康相談等の相談事業を実施しながら会員の福祉向上を図るとともに、被爆体験の伝承を通じて、核兵器と戦争のない平和な社会の実現をめざします。	継続	●	●				

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲		関連する取組み分野
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	子ども	女性
227	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	民生・児童委員協議会	地域共生課	民生・児童委員大会の開催や民生・児童委員協議会に対して支援を行います。見守り活動や相談に応じ、必要な支援を通じて住民の福祉の増進を図っています。	—	—	民生・児童委員大会の開催や民生・児童委員協議会に対して支援を行いました。 役員会開催数：44回	民生・児童委員大会の開催や民生・児童委員協議会に対して支援を行いました。 役員会開催数：44回	A	引き続き民生・児童委員大会の開催や民生・児童委員協議会に対して支援を行います。	継続	●	●	●		
228	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	地域活動支援センター事業	障害福祉課	・活動支援型：創作的活動、生産活動、社会との交流促進、食事・入浴等の日常生活における便宜の供与、機能訓練・社会適応訓練等。 ・相談支援型：創作的活動、生産活動、社会との交流促進、福祉サービス・社会資源を活用するための支援、施設や病院から地域に戻るための支援、ピアカウンセリング、権利擁護のための援助、自立支援協議会の運営、障害当事者活動の育成、地域住民ボランティアの育成、啓発活動等。 (地域活動支援センタークム、サポートセンターる~ぶに委託)	—	—	・活動支援型：延べ392人 ・相談支援型：延べ12522人	障害者が地域において自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、必要な便宜の供与を行うことができました。	A	施設や病院等における地域移行の取り組みと連携しつつ、住居の確保その他地域における生活に移行するための活動に関する相談などに応じます。	継続	●	●	●		
229	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	相談支援事業	障害福祉課	専門職を配置し、障害福祉サービスの利用調整をはじめ、様々な日常生活上の相談に応じます。	—	—	全体会議：4回	相談支援事業所のネットワークを構築し、連携を深めることで、障害者が安心して地域生活を送れるよう支援を行うことができました。	A	複雑な相談内容に対応できる体制づくりについて障害者自立支援協議会で意義を深め連携強化を図っていきます。	継続	●	●	●		

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲		関連する取組み分野
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	こども	女性
230	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	障害者相談員事業	障害福祉課	身体障害者相談員、知的障害者相談員、精神障害者相談員がそれぞれの立場に立って、各手帳の取得や障害者の身近な問題についていろいろな相談に応じます。	—	—	相談件数：延べ6件	当事者や家族といった相談員が身近な問題について相談に応じました。	A	今後も各手帳の取得や障害者の身近な問題について相談に応じます。	継続	●	●	●		
231	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	花とみどりの相談所主催事業	公園みどり推進課	花とみどりの相談業務や講習会、緑化リーダーの養成講座、豊中緑化リーダー会への活動支援を行うもので、草花鑑賞や人との交流、活動の機会の提供により、健康づくりに寄与しています。	—	—	花とみどりの相談件数：345人、423件 花とみどりの講習会：35回、726人 養成講座：24回、修了者38人	花とみどりの相談業務や講習会、緑化リーダーの養成講座、豊中緑化リーダー会への活動支援を行いました。	A	参加者数が増えるように周知を行います。	継続	●	●			
232	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	みどりの交流会運営事業	公園みどり推進課	市民との協働により、地域での花だん活動や小学校等での「みどりのカーテンづくり」を支援するとともに、各種緑化啓発イベントを開催するもので、活動の機会のほか、潤いや安らぎ、憩いの場を提供しています。	参加者数	200人	みどりのフォーラム参加者数 1回 148人	みどりのフォーラムやみどりのつどいなどのイベントを実施しました。	A'	事業の在り方を検討します。	縮小	●	●	●		
233	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	緑化推進事業	公園みどり推進課	公共施設の緑化、自治会等が取り組む緑化活動への資材等の提供などを行うもので、活動の機会のほか、潤いや安らぎ、憩いの場を提供しています。	配布本数	7,000本	市民協同緑化樹の配布 999本 生垣緑化助成金の交布 2件 87本 沿道緑化助成金の交布 3件 14本	市民協同緑化樹の配布、生垣緑化助成金の交布、沿道緑化助成金の交付を行いました。	B	継続して実施していきます。	継続	●	●	●		

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲		関連する取組み分野	
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	こども	女性	
234	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	花いっぱい運動事業	公園みどり推進課	駅前等の草花やバラ園、花しょうぶ園の維持管理、イベント等における種子・球根の配布など、花いっぱい運動の啓発、市民との協働による地域での花苗の育成や草花の育成管理を行うもので、活動の機会のほか、潤いや安らぎ、憩いの場を提供しています。	—	—	草花種子配布数 1,398袋	市有花壇の維持管理並びに公共性の高い場所での花壇活動への支援を行いました。 花いっぱい運動の拡充を検討しました。	A'	花いっぱい運動を拡充した「とよなか花いっぱい大作戦」を推進します。	拡充	●	●	●			
235	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	みどりのカーテンづくり	公園みどり推進課	市民との協働により取組みを進める豊中みどりの交流会において、小学校やこども園、授産施設等でみどりのカーテンづくり（ゴーヤの栽培）の取組みを支援しています。収穫したゴーヤは、小学校等において食育として活用されています。	参加団体数	70団体	52団体	みどりのカーテンづくりの支援を行いました。	B	市民協働によるゴーヤの苗の育成が困難なため、種の配布による支援に変更します。	継続	●	●	●		1-d	
236	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	ヒメボタル保全事業	公園みどり推進課	希少なヒメボタルを保全するため、生息地である「春日町ヒメボタル特別緑地保全地区」の保全・啓発活動を行っています。その取組みの一つとして、ヒメボタル学習会・観察会や観察路の整備などを実施しており、健康づくりに寄与しています。	参加者数	200人	2回 81人	ヒメボタル学習会・観察会の開催をしました。	A'	継続して実施していきます。	継続	●	●	●			

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲		関連する取組み分野	
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	子ども	女性	
237	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	自然環境啓発事業	公園みどり推進課	自然環境啓発に関するイベントの開催などを行っています。その取組みの一つとして、自然観察会及び自然体験で学ぶ環境学習を実施しており、健康づくりに寄与しています。	参加者数	1,500人 (No.106.244と併せて)	18回 371人	自然環境学習を実施しました。	A	継続して実施していきます。	継続	●	●	●			
238	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	自然環境保全事業	公園みどり推進課	里山の保全・再生及び民有地の樹木等の保全の支援などをを行っています。その取組みの一つとして、里山の保全・再生活動及び自然観察会を実施しており、健康づくりに寄与しています。	参加者数	1,500人 (No.106.243と併せて)	16回 342人	島熊山緑地にて市民との協働による保全活動、自然観察会を実施しました。	A	継続して実施していきます。	継続	●	●	●			
239	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	男女共同参画推進活動への支援	人権政策課	(（一財）よなか男女共同参画推進財団による運営・管理) 人間関係や仕事に「しんどさ」を感じている女性のために気軽におしゃべりができる「カフェタイム」「シェアタイム」を実施しています。 その他、グループ・団体活動の情報収集・提供、自主グループ活動育成・支援、グループ活動活性化のための講座の開催、グループ活動リーダー養成、ワークスペース・機器等の提供、交流ネットワークの機会提供、ネットワーク協議会の組織化などを行っています。	人数	—	108人	孤独感を抱く50～60代の女性が気軽に集まり、社会の規範に縛られずに自分の思いや考えを安心して話すことで自分を肯定し、エンパワーメントします。	A	自分の思いや考えを言葉にして話し聽き合うことで、自己肯定感を高め、エンパワーメントにつながる場となりました。次年度は、別施設での出張開催など拡充していきます。	拡充	●	●	●			
240	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	こどもの学び・居場所事業	人権政策課 人権平和センター豊中	小中高校生を対象に、誰もが安心して過ごせる居場所を提供し、学習や体験活動を通じて人との関わり・つながりの中で自分らしく生きる力を育みます。	事業回数	400回	407回	居場所・学習の支援・食事の提供・課外活動や体験活動の提供をしました。	A	家庭状況等がしんどい、学校に行きづらい等の課題を抱えた子ども達の利用があるが、保護者との関係づくりが課題です。令和7年度よりこども支援課へ移管	継続	●			●		
241	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	地域交流事業	人権政策課 人権平和センター豊中	様々な地域の交流事業を促進し、共に生きる地域社会の実現を地域の機関・団体等と協働して進めています。	参加人数	200人	144人	”ひと・まち・あい”人権文化のまちづくりフェスタを開催しました。	B	センター内サークルや他協力団体との協力体制・関係作りが難しいです。	継続	●	●	●			

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲		関連する取組み分野
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	こども	女性
242	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	相談及び人権平和啓発事業	人権政策課 人権平和センター豊中	人権相談や総合生活相談事業、人権及び非核平和に関する生涯学習事業、高齢者の生きがいづくり事業などを推進します。	相談件数	500 件	337 件	人権相談・総合生活相談の実施をしました。	B	広報が発行される4~5月は相談件数が多いですが、以降は減少傾向にあります。定期的なチラシ配布やSNSの活用などで周知する必要があります。	継続	●	●	●	●	7-b
243	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	こども多世代ふれあい事業	人権政策課 人権平和センター螢池	小中高校生を対象に、誰もが安心して過ごせる居場所を提供し、学習や体験活動、多世代での交流を通じて人との関わり・つながりの中で自分らしく生きる力を育みます。	事業回数	650 回	522 回	居場所・18時以降学習できる場・食事の提供・課外活動や体験活動の提供・多世代交流を実施しました。	B	家庭状況等がしんどい、学校に行きづらい等の課題を抱えた子ども達の利用がありますが、保護者との関係づくりが課題です。令和7年度よりこども支援課へ移管。	継続	●		●	●	2-b
244	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	福祉なんでも相談	地域共生課	相談事業、地域福祉の活動拠点の運営や福祉サービス等の情報の受発信を行います。	設置校区数	42 校区	福祉なんでも相談窓口の設置 校区：38 校区	安心・安全なまちづくりの推進を図るため、住民の身近な相談窓口の運営支援を行いました。また相談員になられる民生委員・校区福祉委員を対象に研修を実施しました。	A	相談拠点だけではなく、地域の身近な交流拠点として今後とも概ね週1回実施していきます。	継続	●	●	●		
245	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	社会福祉協議会事業補助	地域共生課	社会福祉協議会に対して事業補助を行います。	—	—	社会福祉協議会の対象事業の支援を行いました。 CSW配置事業支援相談件数：501件	社会福祉協議会の対象事業の支援を行いました。 CSW配置事業支援相談件数：501件	A	公益性の高い取り組みについて事業補助を行います。	継続	●	●	●		
246	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	健康福祉サービス苦情調整委員会	地域共生課	健康福祉サービス受給にかかる市民等から苦情や相談を受け、調整を行います。	—	—	相談件数：45 件	健康福祉サービスの提供に関する苦情について、助言・調整・あっせん等をおこない、その解決を図っています。	A	各分野に苦情窓口がある中で、申立者の訴えを聞き、希望に沿って適切に案内することを心がけて実施します。	継続	●	●	●		
247	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	公民分館活動への支援	中央公民館 螢池公民館 庄内公民館 千里公民館	公民分館による春秋講座運営に際して、情報提供や指導助言を行っています。	人数	1,250 人	1,349 人	骨盤底筋体幹 YOGA など 55 講座、延べ 88 回実施しました。	A	公民分館への情報提供や指導助言を継続して行います。	継続	●	●	●		

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲		関連する取組み分野	
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	子ども	女性	
248	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	公民館登録グループ活動支援	中央公民館 螢池公民館 庄内公民館 千里公民館	①料理グループなどに活動場所の確保を行っています。 ②グループ活動成果の社会還元として、グループ体験講習会への支援および公民館講座への講師登用を行っています。	人数	300人	324人	登録グループの体験講習会を 70講座 81回実施し、食育関連としては、『作って食べよう子どもが喜ぶこぎつねごはん』の体験講習会を1回実施し、16人が参加しました。	A	登録グループの活動場所を確保するとともに、グループへの支援を継続して行います。	継続	●	●	●			
249	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	公民分館事業	中央公民館	公民分館が実施する文化祭・体育祭や各種講座、分館だよりの発行や市ホームページを活用した取組み内容の発信など、分館活動全般への支援を行います。	人数	110,000人	118,814人	体育祭、文化祭、社会見学、講座など延べ336回、実施しました。	A	公民分館活動全般への支援を継続して行います。	継続	●	●	●			
250	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	次世代育成講座	中央公民館	次世代育成に係る講座や講演会を実施します。	人数	4,000人	2,251人	「おまわりさんにきいてみよう」ほか、次世代育成講座を39講座延べ90回実施しました。	A	次世代育成に係る講座や講演会を継続実施します。	継続	●	●		●		
251	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	公民館登録グループ支援	中央公民館	公民館登録グループに対して活動場所の確保や、公民館まつり、グループ体験講習会など活動成果の発表の場を提供するとともに、教養の向上、生きがいづくりを支援します。	回数	60回	81回	登録グループの体験講習会を 70講座 81回実施しました。	A	登録グループの活動場所を確保するとともに、グループへの支援を継続して行います。	継続		●	●			
252	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	課題別講座	中央公民館	環境学習事業、健康づくり推進事業、人権啓発関係事業などを開催します。	人数	5,000人	6,794人	環境学習事業、健康づくり推進事業、人権啓発関係事業など35講座延べ160回実施し、食育関連としては、「ヨーグルトのみみつ講座」を1回実施し、25人が参加しました。	A	環境学習事業、健康づくり推進事業、人権啓発関係事業など、社会課題について把握し、関係事業などを開催します。	継続	●	●	●			

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲	関連する取組み分野		
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	こども	女性	
253	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	豊中市千里ニュータウン地区住環境保全に関する基本方針による行政指導	都市整備課	住宅の新築や建替えに際し、豊中市千里ニュータウン地区住環境保全に関する基本方針に基づく行政指導を行い、千里ニュータウンの良好な住環境の継承を図ります。 基本方針でプレイロット（コミュニティスペース）の確保を指導しています。	プレイロット整備確保率	100%	100%	住宅団地の建替えに合わせてプレイロット（コミュニティスペース）を確保するよう指導を行いました。	A	令和7年度も、プレイロットの確保に向けて指導を行います。	継続	●	●	●			
254	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	とよなか子ども食堂ネットワーク	豊中市社会福祉協議会	市内でこども食堂やこどもの居場所づくりに取り組んでいる団体同志をネットワーク化し、情報提供や研修会を実施します。	—	—	R6年度新規加入数：8団体 計ネットワーク参画数：50団体	豊中南ロータリークラブと協同で、子ども食堂ネットワークに呼びかけイベントを実施しました。定期的に情報提供や寄付物品の配布を行いました。	A	今後も内容の充実を図ります。	継続	●	●	●	●	1-a	
255	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	世代間交流	豊中市社会福祉協議会	世代をつなぐ学習や交流を促進する場。いも掘り、もちつき、料理教室等を通して食文化の伝達と交流を行うプログラムを実施しています。	回数/延べ参加者数	39校区 2回/年	32校区/131回/15,640名	校区福祉委員会が学校と連携し、昔遊び、工作、芋掘りなど高齢者と子どもの交流に務めました。	A	核家族世帯が多いので、高齢者と子どもの交流はそれぞれとても喜ばれています。現状維持を目指します。	継続	●	●	●	●	1-d	
256	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	子どもの居場所づくり事業	豊中市社会福祉協議会	相互交流と情報交換をはかることにより、子どもたちが安心して過ごすことできる居場所づくりを充実していくとともに子どもを見守ることができる地域づくりを目指します。	開催校区数/ 延べ参加者数	39校区 1回/月	14校区/6,303名	校区福祉委員会が、子ども食堂や学習支援を実施しました。	A	核家族・共働き世帯が多いので、親御さんたちから大変に喜ばれ、地域の大人と子どもが顔見知りになり、遠目の見守りとなっています。現状維持を目指します。	継続	●			●		
257	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	子育てサロン	豊中市社会福祉協議会	親の出会いの場・学習・交流の場づくりとして、校区福祉委員会と民生・児童委員が連携して実施。食育に関する相談も行っています。	回数/延べ参加者数	39校区 1回/月	37校区/447回/8,106名	校区福祉委員会が就園前の親の居場所や交流の場として子育てサロンをほぼ毎日実施しました。	A	共働きの世帯は1才から預けるため0才児親子の参加となり参加者は減っている校区もあるが、北部は参加者は多く、現状維持を目指します。	継続	●	●		●		
258	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	子ども見守り宅食事業	豊中市社会福祉協議会	コミュニケーションソーシャルワーカーが相談を受けている子育て世帯などを対象に見守り宅食や寄付食品による支援を通じて情報提供や生活支援を行います。	—	—	実施回数：47回（1,706食） 対象：193世帯 延べ配布1,006世帯	コミュニケーションソーシャルワーカーが相談を受けている子育て世帯などを対象に見守り宅食や寄付食品による支援を通じて情報提供や生活支援を行いました。	A	今後も内容の充実を図ります。	継続	●			●	1-a	
259	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	親子農業体験事業	豊中市社会福祉協議会	豊中あぐり事業農園における子ども野菜収穫・稲刈り・芋ほり体験をします。	回数/延べ参加者数	39校区 2回/年	5校区/1,817名 本部6回/339回	豊中あぐり事業農園における子ども野菜収穫・稲刈り・芋ほり体験をしました。	A	子どもが農業体験を通じて、自然とふれあい創造力や社会性の育成と地域の交流となっています。現状維持を目指します。	継続	●	●	●	●	1-a 1-d	

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲	関連する取組み分野		
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	子ども	女性	
260	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	農中あぐり事業	豊中市社会福祉協議会	市内土地を活用して農業を通じた男性の社会参加の場の取組みを行います。	回数/延べ参加者数	39 校区 1 回/月	324 日/2,166 名	市内土地を活用して農業を通じた男性の社会参加の場の取組みを行いました。	A	定年後の社会参加、コミュニティ一づくり、地域福祉の啓発を目指します。	継続	●	●	●			1-a 1-d
261	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	大会開催事業	豊中市社会福祉協議会	ゲートボール大会・囲碁大会・将棋大会・謡曲大会・カーリング大会等を開催します。	人数	30 人/回	ゲートボール大会:60 人(2回) 囲碁大会 : 83 人 (2 回) 将棋大会 : 79 人 (2 回) 謡曲大会 : 74 人 (2 回) カーリングコン大会:150 人 (1 回) グラウンドゴルフ大会:126 人 (1回) ワナゲ大会 : 37 名 (1 回) 健康ウォークラリー大会:90 人 (1回)	各大会とともに、老人クラブ連合会の役員が中心になって開催し、クラブ員だけでなく、多くの一般高齢者にも参加いただけ、高齢者の交流と社会参加の場を提供することが出来ました。	A	ゲートボール大会・囲碁将棋大会・謡曲大会は参加人数が減少傾向にありますが、その他の大会は一定数の参加があります。また、令和6年度は新たにワナゲ大会を開催し、好評を得ています。今後も参加者のニーズに合わせて、大会内容の検討を行いたいと思います。	継続			●			
262	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	ボランティアセンター事業	豊中市社会福祉協議会	ボランティア体験プログラム等の継続により、ボランティア育成にも努めています。	体験プログラム参加者数	95 名	体験プログラム参加者 95 名	ボランティア体験プログラム等の継続により、ボランティア育成にも努めました。	A	ボランティアをはじめるきっかけとなり、施設・地域とつながり、地域福祉啓発を目指します。	継続	●	●	●	●		
263	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	コミュニティソーシャルワーカー配置事業	豊中市社会福祉協議会	制度の狭間を担う専門職として、介護保険の生活圈域ごとに 2 人ずつ配置。福祉なんでも相談のバックアップや、地域福祉ネットワーク会議の開催などに取り組んでいます。	—	—	なんでも相談窓口件数 : 1,451 件 CSW 相談支援件数: 411 件 延べ活動人数 : 3,490 回 地域福祉ネットワーク会議: 14 回 (1,196 人)	制度の狭間を担う専門職として、介護保険の生活圈域ごとに 2 人ずつ配置し、福祉なんでも相談のバックアップや、地域福祉ネットワーク会議の開催などに取り組みました。	A	地域福祉ネットワーク会議の内容について見直しを行い、次年度も内容の充実を図っていきます。	継続	●	●	●			
264	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	地域福祉活動支援センター事業	豊中市社会福祉協議会	市内の 5 カ所へ設置された地域福祉活動支援センターにおいて、ボランティアに関する講座などを実施。また、コミュニティソーシャルワーカーを配置し、様々な福祉相談に応じています。	回数/延べ参加者数	77 回 /249 名	77 回/249 名	5 カ所の地域福祉活動支援センターにおいて、スマートフォン講座や介護予防に関わる講座を実施しました。	A	生活圏域で講座を実施し、仲間づくりと地域福祉啓発をはかります。	継続	●	●	●			
265	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	くらしささえあい事業	豊中市社会福祉協議会	専門家による職業としての援助ではなく、互助の精神を基盤とした市民による有償の社会奉仕活動で、家事援助や話し相手や見守りなど、個々の要望に応じた活動を実施しています。	安心サポート登録者数・生活支援・便利屋・安心見守り派遣・安心コール	安心サポート登録者目標 800 名 対応件数 2500 件 安心派遣 100 件 安心コール 1,200 件 便利屋 300 件	安心サポート実数登録者 765 名生活支援 2260 日安心見守り派遣 78 件安心コール 1094 件便利屋 204 件	専門家による職業としての援助ではなく、互助の精神を基盤とした市民による有償の社会奉仕活動で、家事援助や話し相手や見守りなど、個々の要望に応じた活動を実施しました。	B	依頼内容が細かく拘りが強い方の対応は難しいです。 事業の広報と対応件数を増やすことを目指します。	継続	●	●	●			

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲		関連する取組み分野	
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	子ども	女性	
266	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	ひとり暮らし老人の会の組織化	豊中市社会福祉協議会	「孤独感の解消」、「一人よりみんなと」をスローガンに小学校区単位にひとり暮らし老人の会を組織化し、会食会などの開催を通じて、会員同士のつながりを構築しています。会活動として食事会などを実施しています。	校区数/登録数	26 校区	26 校区/624 名	「孤独感の解消」、「一人よりみんなと」をスローガンに小学校区単位にひとり暮らし老人の会を組織化し、会食会などの開催を通じて、会員同士のつながりを構築しました。会活動として食事会などを実施しました。	A	独居の会の役員も高齢の為、休会がありますが、ひとり暮らし老人の会への支援は継続します。	継続			●			
267	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	老人文化祭事業	豊中市社会福祉協議会	市内高齢者より作品を募集し、2日間にわたり文化作品を会場に展示し、文芸作品は作品目録に掲載し配布します。（豊中市老人クラブ連合会との共催）。	人数	300 人/日	高齢者文化祭：680 人（2日間）	老人クラブ連合会の役員が中心になって開催し、クラブ員だけでなく、多くの一般高齢者にも参加いただけた。また、令和6年度より地域の子育て世帯や保育園等に参加を呼びかけ、高齢者だけでなく、世代間交流の場として開催することが出来ました。	A	令和6年度は世代間交流を試行的に始めたが、参加者からは好評であり、今後も交流を広げていきたいと考えています。	継続	●	●	●	●		
268	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	小地域福祉ネットワーク事業	豊中市社会福祉協議会	地域住民同士のなかまづくりを目的として、ミニデイサービス、ふれあいサロンや子育て中の親子向けに子育てサロン、また世代を超えた交流の場として三世代交流を39校区福祉委員会で実施しています。活動のボランティアスタッフとして協力していくことで、ボランティア自身の健康増進にもつながります。	39 校区/ボランティア実数合計	39 校区	39 校区/5,174 名	地域住民同士のなかまづくりを目的として、ミニデイサービス、ふれあいサロンや子育て中の親子向けに子育てサロン、また世代を超えた交流の場として三世代交流を39校区福祉委員会で実施しました。活動のボランティアスタッフとして協力していくことで、ボランティア自身の健康増進にもつながりました。	A	小地域ネットワーク活動をつづけ、地域のニーズにあった事業展開を目指し、地域のコミュニティづくりの強化を目指します。	継続		●	●			
269	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	ミニデイサービス	豊中市社会福祉協議会	虚弱高齢者を対象に手作りミニデイサービスを実施しています。食育に関する相談も行っています。	校区/回数/人回数	1 校区/11 回	1 校区/11 回/110 名	虚弱高齢者を対象に手作りミニデイサービスを実施しました。	A	時間が短くなりサロン扱いの予定です。	継続			●			
270	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	ふれあいサロン	豊中市社会福祉協議会	なかまづくり・健康増進、いきがいづくりの場として開催校区福祉委員会民生・児童委員が連携して実施。食育に関する相談も行っています。	39 校区 1 回/月	39 校区 1 回/月	39 校区/延べ参加者 16,283 名	なかまづくり・健康増進、いきがいづくりの場として開催校区福祉委員会民生・児童委員が連携して実施しました。	A	全校区で実施し、高齢者同士のつながりと交流を目指し、現状を維持していきます。	継続	●	●	●			

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲	関連する取組み分野			
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	こども	女性		
271	7. こころの健康・つながり	7-a. 社会参加や居場所があることで人とつながる	子どもの居場所づくり	社会教育課（青少年交流文化館いぶき）	地域で子どもたちが遊び、憩い、学び、つながる場が必要とされています。このことから、地域とともに気づき、学べる場として、土曜日・日曜日や長期休業中の地域における子どもたちの居場所づくりを行い、「子ども文化」をキーワードに未来に生きる子どもたちを健やかで豊かに育んでいく場を創出・提供していきます。	人数	前年度数値の評価がなかなかつたので、目標値は定めていません	3,205人	事前申し込みが必要な講座や休館日を除く毎週日曜日等に事前申し込み不要のほんのひろばや卓球台開放等を行いました。また毎週土曜日には高校生年代の若者向けの居場所の提供を行いました。	A'	日曜日向け講座は前年度同様取り組んでいます。土曜日事業に関しては、高校生年代を中心とした若者世代への周知と興味を引く企画を行い、参加者増に努めるよう委託事業者に求めていきます。	継続	●	●					
272	7. こころの健康・つながり	7-b. こころの不調への対応	自殺予防に関する知識等の普及啓発	医療支援課	自殺予防に関する知識や相談窓口等情報の普及を目的に、広報誌・ホームページ・パネル展等による情報の発信や、相談窓口を掲載した啓発リーフレットの配布等を実施します。	枚数	12,000枚	12,000枚	自殺予防週間（9月）、自殺対策強化月間（3月）において ①ポスター掲示 公共施設 ②広報誌やホームページへの記事掲載 ③市所有の車両（公用車・パッカ一車）に啓発用マグネットシールを貼り、市内を走行 ④市役所本庁舎・保健所庁舎に啓発横断幕の掲示 ・「こころとのちを守る相談窓口のご案内」を作成し転入世帯や市有施設窓口や市内医療機関等に配布（12,000部）。 ・広報・ホームページ・SNS等の媒体を活用して啓発	A	引き続き自殺予防に関する知識の普及啓発や相談窓口等の情報の発信を行うことで、誰かに相談する大切さや、精神的な不調に早期に気づき、適切な支援につながるよう周知啓発に取り組みます。	継続	●	●	●				
273	7. こころの健康・つながり	7-b. こころの不調への対応	自殺予防のための人材育成事業	医療支援課	自殺の危険性の高い人の早期発見・早期対応を図るために、相談窓口担当職員や地域で活動するボランティア団体・一般市民等を対象に、自殺や自殺関連事象に関する知識を普及するとともに、自殺の危険性を示すサインへの気付きやその対応に関する研修会などを実施します。	令和4年度から令和9年度までの累計受講者数	10,000人	6,804人	こころの不調や悩んでいる人、自殺を考えている人に気づき、適切な相談窓口へつなぐことができる人材養成の講座を実施しました（ここサボ研修は入門編初級編中級編上級編のステップアップ方式）。令和4年度から令和9年度までの累計受講者数10,000人をめざします。	A	こころの不調に早期に気づき、傾聴し、適切な支援につなぐことが重要であることがから、引き続きここサボ研修による気づきを高め、ゲートキーパーの養成を行います。	継続	●	●	●				
274	7. こころの健康・つながり	7-b. こころの不調への対応	精神保健福祉相談	医療支援課	こころの健康問題・不調を抱える人に対して、個別相談を行い、健康の回復を図るとともに、精神疾患の早期発見、早期治療に向けて支援を行います。	相談対応件数	—	6,497人	こころの健康問題や不調のある本人や家族等の相談対応、関係機関からの精神保健に関する相談支援の課題についての専門的助言や援助を実施しました（面接、訪問、電話等）。	A	メンタルヘルスに関する相談や支援のニーズも拡大・多様化し、様々な分野でメンタルヘルス問題への対応が求められていることなどから、引き続き関係機関と連携し相談支援を行っていきます。	継続	●	●	●				

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲	関連する取組み分野		
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	子ども	女性	
275	7. こころの健康・つながり	7-b. こころの不調への対応	精神保健福祉講座	医療支援課	こころの健康づくり（精神疾患・障害の予防）、ならびに精神疾患の早期発見と回復に必要な正しい知識の普及啓発を行います。	参加者人数	—	2,576人	こころの健康づくり、精神疾患の早期発見・予防、回復支援を目的とした講座や講演会等を実施しました。	A	メンタルヘルスリテラシーの向上により、自分や周囲の人々のこころの不調に気づき、セルフケアや適切な支援につながることから、引き続きこころの健康づくりなどの講座等を行っていきます。	継続	●	●	●			
276	7. こころの健康・つながり	7-b. こころの不調への対応	こころの健康に関する研修	医療支援課	市民のこころの健康にかかる関係機関職員に対して、正しい知識の普及啓発等のための研修を行います。	参加者人数	—	1,913人	ゲートキーパー養成、災害時のこころのケア、依存症等の研修を開催しました。	A	こころの不調の早期発見・早期支援につなぐことが重要であることから、関係機関向け研修を実施し、支援者への正しい知識の普及啓発によりメンタルヘルスリテラシーの向上に取り組みます。	継続	●	●	●			
277	7. こころの健康・つながり	7-b. こころの不調への対応	流産・死産を経験した方へのグリーフケア	おやこ保健課	流産・死産を経験された方に、個別相談や必要なサービスにつなぐための支援を行います。	—	—	—	流産・死産を経験された方に、個別相談や必要なサービスにつなぐための支援を行いました。	A	引き続き、個別相談や支援を実施していきます。	継続	●				●	
278	7. こころの健康・つながり	7-b. こころの不調への対応	男性のための相談	人権政策課	((一財)よなか男女共同参画推進財団による運営・管理)男性の様々な悩みに寄り添い、自ら課題に向き合えるよう支援します。	—	—	交際相手との関係や、幼少期からの両親との関係についての内容が多く、ひとりで抱え込みがちな男性のために電話相談でサポートしました。 相談件数：68件	男性のための電話相談	B	「電話がつながっても相談まで至らず、世間話で終わってしまう」という状況は、相談へのハードルの高さや、安心感・信頼関係の不足が背景にあるのかもしれないため、寄り添うことを意識いたいです。	継続	●	●	●			
279	7. こころの健康・つながり	7-b. こころの不調への対応	「スクールカウンセラー活用事業」	児童生徒課	学校における教育相談体制の充実を図るために、学校に児童生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識及び経験を有する者等をスクールカウンセラーとして配置し、児童生徒のいじめ・不登校・問題行動等の解決につなげます。	—	—	市内全小中学校・および義務教育学校（前期・後期）に各1人のスクールカウンセラーを配置し、中学校は1回6時間・年間35回、小学校は1回6時間・年間12回の相談活動等を、ほぼ行うことができました。	児童・生徒へのカウンセリングや教職員及び保護者に対する助言・援助、児童・生徒のカウンセリング等に関する情報収集・提供等を行いました。	A	教育相談体制の充実を図るために、引き続きスクールカウンセラーを配置します。	継続	●			●		
280	7. こころの健康・つながり	7-b. こころの不調への対応	こども総合相談窓口	こども安心課	18歳になるまでの子どもと家庭に関する様々な相談をお聞きし、問題解決に向けて一緒に考えたり、情報提供をします。	こども総合相談件数	7,000件	6,452件（電話相談・来所相談含む）	18歳になるまでの子どもと家庭に関する様々な相談をお聞きし、問題解決に向けて一緒に考えたり、情報提供をしました。	A	365日24時間体制で、子どものことや、子育てに関する悩み・不安、子ども自身の友人や家族関係等の相談を受け、保護者や子どもを支援します。	継続	●		●	●		
281	7. こころの健康・つながり	7-b. こころの不調への対応	子育ての悩みや不安、子どもとの関係についての相談を受け、必要な場合は支援サービスにつなぐための調整を行います。	こども安心課	子育ての悩みや不安、子どもとの関係についての相談を受け、必要な場合は支援サービスにつなぐための調整を行います。	心の悩み相談件数	1,000件	599件（電話相談・来所相談含む）	子育ての悩みや不安、子どもとの関係についての相談を受け、必要な場合は支援サービスにつなぐための調整を行いました。	A	子育ての悩みや不安、子どもとの関係についての相談や心理的問題に関する相談を受け、支援を行うとともに関係機関との調整を行います。	継続	●			●	●	

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲	関連する取組み分野		
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	こども	女性	
282	7. こころの 健康・ つながり	7-b. こころの 不調への対応	労働相談業務	くらし支援 課	市内の勤労者、事業主などからの労働問題に関する相談に応じ、適切な助言、指導を行います。 対象者の心の健康づくりに寄与するものと考えます。	—	—	相談件数：366件	週3回10時～16時に専門員による労働相談を実施しました。	A	労働問題に関する相談を通じ、引き続き対象者の心の健康づくりに寄与したいと考えております。	継続	●					
283	7. こころの 健康・ つながり	7-b. こころの 不調への対応	住居確保給付 事業	くらし支援 課	「住居確保給付金」は、離職者であって就労能力及び就労意欲のある方のうち、住宅を喪失している方または喪失するおそれのある方を対象として、住宅の確保（住宅喪失の予防）及び就労機会の確保を支援することを目的とした制度であり、就職支援を受けながら賃貸住宅の家賃のための給付金の支給を受けることができます。 対象者の心の健康づくりに寄与するものと考えます。	—	—	・住居確保給付金支給人数：延122人	離職者であって、就労能力及び就労意欲のある方のうち、住宅を喪失している方又は喪失するおそれのある方に対して給付金を支給するとともに、就労支援を行いました。	A	引き続き、くらし再建パーソナルサポートセンターにおいて、さまざまな生活の困りごとの新規相談を受け、対象者の早期発見及び生活再建における支援を行う、くらし再建パーソナルサポートセンター事業に取り組んでいきます。	継続	●	●	●			
284	7. こころの 健康・ つながり	7-b. こころの 不調への対応	労働相談苦情 処理	くらし支援 課	個別労働紛争において権利侵害を受け、訴訟等による解決を希望する場合に訴訟等の理由が労働法令・社会通念に照らして合理的であり、かつ資金の貸付が適当であると認められた市民に対して、当該訴訟等の費用の貸付を行います。 対象者の心の健康づくりに寄与するものと考えます。	—	—	貸付件数：0件	申請があれば審査の上、労働訴訟にかかる費用貸付を行いますが、令和6年度は申請がありませんでした。	A	申請があれば審査の上、労働訴訟にかかる費用貸付を行い、対象者の心の健康づくりに寄与していきたいと考えています。	継続	●					

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲	関連する取組み分野		
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	子ども	女性	
285	7. こころの健康・つながり	7-b. こころの不調への対応	消費生活相談業務	くらし支援課	契約や販売方法、品質などの消費者トラブルに対する苦情相談及び問合せに対する情報提供をしています。相談する場があることで精神的に安定することにつながります。	—	—	相談件数：2,896 苦情：2,551 問い合わせ：345	契約などによる消費者トラブル問題解決のために、適切な助言・あっせんを行う消費生活相談を行いました。	A	認知度の向上に加えて、高齢者の被害が多いが、高齢者に伝えるすべがないです。デジタルを活用して、啓発を行いたいが、高齢者に伝わらないため、そのほかの方法も模索していきたいです。	継続	●	●				
286	7. こころの健康・つながり	7-b. こころの不調への対応	多重債務者生活相談業務	くらし支援課	多重債務者の債務や生計の状況などを聴取し、債務整理のための法律専門家への誘導をするとともに、関係部局が連携して多重債務者の早期発見及び生活再建に向け支援します。 相談する場があることで精神的に安定することにつながります。	—	—	270人	債務整理のために必要に応じて法律専門家への誘導を行うとともに、関係部局と連携しながら生活再建に向けた支援を行いました。	A	引き続き、くらし再建パーソナルサポートセンターにおいて、さまざまな生活の困りごとの新規相談を受け、多重債務者の早期発見及び生活再建に向け支援を行う、くらし再建パーソナルサポートセンター事業に取り組んでいきます。	継続	●	●				
287	7. こころの健康・つながり	7-b. こころの不調への対応	依存症対策	医療支援課	第2期豊中市メンタルヘルス計画の重点テーマにアルコールや薬物、ギャンブルなどの「依存症対策」を位置づけ、市民並びに関係者のリテラシー向上に向けた取組みを推進します。	—	—	—	メンタルヘルス対策推進会議専門部会に「依存症対策」部会を設置し、専門医による支援者向け研修会の実施と関係機関と共に課題などの情報の共有をしました。	A'	引き続き支援者のネットワークの構築や人材育成を進めています。	新規	●	●			4-a	
288	7. こころの健康・つながり	7-c. 女性特有の悩みや健康課題への対応	女性のメンタルヘルス対策	医療支援課	豊中市メンタルヘルス計画に基づきメンタルヘルス対策推進会議を設置、進行管理を行う「調整会議」と取組みを推進する「ネットワーク会議」で構成し、重点テーマについて連携協働し、市民と関係者のリテラシー向上とネットワークづくりに向けた取組みを推進します。	—	—	—	メンタルヘルス対策推進会議の専門部会「女性のメンタルヘルス対策」について、支援機関と共に課題などの情報の共有をしました。	A'	女性のメンタルヘルスについて、女性特有の困難と、それに対する社会的支援の視点から「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」に基づき、女性への包括的な支援を担う関係部局と連携した取組みが必要です。	継続	●	●	●	●	●	

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲	関連する取組み分野		
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	こども	女性	
289	7. こころの健康・つながり	7-c. 女性特有の悩みや健康課題への対応	産後ケア事業	おやこ保健課	お産と育児の疲れから体調がよくない、出産後自宅に帰つても手伝ってくれる人がいないなど、出産後、育児などの支援が必要な人を対象に宿泊型及びデイサービス型産後ケア事業を実施しています。	①実利用者組数 ②延べ利用日数	—	①721組 ②デイ①：704日、デイ②：665日、宿泊：957日	出産後、育児など支援が必要な方に宿泊型及びデイサービス型産後ケア事業を実施しました。	A	引き続き実施していくとともに、アウトリーチ型導入について検討していきます。	継続	●			●		
290	7. こころの健康・つながり	7-c. 女性特有の悩みや健康課題への対応	産前産後サポート事業	おやこ保健課	助産師等がぶれまま＆育児ママ相談室など、妊産婦等に妊娠・出産・子育てに関する相談に対して、必要な支援を行います。	①ぶれまま＆育児ママ相談室参加者数	—	290人	助産師等がぶれまま＆育児ママ相談室など、妊産婦等に妊娠・出産・子育てに関する相談に対して、必要な支援を行いました。	A	引き続き事業を実施していきます。	継続	●			●		
291	7. こころの健康・つながり	7-c. 女性特有の悩みや健康課題への対応	男女共同参画計画の推進	人権政策課	第3次男女共同参画計画に掲げる事業の進行管理を行っています。 ワーク・ライフ・バランスを推進する一環として、育児に関する制度等の情報提供を行います。	—	—	経営者・管理職セミナー：4回 一般社員向けセミナー：4回 アドバイザー派遣：17社 女性活躍推進認証事業者：13社	就労継続・職場風土改善やワーク・ライフ・バランスなどを効果的に推進するよう事業所に対する経営者や一般社員を対象としたセミナーを開催しました。また事業者へアドバイザー派遣を行うことで、女性活躍推進事業者認証制度への申し込みが増加しました。	B	アドバイザー派遣においては、認証制度と連携して、豊中市の事業者規模に合わせた支援ができるよう工夫していく必要があります。	継続	●	●	●	●		
292	7. こころの健康・つながり	7-c. 女性特有の悩みや健康課題への対応	女性のこころとからだ健康関連の展示	人権政策課	(（一財）とよなか男女共同参画推進財団による運営・管理) 乳がん、更年期、冷え、メンタルケア等に関連して女性の健康を維持するに資する展示を行います。	—	—	—	女性のからだ（乳がん、更年期、メンタルケア、リプロダクティブ・ヘルスライツ）に関する資料を展示し、情報提供を行います。	A	定期的に関連資料を展示することで、利用者へ情報提供を行いました。	継続	●	●	●			
293	7. こころの健康・つながり	7-c. 女性特有の悩みや健康課題への対応	女性の生き方総合相談	人権政策課	(（一財）とよなか男女共同参画推進財団による運営・管理) 女性の抱える心理的な悩みを女性自身が解決できるよう支援します。	—	—	女性の生き方総合相談：年間1,762件（電話1,109件、面接653件でした。DV、離婚、夫婦関係、親子関係、職場の人間関係など、10～70代の女性の悩みや心理不安を電話と面接でサポートしました。	主に10代～70代の女性を対象とした生き方の悩み電話相談とカウンセリング	A'	前年度に比べて、対応した相談件数はわずかに減少しました。 まだ「すてっぷ相談室」の存在をご存じない女性の方も多くいらっしゃるため、より多くの方に知っていただけるよう、周知の工夫が必要だと感じています。	継続	●	●		●		
294	7. こころの健康・つながり	7-c. 女性特有の悩みや健康課題への対応	女性のからだと心と性の相談	人権政策課	(（一財）とよなか男女共同参画推進財団による運営・管理) 女性特有の身体の悩みについて、専門家が相談を受けます。	—	—	女性のからだと心の相談は、年間11件の対応となりました。一方で、グループ相談会の参加者は6名でした。このことから、個別相談のほうが参加のハードルが高いと考えています。	更年期や婦人科系の病気など、女性特有のからだの悩みについての相談	B	2025年度は、グループ相談会を年2回（2期）開催し、個別相談は奇数月のみの実施とします。 まずはグループ相談会に参加してもらい、その中で安心感や信頼関係を育むことで、個別相談への流れを自然に作っていくことを目指します。	継続	●	●		●		

No.	主な分野と取組みテーマ		事業名	所管	事業内容	令和6年度事業評価							対象となる年代		再掲		関連する取組み分野
	分野	取組みテーマ				事業評価指標	目標値	実績	取組内容	評価	課題と対応策及び次年度方向性	実施状況	次世代	就労世代	高齢世代	子ども	女性
295	7. こころの 健康・ つながり	7-c. 女性特有 の悩みや健康 課題への対応	女性のこころ とからだ健康 関連の講座	人権政策課	((一財)とよなか男女共同参画推進財団による運営・管理) 女性の心と身体の健康づくりのために、からだを動かすことやメンタルヘルスについて学ぶことでエンパワーと自己解放をめざします。	人数	15人	13人	セルフケアを学ぶことで、こころと身体の不調を軽減し、深刻なメンタル不調を予防し、エンパワメントを促します。	A	「生涯を通じた健康支援」は、男女共同参画を推進するうえで不可欠であり、すてっぷが取り組む事業であることを説明し、参加者と共有しました。	継続	●			●	2-a

**令和 6 年度(2024 年度)豊中市健康づくり・食育推進計画
年次報告書**

令和 7 年(2025 年)11 月

豊中市 健康医療部 健康推進課

〒561-0881 豊中市中桜塚 4-11-1

TEL 06-6858-2879 FAX 06-6152-7328